

平成 30 年度
浦安市児童育成クラブに係る評価事業
報 告 書

平成 31 年 3 月
浦 安 市

目次

第1章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像	1
1. 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の概要	3
2. 事業者自己評価の考え方	4
3. 利用者調査の考え方	10
4. 公表・フィードバックの考え方	13
第2章 平成30年度 児童育成クラブに係る評価結果	21
1. 調査の概要	22
2. 事業者自己評価の結果	23
3. 利用者調査の結果	29
4. 児童育成クラブの利用状況について	32
5. クラブ別評価結果	35
資料	87
1. 平成30年度 事業者自己評価シート	88
2. 平成30年度 利用者調査	98

第 1 章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像

第1章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像

1. 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の概要

(1) 評価事業の目的

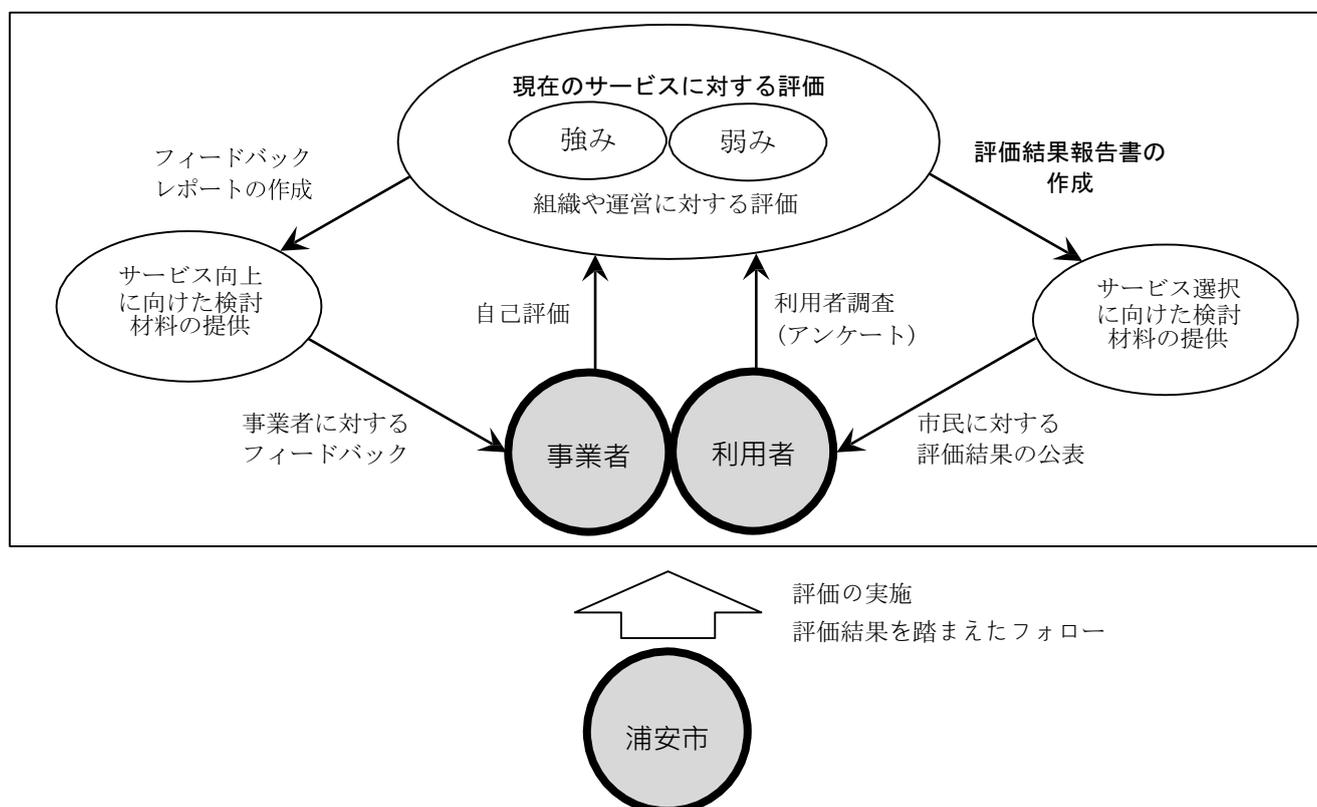
浦安市児童育成クラブに係る評価事業（以下、「本事業」と言う。）は、浦安市が提供する福祉サービスの質の向上と、利用希望者への適切な情報提供を目指すものであり、具体的には次の目的を達成する。

- (1) 利用者が、福祉サービスを選択するにあたっての検討材料となる情報を提供する。自分が利用しているサービスの状況や事業者のサービス向上への取り組み状況を確認するのに役立つ情報を提供する。
- (2) 各クラブにおけるサービスの強み（サービスの特徴）や弱み（改善の方向性）を洗い出すことで、事業者がサービスを改善するにあたり、検討するための情報を提供する。

(2) 評価の仕組み

本事業では、児童育成クラブの運営事業者に対し事業者自己評価を、児童育成クラブの利用者（児童）とその保護者に対し利用者調査を実施することで、“事業者”と“利用者”の二者から見た評価を行った。

<本事業の全体イメージ>



2. 事業者自己評価の考え方

(1) 目的

事業所の職員がサービスの内容について振り返り、良い点、改善が必要な点を把握することを目的とする。

(2) 評価の対象

市内の児童育成クラブ 17 クラブに対して実施した。

(3) 事業者自己評価の実施方法

市が定めた事業者自己評価シートを使用して実施し、評価シートは、電子メールにより配布・回収した。実施方針については、以下のとおりである。

①事業者自己評価における客観性の確保

事業者自己評価を実施するにあたり、客観性を確保するために、事業責任者が単独で行うのではなく、可能な限り職員の参加による評価を行うことを前提とし、事業責任者およびサービスに関わる複数の職員、場合によっては全職員が相談をしながら評価を行い、評価シートに記入する方法を採用した。なお、ここでいう職員には、非常勤のほかに、常勤者と同等にサービスに関わっている非常勤職員を含む。

<実施体制の例>

- ア. 幹部職員および一般職員による評価チームをつくり、自己評価を行う。
- イ. 通常の職員会議等の場を活用し、自己評価を行う。
- ウ. その他（ア、イ以外の方法で自己評価を行う）

②具体的な取り組みの事実に基づく評価

今回実施するこの事業者自己評価は、あくまで事業者の自己責任で実施するものであり、原則として、公開対象となっている項目は、記載内容をそのまま公表する。このため、事業者には具体的な取り組みの事実に基づいて評価を実施することを求めた。

(4) 事業者自己評価シートの構成

事業者自己評価シートの構成は、以下のとおりである。

①総合評価と事業プロフィール

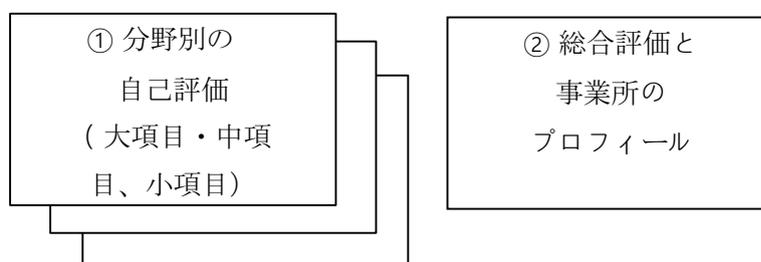
・総合評価

大項目のそれぞれについて総合的な評価を行う。大項目別の自己評価の結果に基づき、当該事業所の強みとサービス改善に向けた取り組みを具体的に記述し、大項目別に達成度を5段階で評価する。

・事業プロフィール

名称、所在地、連絡先、事業規模、サービスにあたって大切にしていることなど、当該事業の概要を記述する。

< 事業者自己評価シートの構成 >



②分野別の自己評価

大項目ごとに中項目、小項目を設定し、当該事業所の運営およびサービス提供について詳細な自己評価を行う。小項目ごとに設定された評価の視点（判断基準）と当該事業所における具体的な取り組みの事実を照らし合わせ、達成度を評価する。

(5) 評価項目

評価項目は、以下のとおりである。

大項目は 3 項目、中項目は 21 項目、小項目は 66 項目で構成される。

I 組織と運営

中項目 (5 項目)	小項目 (24 項目)
1 運営	① 理念・方針の職員への周知
	② 重要な意思決定時における職員や利用者への説明
	③ 職員が意見や提案を発言しやすい雰囲気づくり
	④ 利用者意見に対する適切な対応
	⑤ 利用者意向の事業計画への反映
	⑥ 全職員でのサービス改善への取り組み
	⑦ 市との連携や情報共有
	⑧ 学校との連携や情報共有
2 人事	① 職員研修の開催
	② 日常的な職員の意向把握
	③ 職員の適正な採用
3 情報	① 指示・連絡・報告・相談の体制
	② 利用者の家族に対する定期的な情報提供
	③ 情報公開の仕組み
4 危機管理	① 災害・緊急時の対策
	② 施設や設備の安全点検及び危険箇所への対処
	③ ケガや急病に対する救護対策
	④ 衛生管理（感染症の拡大防止）
	⑤ 衛生管理（食中毒の防止）
	⑥ ケガや事故の再発防止
5 個人情報保護	① 守秘義務の研修
	② 守秘義務のための取り組み
	③ 個人情報利用の利用者への説明
	④ プライバシーの確保

Ⅱ サービス提供のプロセス

中項目（7 項目）	小項目（17 項目）
1 利用希望者への対応	① 見学者の受け入れ、分かりやすい説明対応
	② 重要事項に関する書面による同意
	③ 説明資料の読みやすさ
2 計画作成・見直し	① 子どもや保護者の意見を反映した計画作成
	② 利用書への計画説明及び同意
	③ 実施計画の定期的な見直し
3 サービスの標準化	① 個々のサービスに応じたマニュアル作成
	② 新人職員に対する実地指導
4 苦情解決	① 苦情の受付体制、職員への周知、サービスへの反映
	② 苦情の迅速な解決
	③ 苦情に関する情報共有
5 利用者の家族に対するサポート	① 保護者からの相談対応
6 人権の尊重	① 虐待防止のための具体的な仕組み
	② 家庭等の虐待兆候の早期発見及び見守り
7 地域との連携・交流	① 施設外での活動範囲を広げるための取り組み
	② ボランティア・実習生に対する事前説明
	③ 関係諸機関・団体との連携のための取り組み

Ⅲ サービスの内容

中項目（9 項目）	小項目（25 項目）
1 基本原則	① 子どもの主体的な活動の援助
	② 子どもの状況や要望に応じた支援
	③ 提供したサービスの記録
2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定の促進・受け止め
	② 子どもの人格や価値観を尊重した対応
3 相談等の援助	① 子どもからの相談対応
	② 子どもの生活状況の把握、職員間の情報共有、支援への反映
4 健康管理	① 適切な服薬管理
	② 子どものケガや急病時の対応及び報告
	③ アレルギー疾患への配慮
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などに対する適切な対応
	② 専門家の協力を得た支援方法の工夫
6 活動	① 活動メニューの多様性や、子どもが選んで参加できる仕組み
	② 子どもが自由に遊べる時間の確保
	③ 学習活動を自主的に行える環境整備
	④ 子どもの豊かな人間関係が育つような配慮
	⑤ 互いに認め合い尊重し合える人間性が育つための支援
	⑥ 障がいのある子どもが活動する際の支援
7 おやつを提供	① 質の高いおやつの提供
	② 子どもの嗜好や成長に合わせたおやつの提供
	③ おやつを楽しむことが出来るような配慮
8 施設環境	① 子どもが快適に生活するための施設環境の配慮
	② 施設内の清掃・整理
	③ 安全に活動するための設備・備品への配慮
9 来所・帰宅	① 子どもひとりでの来所・帰宅に対する安全指導

(6) 事業者自己評価の基準

事業者自己評価は、小項目、中項目、大項目の順に行うこととした。

◆小項目では、評価の視点（判断基準）の達成度を4段階で評価した。

[小項目の評価基準]

- 4 優れた取組ができている
- 3 おおむねできている
- 2 あまりできていない
- 1 まったくできていない

◆中項目では、小項目の評価点の平均値をもとに、4段階で評価した。

[中項目の評価基準]

- 4 優れた取組ができている : 小項目の評価点の平均が 3.25 以上
- 3 おおむねできている : 小項目の評価点の平均が 2.50 以上 3.25 未満
- 2 あまりできていない : 小項目の評価点の平均が 1.75 以上 2.50 未満
- 1 まったくできていない : 小項目の評価点の平均が 1.75 未満

◆大項目では、中項目の評価点の平均値をもとに、5段階で評価した。

[大項目の評価基準]

- A 大変優れている : 中項目の評価点の平均が 3.40 以上
- B 優れている : 中項目の評価点の平均が 2.80 以上 3.40 未満
- C 普通 : 中項目の評価点の平均が 2.20 以上 2.80 未満
- D やや不十分である : 中項目の評価点の平均が 1.60 以上 2.20 未満
- E 極めて不十分である : 中項目の評価点の平均が 1.60 未満

◆小項目、中項目の評価点をつける中で気づいたこと、具体的な取り組みの事実などを勘案しながら、良いと思う点、改善が必要だと思う点について、コメントを記述できるようにした。

3. 利用者調査の考え方

(1) 目的

サービスについて利用者が日頃感じていることを把握し、サービス改善に向けた手がかりとしていくことを目的とする。

(2) 評価の対象

各児童育成クラブの利用者及び保護者を対象に実施した。

(3) 利用者調査の実施方法

無記名のアンケート方式により実施した。

調査票は、事業所から利用者へ直接配布し、郵送により回収した。

(4) 調査項目

平成 30 年度の利用者調査における調査項目は、以下のとおりである。

調査項目	質問番号	質問事項
利用しているクラブの組織と運営について 【◆保護者◆】	Q1	クラブの理念や方針について、保護者に十分な説明や情報提供がありましたか。
	Q2	支援員は、育成支援に関する専門的知識や技術を有していると思いますか。
	Q3	出席確認や不審者対応など、来所時や帰宅時の安全確保に向けた取り組みがなされていると思いますか。
	Q4	クラブ内の部屋について清掃・整頓が行き届いていると思いますか。
	Q5	支援員は、お子さんや保護者の個人情報の保護・取扱いに注意を払っていると思いますか。
	Q6	学校との連携や情報交換が適切に行われていると思いますか。
サービス提供の手順について 【◆保護者◆】	Q7	支援員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。
	Q8	あなたは、支援員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。
	Q9	連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。
	Q10	お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを支援員に相談しやすいですか。
	Q11	クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。

調査項目	質問番号	質問事項
子どもの発達援助について【◆保護者◆】	Q12	支援員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。
	Q13	支援員は、遊びや生活を通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。
	Q14	支援員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。
	Q15	支援員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。
	Q16	季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。
	Q17	クラブにおける発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。
	Q18	支援員は、子どもの人権を尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。
	Q19	特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。
児童育成クラブの利用状況について【◆保護者◆】	Q20	児童育成クラブの利用日数はどれくらいですか。
	Q21	児童育成クラブを土曜日に利用していますか。
	Q22	小学校6年生までの受け入れが可能となった場合、利用を希望しますか。
	Q23	「Q22」で「1. 小学校5年生まで希望する」または「2. 小学校6年生まで希望する」と回答した方に伺います。利用予定日数はどれくらいですか。
自由記述【◆保護者◆】	「児童育成クラブ」についてご意見があればご自由にお書きください。	
サービス提供の手順及び発達援助について【◇児童◇】	Q24	じどういくせいクラブのおやつはおいしいですか。
	Q25	じどういくせいクラブのへややトイレはきもちよくつかうことができますか。
	Q26	じどういくせいクラブはたのしいですか。
	Q27	じどういくせいクラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらよいか、いっしょにかんがえてくれましたか。
	Q28	じどういくせいクラブの先生は、あなたのきもちをよくわかってくれますか。
自由記述【◇児童◇】	じどういくせいクラブについてかんじていることを、なんでもかいてください。	

(5) 利用者調査の基準

各質問について、利用者（児童）及び保護者が3段階で評価する。

回答結果を次のとおり点数換算し、全回答者の設問別平均点を算出する。

（-1点～1点の範囲）

[回答の判断基準]				
1	は	い	（肯定的評価） ⇒ <u>1点</u> 換算	
2	どちらともいえない		（中間的評価） ⇒ <u>0点</u> 換算	
3	い	い	え	（否定的評価） ⇒ <u>-1点</u> 換算

◆設問別平均点を基に、次のテーマ別に平均点を算出する。その結果を基に、「テーマ別評価」を行う。

[評価区分]

評価者	テーマ	設問数	テーマ別平均点
◆保護者◆	利用しているクラブの組織と運営について	6問	-1点 } 1点
	サービス提供の手順について	5問	
	子どもの発達援助について	8問	
◇児童◇	サービス提供の手順および発達援助について	5問	

[テーマ別評価の算出方法]	
A 大変優れている	: 設問別平均点が全て 0.75 点以上
B 優れている	: テーマ別平均点が 0.5 点以上 (テーマ別評価 A となる場合を省く)
C 普通	: テーマ別平均点が 0.0 点以上 0.5 点未満
D やや不十分である	: テーマ別平均点が -0.5 点以上 0.0 点未満
E 極めて不十分である	: テーマ別平均点が -0.5 点未満

4. 公表・フィードバックの考え方

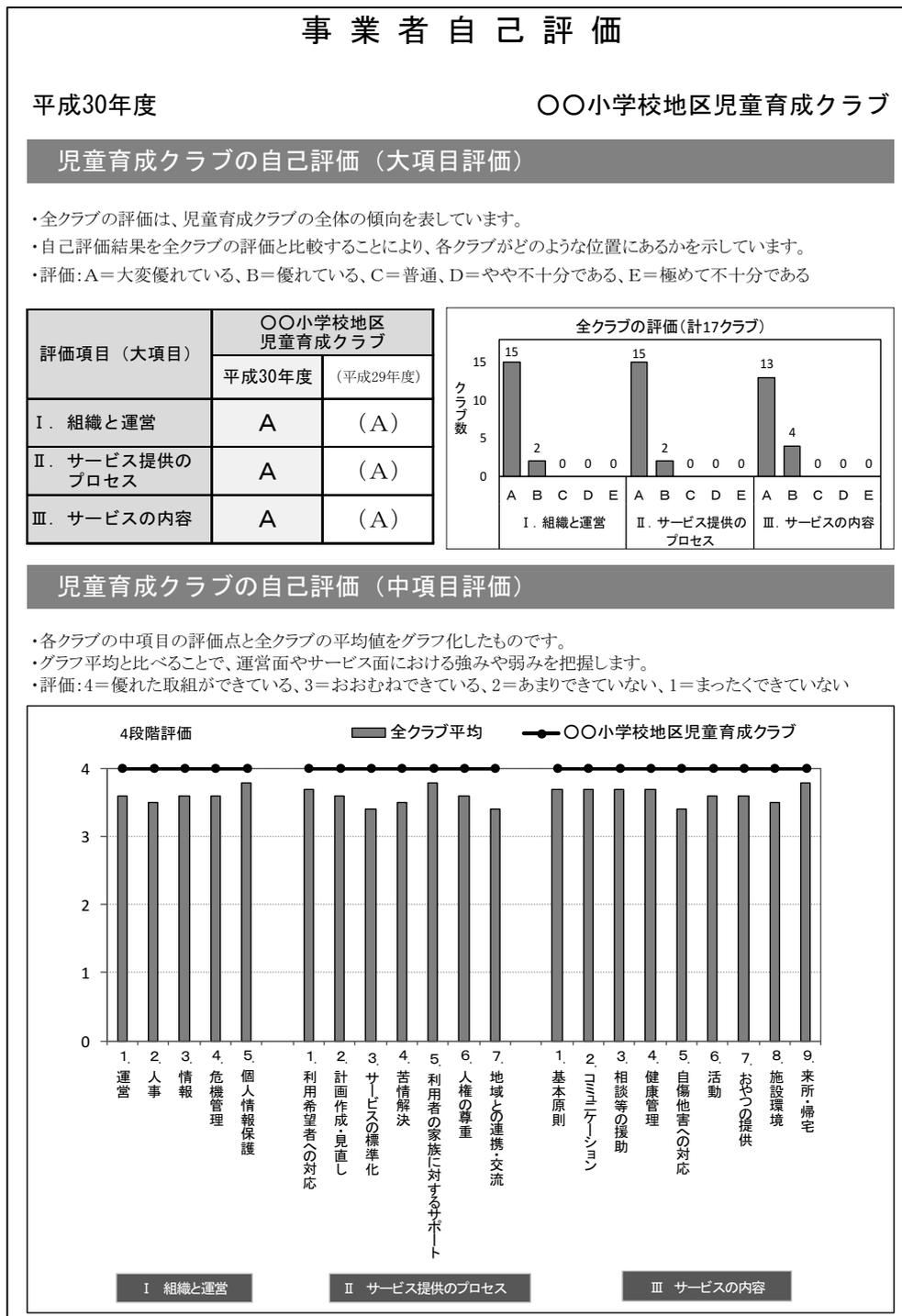
(1) 事業者へのフィードバックに関する考え方

事業者自己評価シートの構成は以下のとおりである。

①事業者自己評価のフィードバック

事業者自己評価の結果については、サービスごとの全体集計結果と当該事業所の自己評価結果を対比できる資料を作成し、フィードバックする。これにより、自己評価を実施した事業者全体における当該事業所の位置づけを伝える。

[事業者へのフィードバックレポートのイメージ（自己評価）]



児童育成クラブの自己評価（小項目評価）

・各クラブの小項目の評価点と全クラブの平均値、平成29年度における評価点を示したものです。
 ・評価：4＝優れた取組ができています、3＝おおむねできています、2＝あまりできていない、1＝まったくできていない

I 組織と運営

中項目	小項目	自己評価	全クラブとの比較		平成29年度との比較	
			平均	平均より上＝↑	平成29年度	差
1 運営	① 理念・方針の職員への周知	3	3.1		3	
	② 重要な意思決定時における職員や利用者への説明	4	3.7	↑	3	△ 1
	③ 職員が意見や提案を発言しやすい雰囲気づくり	4	3.6	↑	4	
	④ 利用者意見に対する適切な対応	4	3.7	↑	4	
	⑤ 利用者意向の事業計画への反映	4	3.4	↑	4	
	⑥ 全職員でのサービス改善への取り組み	4	3.6	↑	4	
	⑦ 市との連携や情報共有	4	3.7	↑	4	
	⑧ 学校との連携や情報共有	4	3.7	↑	4	
2 人事	① 職員研修の開催	4	3.6	↑	4	
	② 日常的な職員の意向把握	4	3.5	↑	3	△ 1
	③ 職員の適正な採用	4	3.5	↑	4	
3 情報	① 指示・連絡・報告・相談の体制	4	3.6	↑	3	△ 1
	② 利用者の家族に対する定期的な情報提供	4	3.8	↑	3	△ 1
	③ 情報公開の仕組み	4	3.5	↑	4	
4 危機管理	① 災害・緊急時の対策	3	3.4		3	
	② 施設や設備の安全点検及び危険箇所への対処	4	3.7	↑	4	
	③ ケガや急病に対する救護対策	4	3.6	↑	4	
	④ 衛生管理(感染症の拡大防止)	4	3.6	↑	3	△ 1
	⑤ 衛生管理(食中毒の防止)	4	3.8	↑	4	
	⑥ ケガや事故の再発防止	4	3.8	↑	4	
5 個人情報保護	① 守秘義務の研修	4	3.8	↑	4	
	② 守秘義務のための取り組み	4	3.9	↑	4	
	③ 個人情報利用の利用者への説明	4	3.5	↑	4	
	④ プライバシーの確保	4	3.9	↑	4	

II サービス提供のプロセス

中項目	小項目	自己評価	全クラブとの比較		平成29年度との比較	
			平均	平均より上＝↑	平成29年度	差
1 利用希望者への対応	① 見学者の受け入れ、分かれ					
	② 重要事項に関する書面に					
	③ 説明資料の読みやすさ					
2 計画作成・見直し	① 子どもや保護者の意見を					
	② 利用者への計画説明及び					
	③ 実施計画の定期的な見直し					
3 サービスの標準化	① 個々のサービスに応じた					
	② 新人職員に対する実地指導					
4 苦情解決	① 苦情の受付体制、職員への					
	② 苦情の迅速な解決					
	③ 苦情に関する情報共有					
5 利用者の家族に対するサポート	① 保護者からの相談対応					
6 人権の尊重	① 虐待防止のための具体的な					
	② 家庭等の虐待兆候の早期発見					
7 地域との連携・交流	① 施設外での活動範囲を広げ					
	② ボランティア・実習生に対する					
	③ 関係諸機関・団体との連携					

III サービスの内容

中項目	小項目	自己評価	全クラブとの比較		平成29年度との比較	
			平均	平均より上＝↑	平成29年度	差
1 基本原則	① 子どもの主体的な活動の援助	4	3.7	↑	4	
	② 子どもの状況や要望に応じた支援	4	3.7	↑	4	
	③ 提供したサービスの記録	4	3.8	↑	4	
2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定の促進・受け止め	4	3.7	↑	4	
	② 子どもの人格や価値観を尊重した対応	4	3.6	↑	4	
3 相談等の援助	① 子どもからの相談対応	4	3.6	↑	4	
	② 子どもの生活状況の把握、職員間の情報共有、支援への反映	4	3.8	↑	4	
4 健康管理	① 適切な服薬管理	4	3.8	↑	4	
	② 子どものケガや急病時の対応及び報告	4	3.8	↑	4	
	③ アレルギー疾患への配慮	4	3.6	↑	4	
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などに対する適切な対応	4	3.3	↑	3	△ 1
	② 専門家の協力を得た支援方法の工夫	4	3.4	↑	4	
6 活動	① 活動メニューの多様性や、子どもが選んで参加できる仕組み	4	3.6	↑	4	
	② 子どもが自由に遊べる時間の確保	4	3.7	↑	4	
	③ 学習活動を自主的に行える環境整備	4	3.6	↑	4	
	④ 子どもの豊かな人間関係が育つような配慮	4	3.8	↑	4	
	⑤ 互いに認め合い尊重し合える人間性が育つための支援	4	3.5	↑	3	△ 1
	⑥ 障がいのある子どもが活動する際の支援	4	3.5	↑	3	△ 1
7 おやつ提供	① 質の高いおやつの提供	4	3.6	↑	4	
	② 子どもの嗜好や成長に合わせたおやつの提供	4	3.4	↑	4	
	③ おやつを楽しむことが出来るような配慮	4	3.7	↑	4	
8 施設環境	① 子どもが快適に生活するための施設環境の配慮	3	3.3		4	▼ 1
	② 施設内の清掃・整理	4	3.6	↑	4	
	③ 安全に活動するための設備・備品への配慮	4	3.7	↑	4	
9 来所・帰宅	① 子どもひとりでの来所・帰宅に対する安全指導	4	3.8	↑	4	

②利用者調査結果のフィードバック

利用者調査の結果については、当該事業所の項目別・分野別に見た利用評価が分かる資料を作成し、フィードバックする。ただし、サンプル数および回収数が極端に少なく、利用者が特定される可能性のある場合は非公開とする。

利用者の自由意見については、利用者が特定される意見を除き、全て事業者に報告する。

【事業者へのフィードバックレポートのイメージ（利用者調査）】

利用者調査

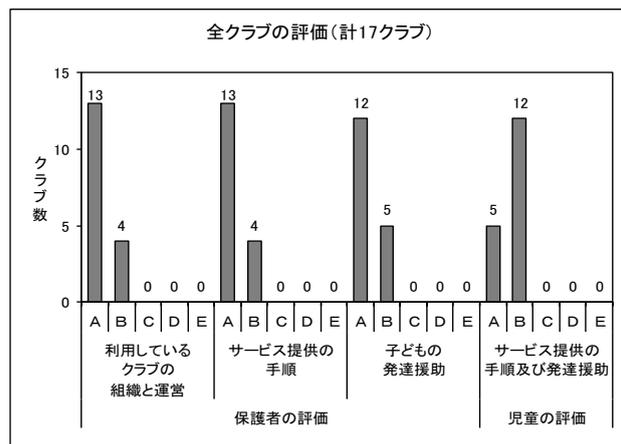
平成30年度

〇〇小学校地区児童育成クラブ

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度 (平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



児童育成クラブの利用者調査(設問別評価)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、平成30年度における本クラブの回答(はいの割合)を示したものです。

I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブ組織と運営について	①クラブの理念や方針について、保護者に十分な説明や情報提供がありましたか。	88.5%	1.9%	86.1%	0.6%	↑	87.2%	0.0%	1.3%
	②支援員は、育成支援に関する専門的知識や技術を有していると思いますか。	67.3%	5.8%	69.1%	2.4%		59.0%	2.6%	8.3%
	③出席確認や不審者対応など、来所時や帰宅時の安全確保に向けた取組みがなされていると思いますか。	88.5%	0.0%	87.2%	1.7%	↑	74.4%	5.1%	14.1%
	④クラブ内の部屋について清掃・整頓が行き届いていると思いますか。	92.3%	0.0%	84.5%	0.7%	↑	53.8%	5.1%	38.5%
	⑤支援員は、お子さんや保護者の個人情報の保護・取扱いに注意を払っていると思いますか。	71.2%	0.0%	84.7%	0.8%		71.8%	2.6%	▲0.6%
	⑥学校との連携や情報交換が適切に行われていると思いますか。	73.1%	5.8%	75.7%	3.6%		64.1%	2.6%	9.0%

I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 29 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① 支援員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。	90.4%	1.9%	89.6%	0.4%	↑	84.6%	0.0%	5.8%
	② あなたは、支援員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。	67.3%	3.8%	73.4%	2.1%		61.5%	20.5%	5.8%
	③ 連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。	73.1%	5.8%	75.8%	4.6%		71.8%	12.8%	1.3%
	④ お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを支援員に相談しやすいですか。	80.8%	3.8%	85.6%	2.3%		71.8%	2.6%	9.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。	88.5%	0.0%	86.0%	1.4%		74.4%	2.6%	14.1%
子どもの発達援助について	① 支援員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。	84.6%	0.0%	83.6%	1.3%	↑	69.2%	5.1%	15.4%
	② 支援員は、遊びや生活を通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。	88.5%	0.0%	83.0%	2.2%	↑	87.2%	2.6%	1.3%
	③ 支援員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。	75.0%	3.8%	75.9%	4.3%		61.5%	5.1%	13.5%
	④ 支援員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。	75.0%	1.9%	76.0%	2.7%		64.1%	0.0%	10.9%
	⑤ 季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。	96.2%	0.0%	96.9%	0.1%		97.4%	0.0%	▲ 1.2%
	⑥ クラブにおける発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。	86.5%	1.9%	89.5%	1.5%		82.1%	0.0%	4.4%
	⑦ 支援員は、子どもの人権を尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。	76.9%	1.9%	83.4%	2.1%		82.1%	0.0%	▲ 5.2%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。	63.5%	0.0%	64.8%	0.8%		66.7%	2.6%	▲ 3.2%

I 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 29 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
及びサービス提供の手順	① おやつのおいしさ	73.1%	5.8%	79.1%	1.5%	↑	61.5%	10.3%	11.6%
	② へややといれのきもちよさ	78.8%	9.6%	72.8%	4.4%	↑	43.6%	15.4%	35.2%
	③ クラブのたのしさ	78.8%	3.8%	82.2%	2.2%		76.9%	2.6%	1.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	84.6%	5.8%	68.5%	2.2%	↑	71.8%	2.6%	12.8%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	76.9%	5.8%	67.9%	3.2%	↑	69.2%	5.1%	7.7%

I 保護者の意見・II 利用児童の意見
別紙にて提供

(2) 評価結果の公表に関する考え方

①市民への公表

事業者自己評価および利用者調査の結果は、市のホームページ等を通じて市民に公表する。
 公表の範囲は、「クラブ・運営事業者のプロフィール」「運営事業者のサービス提供方針」
 「運営事業者による自己評価結果」「利用者による評価結果」をそれぞれ掲載する。

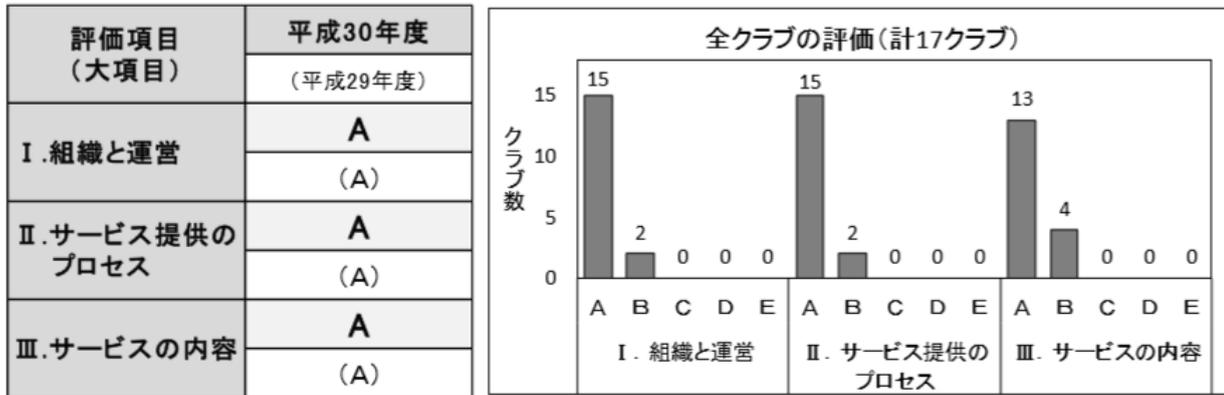
[公表フォームのイメージ]

評 価 結 果										
平成 30年度					〇〇小学校地区児童育成クラブ					
クラブ・運営事業者のプロフィール										
事業者の名称										
クラブの所在地										
クラブの連絡先		電 話				F A X				
当該クラブの運営開始日										
開設場所										
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員			人			利 用 者 数		人
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	人		うち、男性	人		うち、女性	人	
		有資格者数	人		保育士	人		幼稚園 教諭	人	
	非常勤	職員数	人		うち、男性	人		うち、女性	人	
		有資格者数	人		保育士	人		幼稚園 教諭	人	
運営事業者のサービス提供方針										
サービスの提供に あたって大切に していること										
		事業者の強み アピールしたい取り組み				サービス改善に向けた取組み 今後の展望				
I 組 織 と 運 営	1 運営									
	2 人事									
	3 情報									
	4 危機管理									
	5 個人情報保護									
II サ ー ビ ス 提 供 の プ ロ セ ス	1 利用希望者への対応									
	2 計画作成・見直し									
	3 サービスの標準化									
	4 苦情解決									
	5 利用者家族へのサポート									
	6 人権の尊重									
	7 地域との連携・交流									
III サ ー ビ ス の 内 容	1 基本原則									
	2 コミュニケーション									
	3 相談等の援助									
	4 健康管理									
	5 自傷他害への対応									
	6 活動									
	7 おやつ提供									
	8 施設環境									
	9 来所・帰宅									

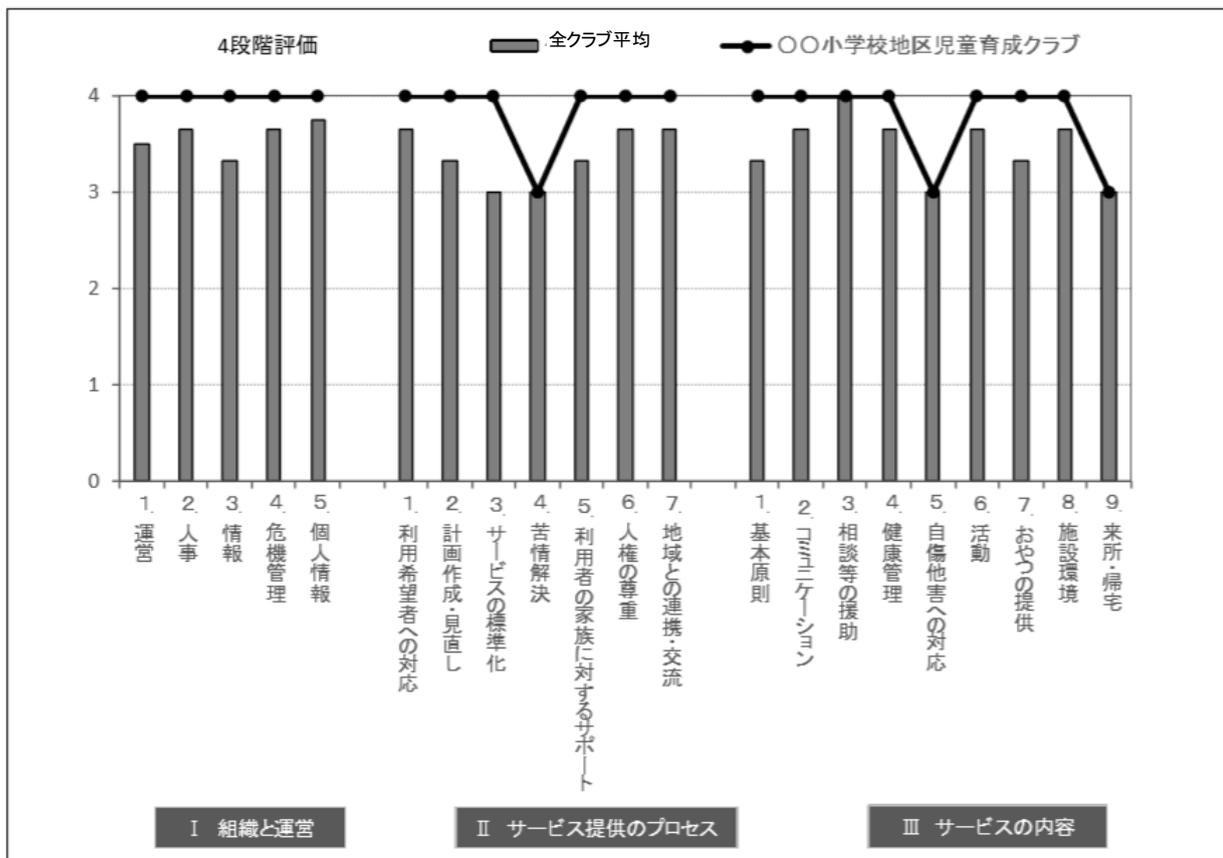
運営事業者による自己評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



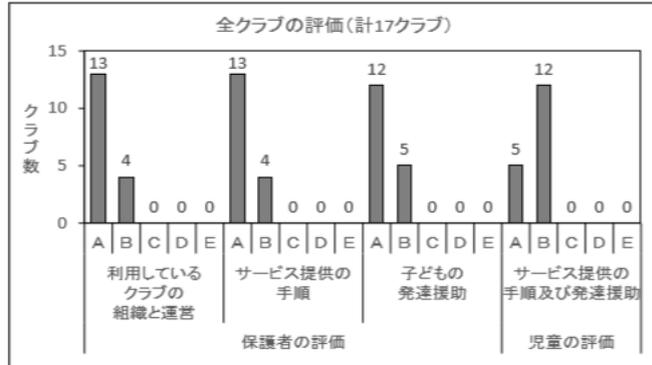
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度 (平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=1	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① 支援員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。	90.4%	1.9%	89.6%	0.4%	↑	84.6%	0.0%	5.8%
	② あなたは、支援員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。	67.3%	3.8%	73.4%	2.1%		61.5%	20.5%	5.8%
	③ 連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。	73.1%	5.8%	75.8%	4.6%		71.8%	12.8%	1.3%
	④ お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを支援員に相談しやすいですか。	80.8%	3.8%	85.6%	2.3%		71.8%	2.6%	9.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。	88.5%	0.0%	86.0%	1.4%		74.4%	2.6%	14.1%
子どもの発達援助について	① 支援員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。	84.6%	0.0%	83.6%	1.3%	↑	69.2%	5.1%	15.4%
	② 支援員は、遊びや生活を通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。	88.5%	0.0%	83.0%	2.2%	↑	87.2%	2.6%	1.3%
	③ 支援員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に進める環境を整えていると思いますか。	75.0%	3.8%	75.9%	4.3%		61.5%	5.1%	13.5%
	④ 支援員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。	75.0%	1.9%	76.0%	2.7%		64.1%	0.0%	10.9%
	⑤ 季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。	96.2%	0.0%	96.9%	0.1%		97.4%	0.0%	▲ 1.2%
	⑥ クラブにおける発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。	86.5%	1.9%	89.5%	1.5%		82.1%	0.0%	4.4%
	⑦ 支援員は、子どもの人権を尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。	76.9%	1.9%	83.4%	2.1%		82.1%	0.0%	▲ 5.2%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。	63.5%	0.0%	64.8%	0.8%		66.7%	2.6%	▲ 3.2%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=1	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順及び発達援助について	① じどういせいクラブのおやつはおいしいですか。	73.1%	5.8%	79.1%	1.5%	↑	61.5%	10.3%	11.6%
	② じどういせいクラブのへややといれのはきもちよくなることができますか。	78.8%	9.6%	72.8%	4.4%	↑	43.6%	15.4%	35.2%
	③ じどういせいクラブはたのしいですか。	78.8%	3.8%	82.2%	2.2%		76.9%	2.6%	1.9%
	④ じどういせいクラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらよいか、いっしょにかんがえてくれましたか。	84.6%	5.8%	68.5%	2.2%	↑	71.8%	2.6%	12.8%
	⑤ じどういせいクラブの先生は、あなたのきもちをよくわかってくれますか。	76.9%	5.8%	67.9%	3.2%	↑	69.2%	5.1%	7.7%

②評価結果の問い合わせ対応

今回の評価結果について、公表後に、利用者や市民から問い合わせがあった場合には、事業者既に設置されている問い合わせ窓口や担当者を通じて対処頂く。また、調査実施方法や全クラブ共通の事項については、市青少年課が窓口となって対処する。

第 2 章 平成 30 年度児童育成クラブに係る評価結果

第2章 平成30年度児童育成クラブに係る評価結果

1. 調査の概要

(1) 事業者自己評価

①目的	事業所の職員がサービスの内容について振り返り、良い点、改善が必要な点を把握することを目的とする。
②対象	市が設置する児童育成クラブ 17 クラブ
③期間	平成 31年 2月 15日（金）～平成 31 年 2月 28日（木）
④方法	事業者自己評価は、市が定めた事業者自己評価シートを使用して実施し、評価シートは、電子メールにより配布・回収した。

(2) 利用者調査

①目的	サービスについて利用者が日ごろ感じていることを把握し、サービス改善に向けた手がかりとしていくことを目的とする。
②対象	市が設置する児童育成クラブの利用者（児童）及び保護者
③期間	平成 31年 2月 15日（金）～平成 31 年 2月 28日（木）
④方法	無記名のアンケート方式により実施した。 調査票は、事業所から利用者へ直接配布し、郵送により回収した。

(3) 各調査の実施状況

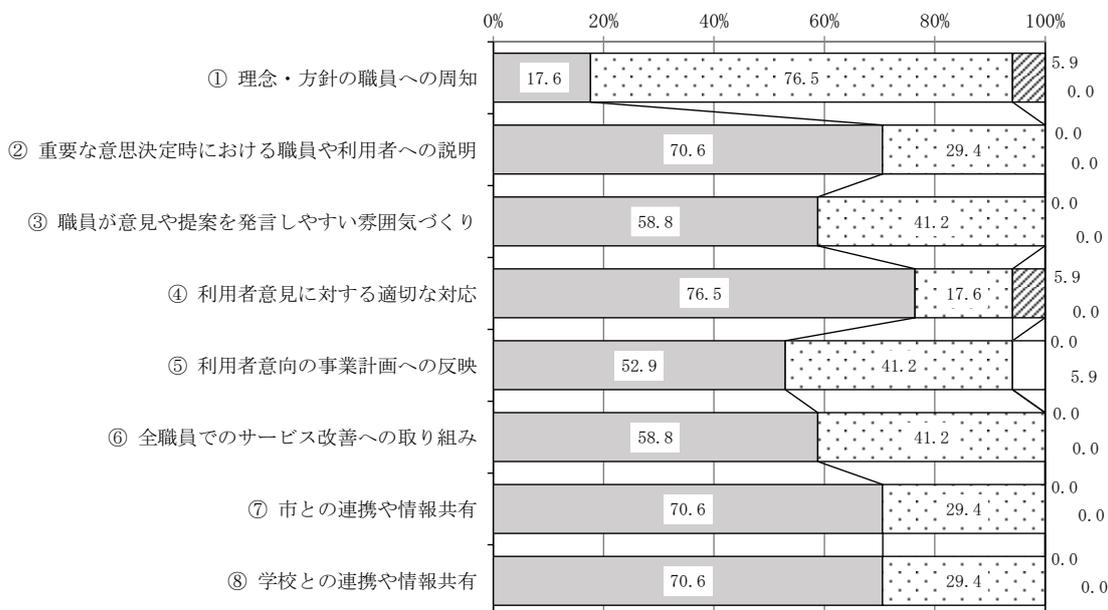
No.	児童育成クラブ名	事業者調査	利用者調査		
		回収状況	配布数	回収数	回収率
1	浦安小学校地区児童育成クラブ	○	79	52	65.8%
2	南小学校地区児童育成クラブ	○	200	109	54.5%
3	北部小学校地区児童育成クラブ	○	191	106	55.5%
4	見明川小学校地区児童育成クラブ	○	129	66	51.2%
5	富岡小学校地区児童育成クラブ	○	72	48	66.7%
6	美浜南小学校地区児童育成クラブ	○	60	34	56.7%
7	東小学校地区児童育成クラブ本室	○	153	96	62.7%
8	舞浜小学校地区児童育成クラブ	○	145	99	68.3%
9	美浜北小学校地区児童育成クラブ	○	43	20	46.5%
10	日の出小学校地区児童育成クラブ	○	110	74	67.3%
11	明海小学校地区児童育成クラブ	○	80	48	60.0%
12	高洲小学校地区児童育成クラブ	○	150	76	50.7%
13	日の出南小学校地区児童育成クラブ	○	108	55	50.9%
14	明海南小学校地区児童育成クラブ	○	75	49	65.3%
15	高洲北小学校地区児童育成クラブ	○	117	72	61.5%
16	東野小学校地区児童育成クラブ	○	159	91	57.2%
17	入船小学校地区児童育成クラブ	○	108	65	60.2%
合計		17 施設	1,979	1,160	58.6%

2. 事業者の自己評価の結果

事業者自己評価について、全 17 クラブの単純集計の結果は以下のとおりである。

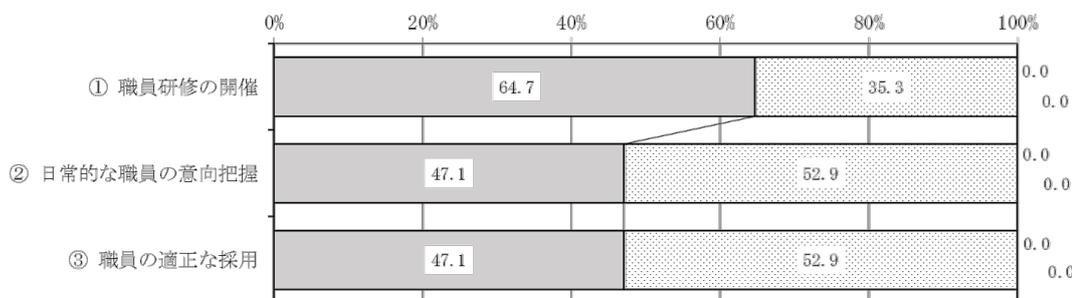
(1) 組織と運営

①運営



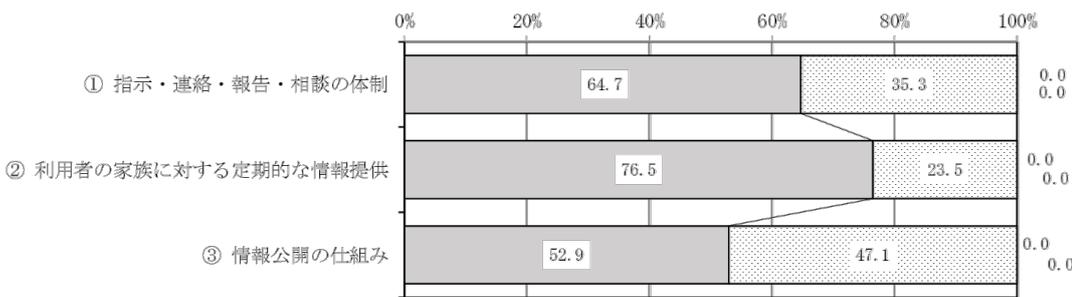
優れた取組が出来ている
 おおむね出来ている
 あまり出来ていない
 まったく出来ていない

②人事



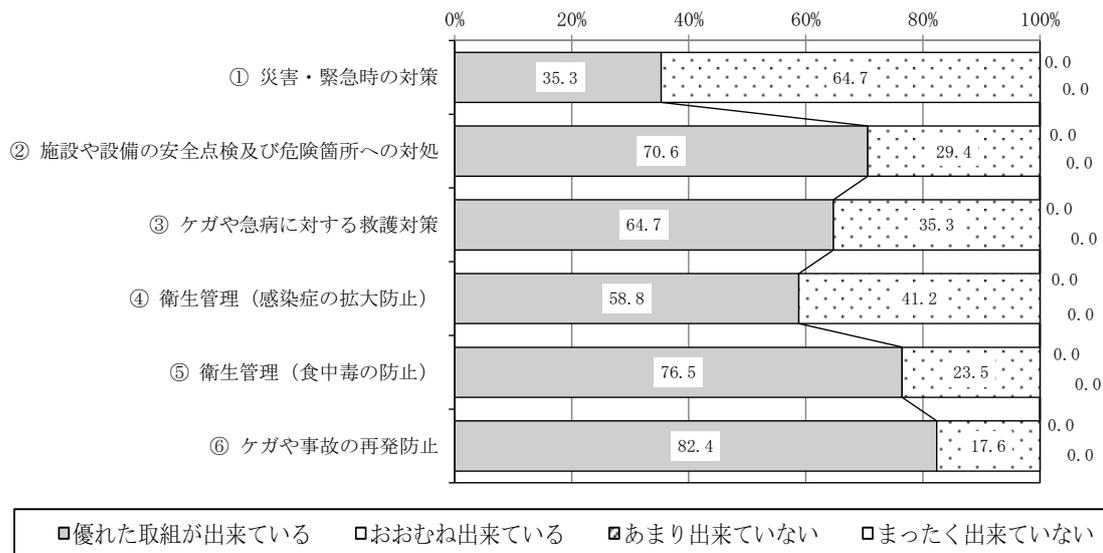
優れた取組が出来ている
 おおむね出来ている
 あまり出来ていない
 まったく出来ていない

③情報

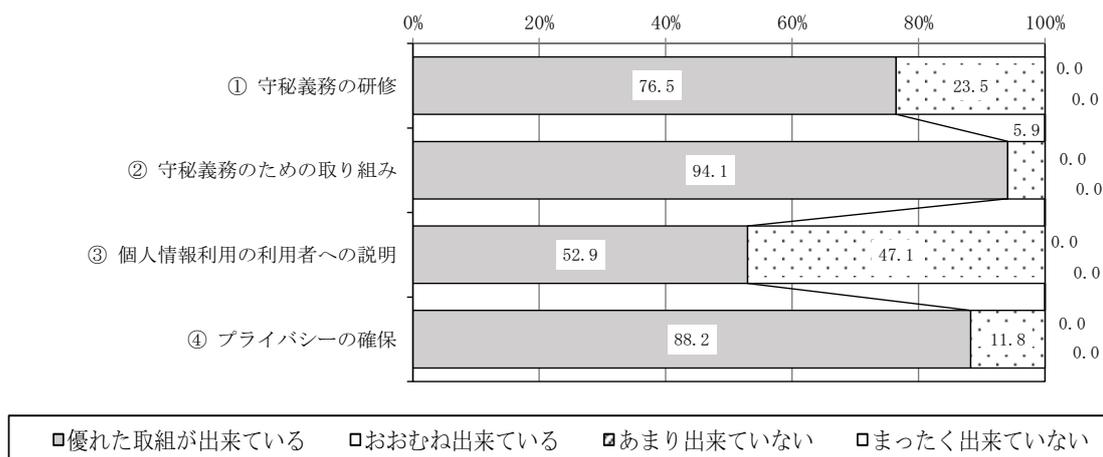


優れた取組が出来ている
 おおむね出来ている
 あまり出来ていない
 まったく出来ていない

④危機管理

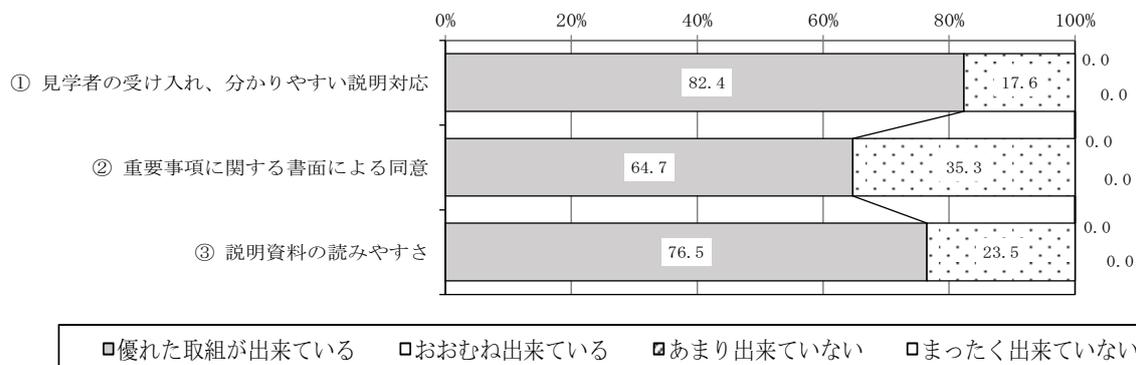


⑤個人情報保護

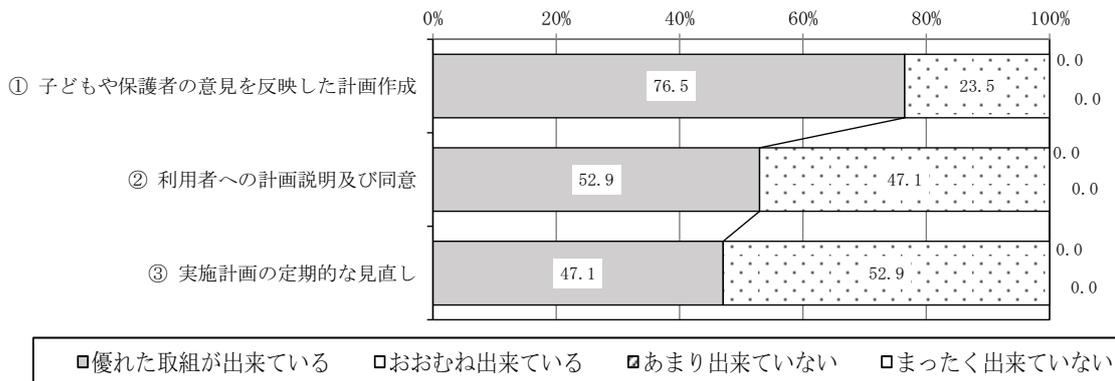


(2) サービス提供へのプロセス

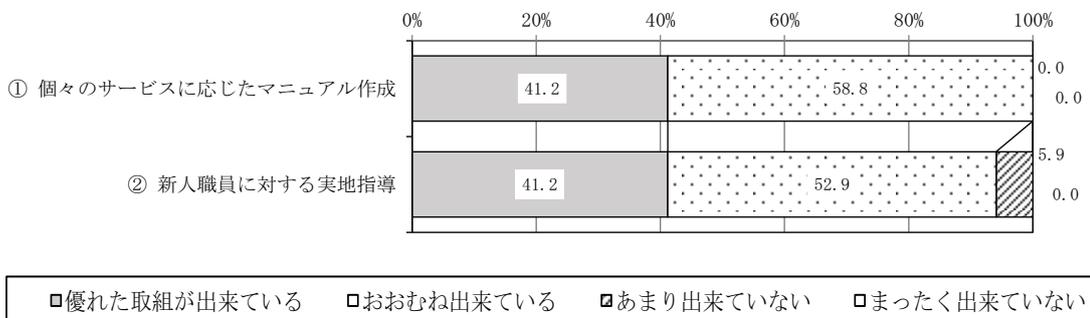
①利用希望者への対応



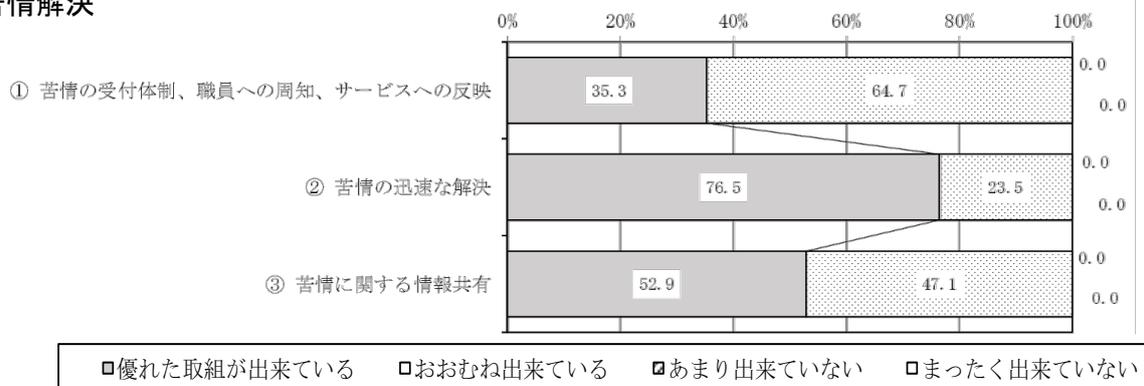
②計画作成・見直し



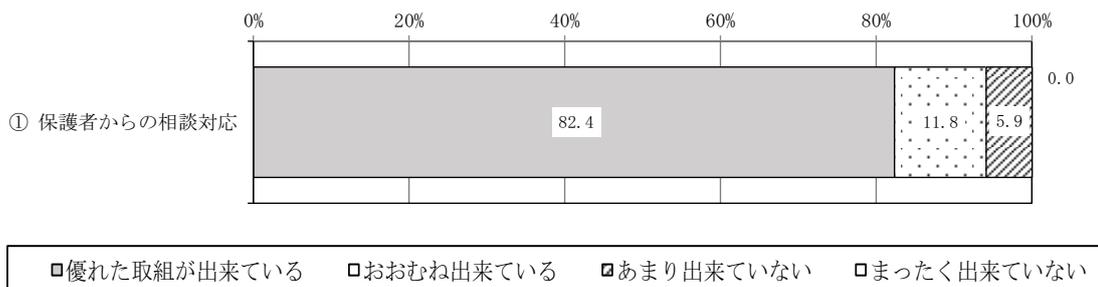
③サービスの標準化



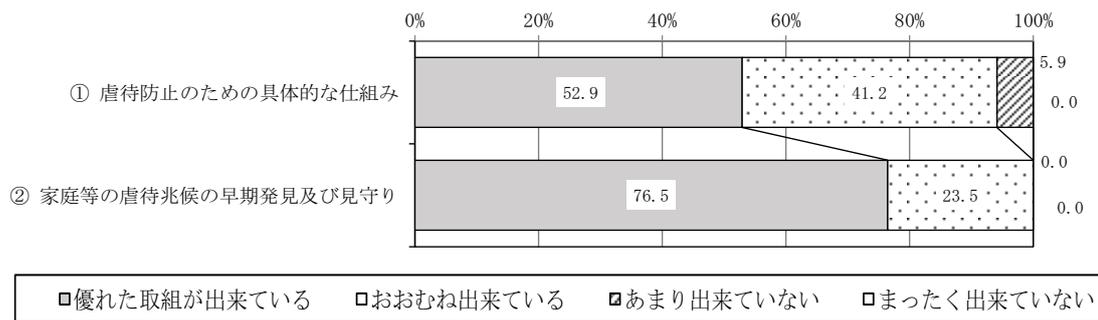
④苦情解決



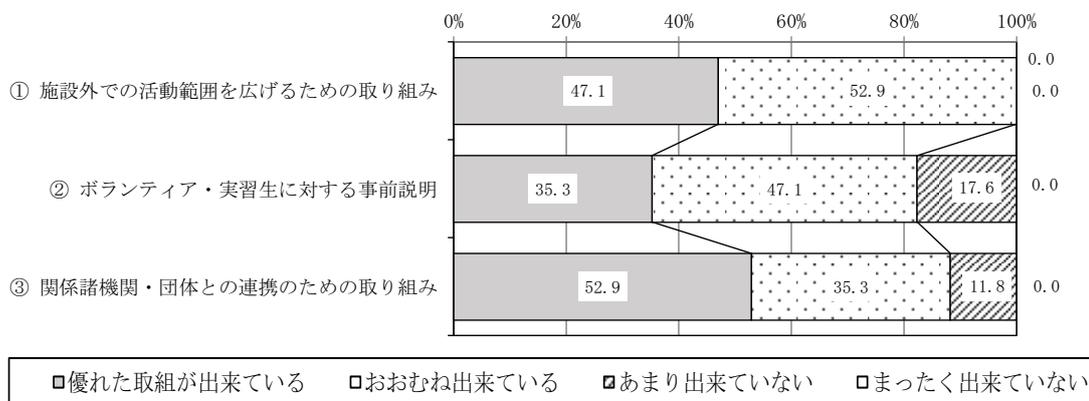
⑤利用者の家族に対するサポート



⑥ 人権の尊重

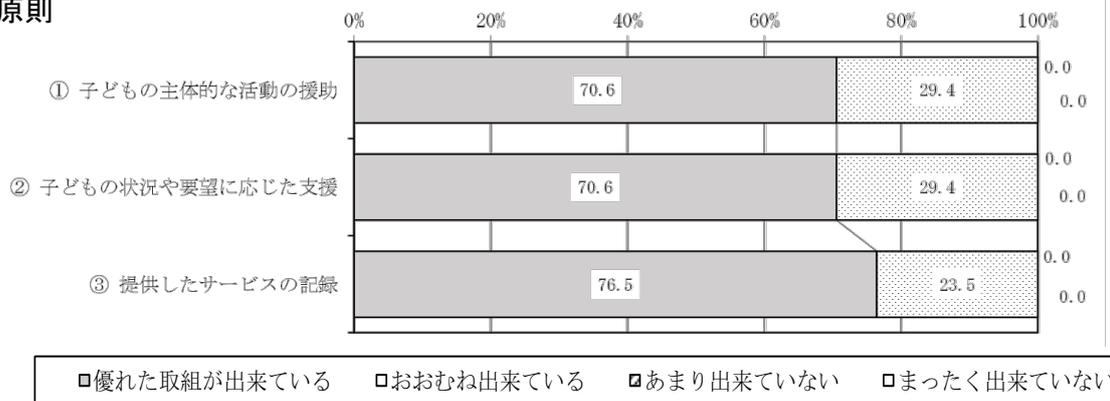


⑦ 地域との連携・交流

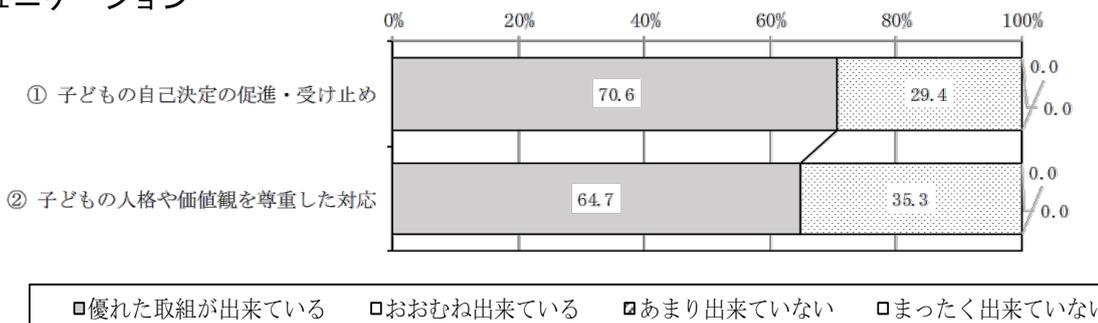


(3) サービスの内容

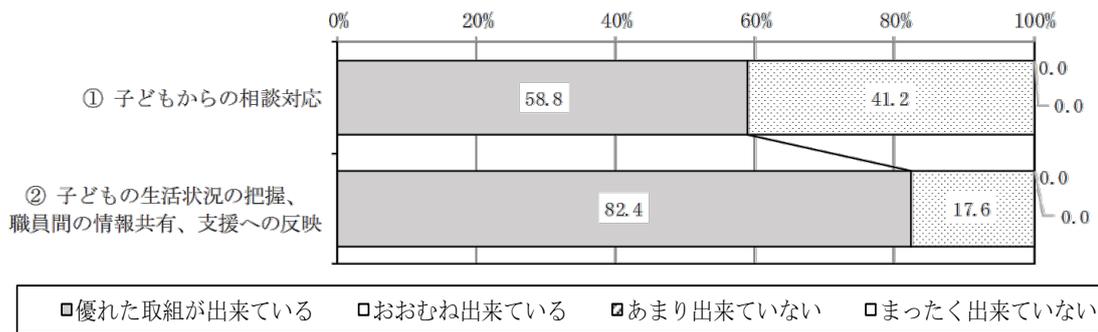
① 基本原則



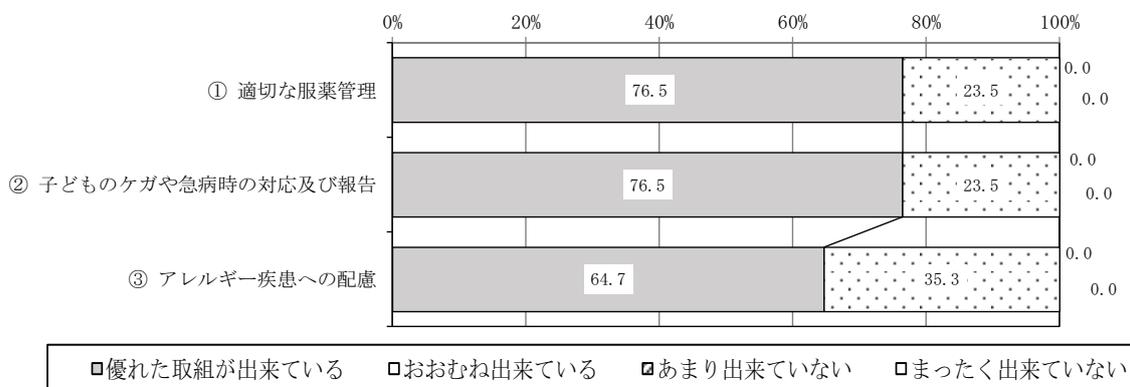
② コミュニケーション



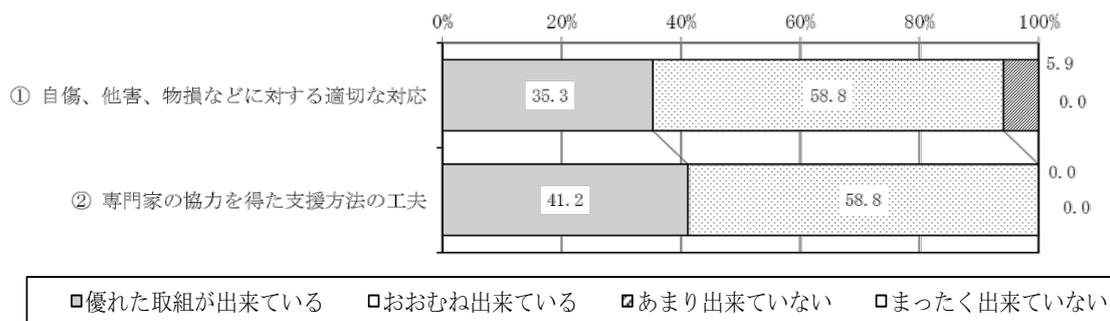
③相談等の援助



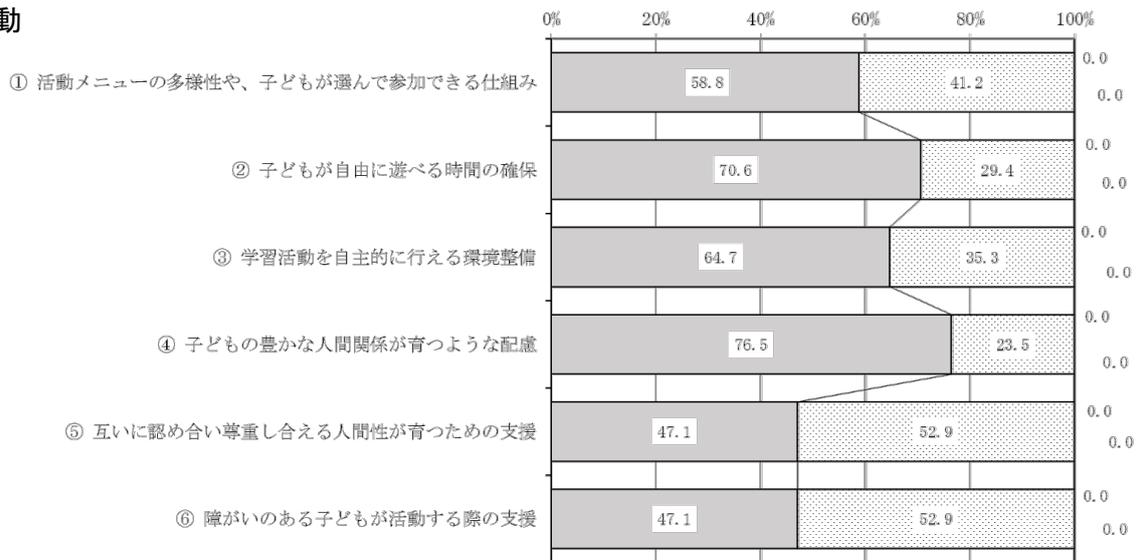
④健康管理



⑤自傷他害への対応

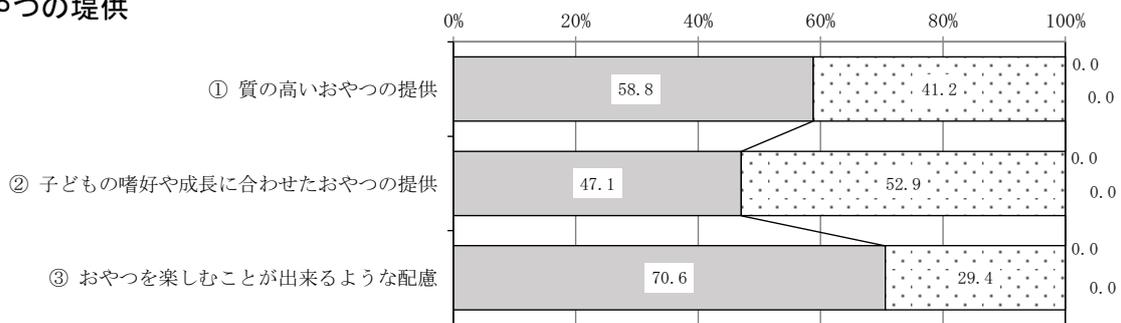


⑥活動



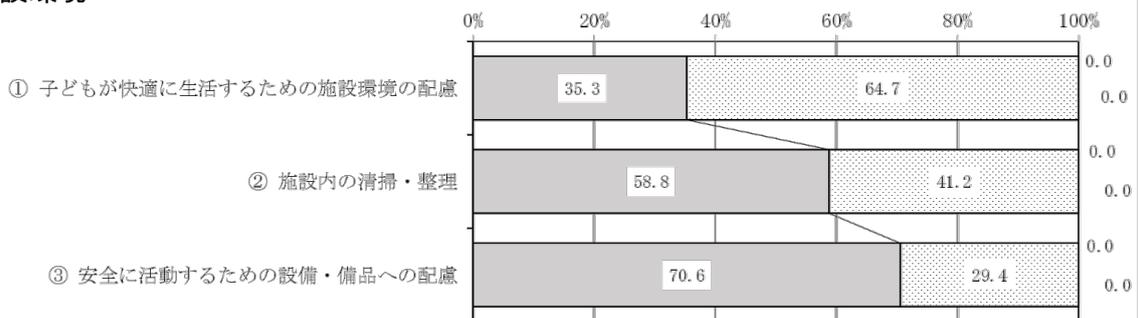
優れた取組が出来ている
 おおむね出来ている
 あまり出来ていない
 まったく出来ていない

⑦おやつ の提供



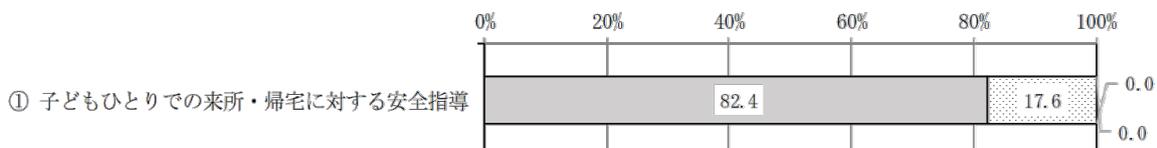
優れた取組が出来ている
 おおむね出来ている
 あまり出来ていない
 まったく出来ていない

⑧施設環境



優れた取組が出来ている
 おおむね出来ている
 あまり出来ていない
 まったく出来ていない

⑨来所・帰宅



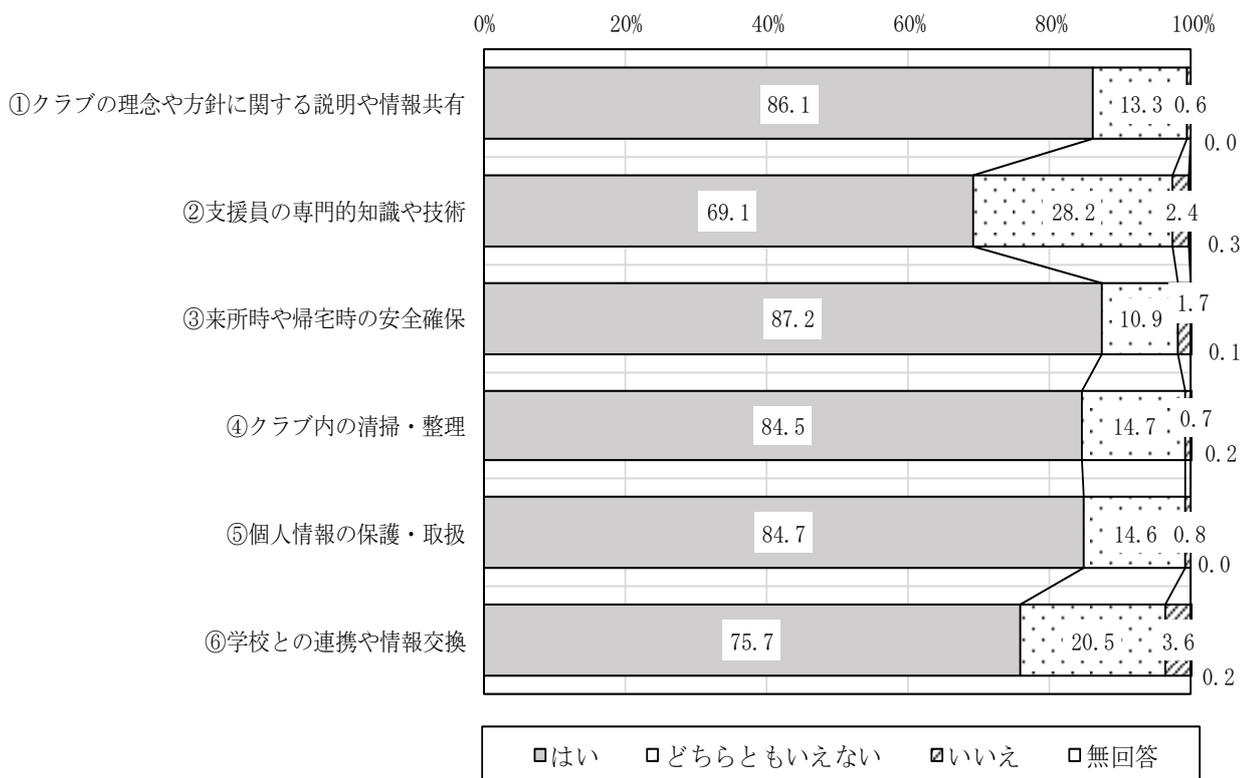
優れた取組が出来ている
 おおむね出来ている
 あまり出来ていない
 まったく出来ていない

3. 利用者調査の結果

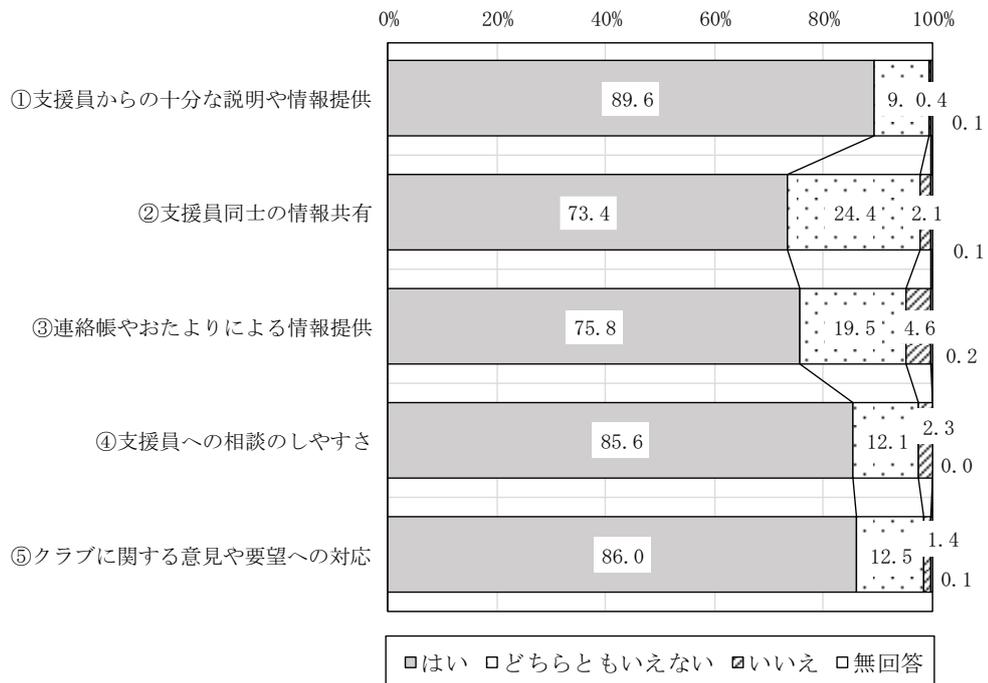
利用者調査について、全回答者の単純集計の結果は以下のとおりである。

(1) 利用しているクラブの組織と運営について

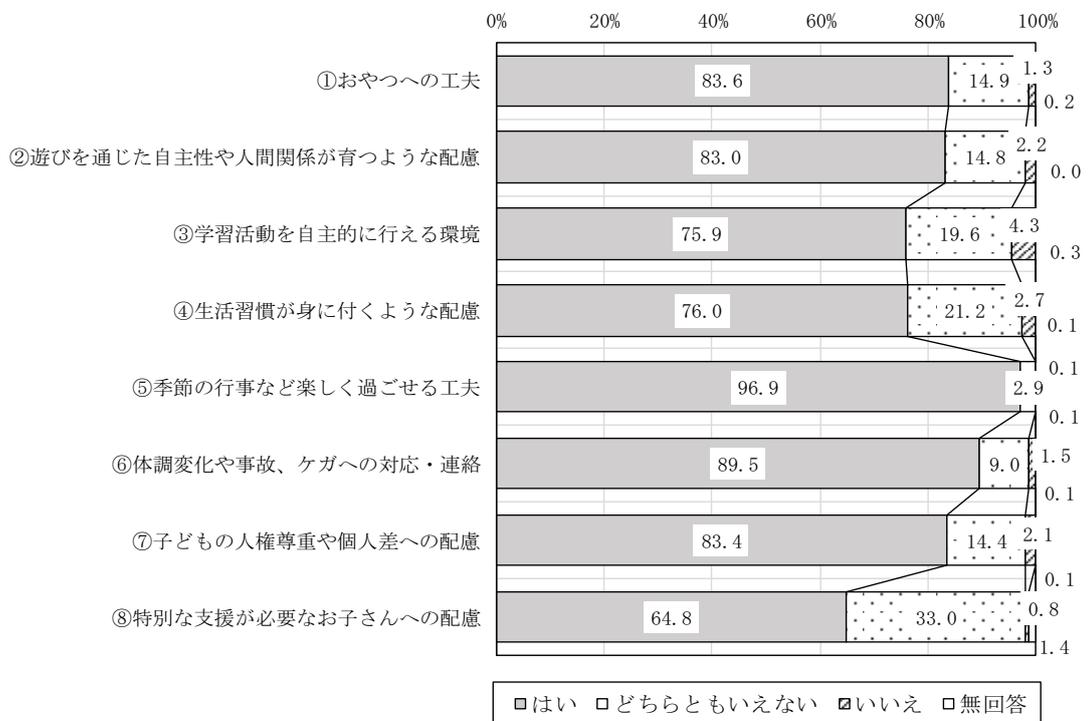
【◆保護者◆】 回答者数=1,160 件



(2) サービス提供の手順について【◆保護者◆】 回答者数=1,160件

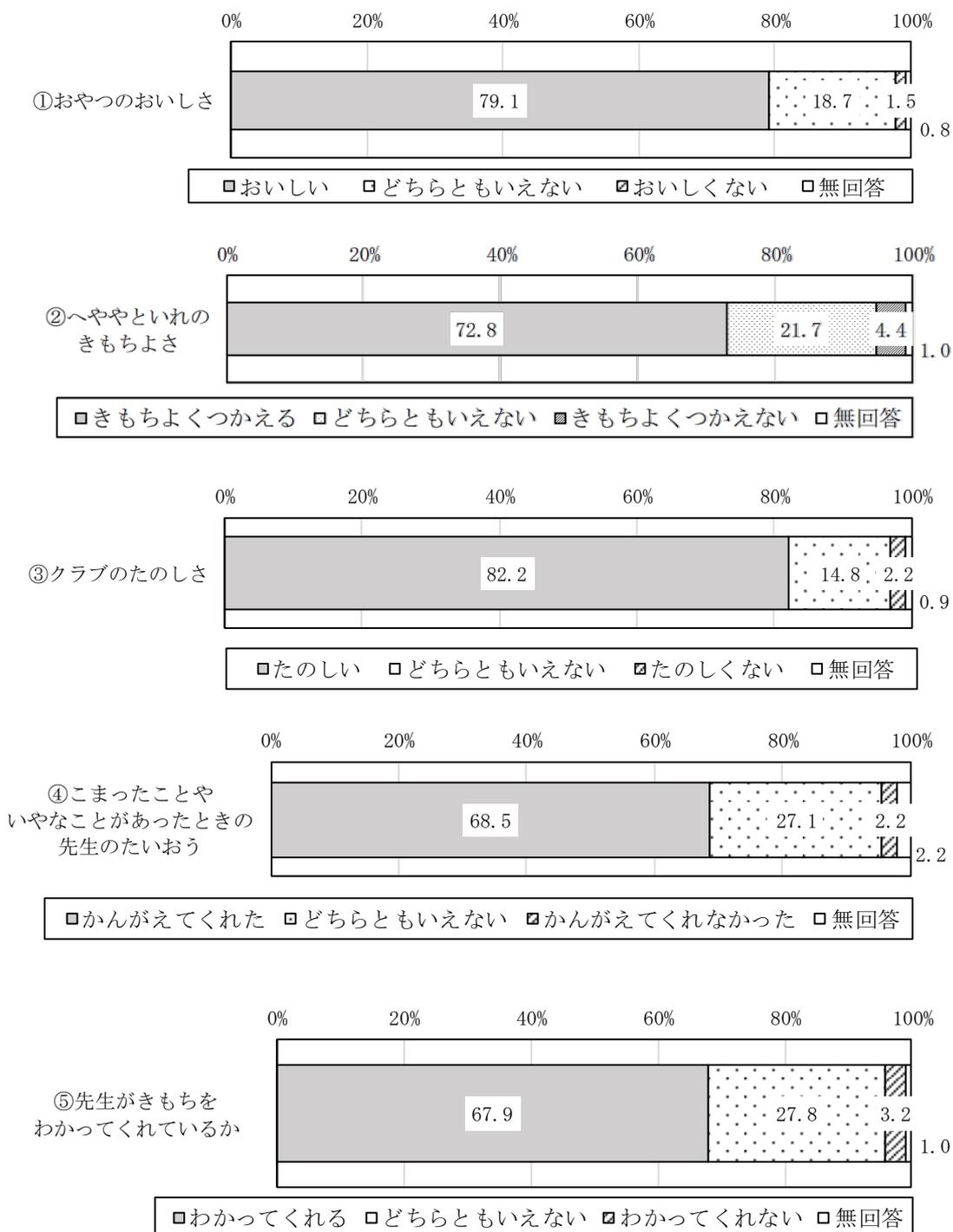


(3) 子どもの発達援助について【◆保護者◆】 回答者数=1,160件



(4) サービスの提供の手順および発達援助について

【◆児童◆】 回答者数=1,160件

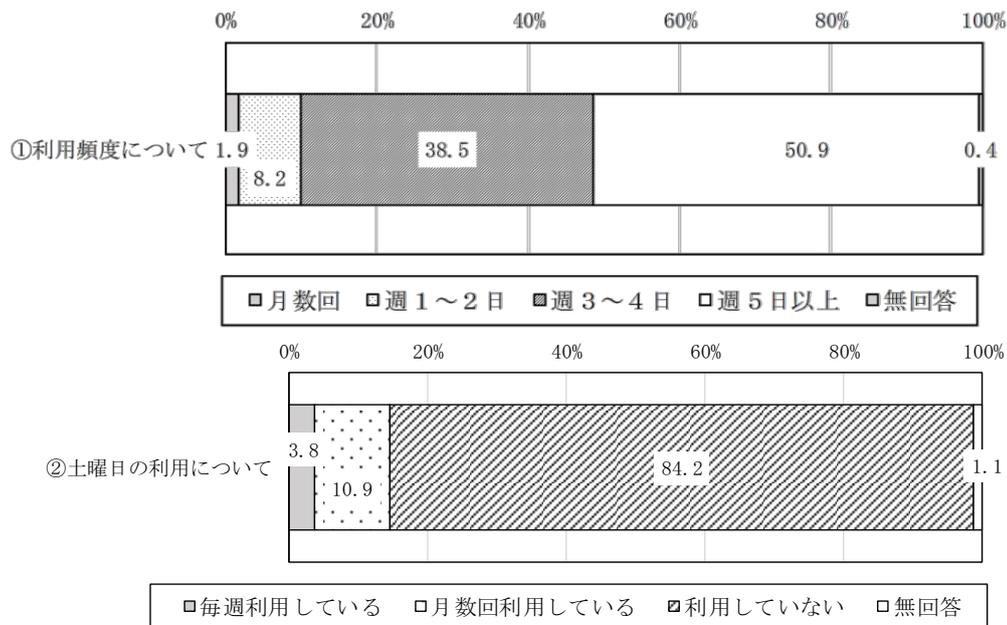


4. 児童育成クラブの利用状況について

利用者調査の結果から、児童育成クラブの利用状況についての単純集計結果は以下のとおりである。

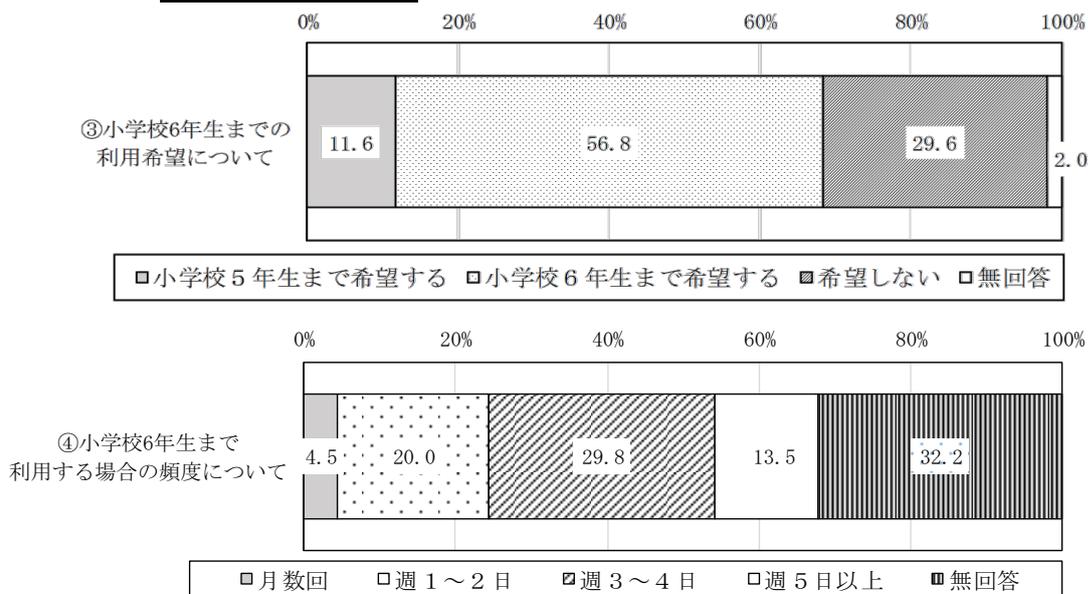
(1) 児童育成クラブの利用状況について

【◆保護者◆】 回答者数=1,160件



(2) 児童育成クラブの小学校5・6年生の受け入れについて

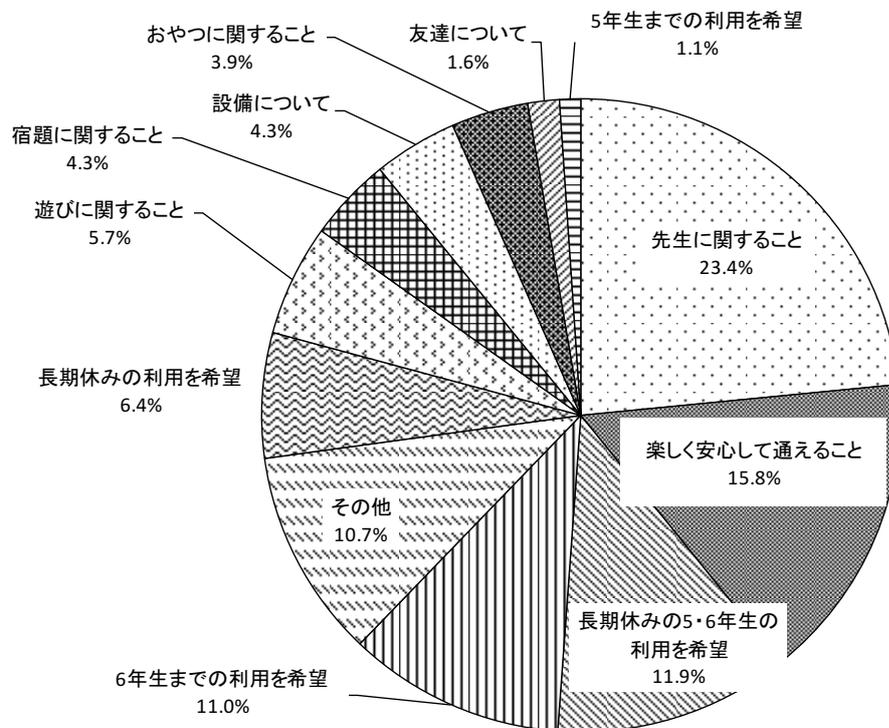
【◆保護者◆】 回答者数=1,160件



児童育成クラブについての自由意見

<設問> 「児童育成クラブ」についてご意見があればご自由にお書きください。

【◆保護者◆】 回答者数＝484 件（複数項目：回答数＝563 件）



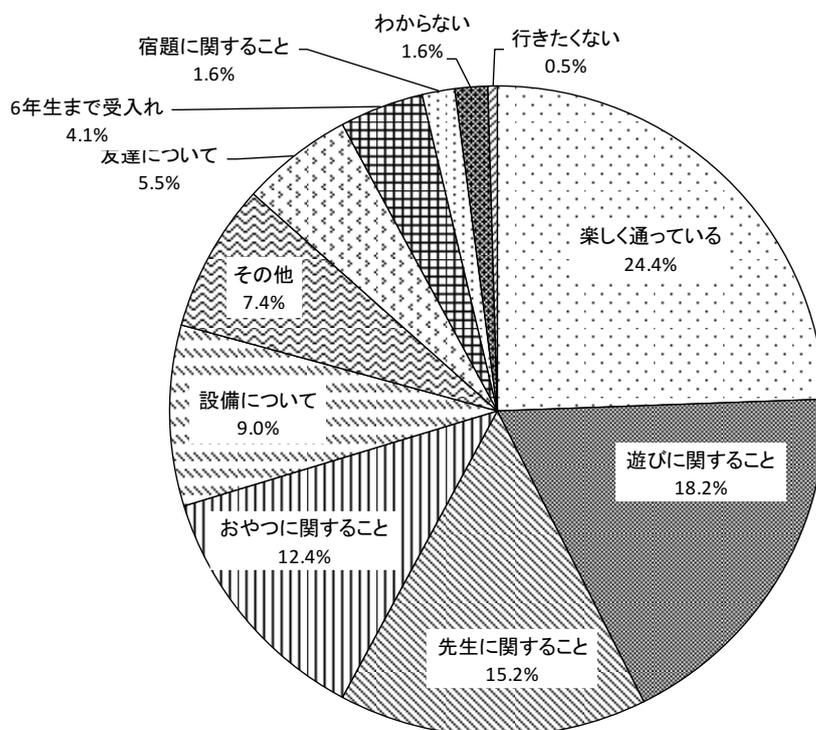
保護者からの自由回答では、「先生に関すること」が23.4%と最も多く、次いで「楽しく安心して通えること」が15.8%、「長期休みの5・6年生の利用を希望」が11.9%となっている。「その他」にあげられた意見については以下の通りとなっている。

* 「その他」についての主な意見

- ・ 休会時には、無料にしてほしい。
- ・ クラブによってイベントなどの差が激しいと思う。
- ・ 習い事がある時に途中で抜けても戻ってこれるようにしてほしい。
- ・ 土曜日に急遽用事がある時に預かれるようにしてほしい。
- ・ FACEBOOK や SNS に掲載時には個人情報の流出に留意してほしい。
- ・ 説明会などの案内を早くしてほしい。
- ・ 事業者の変更が不安である。また、支援員たちの処遇の改善をしてほしい。

<設問> じどういくせいクラブについてかんじていることを、なんでもかいてください。

【◆児童◆】 回答者数＝329 件（複数項目：回答数＝434 件）



児童からの自由回答では、「楽しく通っている」が24.4%と最も多く、次いで「遊びに関すること」が18.2%、「先生に関すること」が15.2%となっている。「その他」にあげられた意見については以下の通りとなっている。

* 「その他」についての主な意見

- ・うるさいので静かに過ごしたい。
- ・トイレが汚い時がある。
- ・らんぼうな人がいる。
- ・上級生にいじめられている。

5. クラブ別評価結果

評価結果

平成 30年度

浦安小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社セリオ						
クラブの所在地		浦安市猫実四丁目 6 番 29 号						
クラブの連絡先		電 話	047-351-1990	F A X	047-351-1990			
当該クラブの運営開始日		平成 29年 4月 1日						
開設場所		小学校敷地外						
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員	114人	利 用 者 数	79人			
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	8人	うち、男性	4人	うち、女性	4人	
		有資格者数		保育士	1人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	15人	うち、男性	3人	うち、女性	12人	
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>児童、保護者共に安心、安全に利用できるように安全管理に務めている。児童一人一人がそのまま受け止められ、楽しい、また来たいと感じてもらい、児童が主体的に通ってこれるクラブにするために職員が一丸となりサービスの向上に努めている。特に児童の自己肯定感をはぐくむ取り組み、お便り、保護者との関係を大切に、児童、保護者、職員が一体となつてのクラブ運営を目指している。そして、職員も自己実現ができて楽しむことができるような環境作りを心掛けている。</p>
-----------------------	--

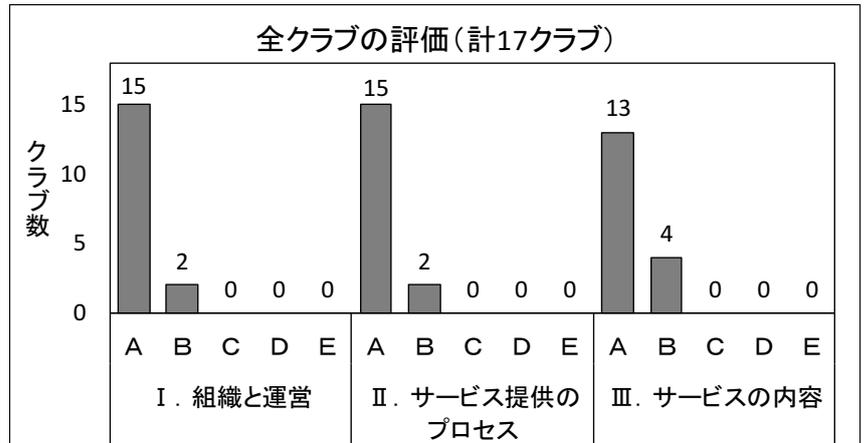
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>運営本部だけでなく、学校との定例会を開催する等、学校や市との報告・連絡・相談の体制を整え、日頃より連携を図っている。 雇用形態に関わらず全職員が施設運営を担っている意識を持ち、全員が担当や役割を持っている。また、施設の課題に対して全職員で検討を行い、施設の質の向上に努めている。</p>	<p>運営指針についての研修実施、及び日々の育成のなかで内容の落とし込みをして、指針の理解を深める必要がある。 職員間のコミュニケーションを深め、個々に面談を行い、個人の目標の聞き取りを行い、更なる自己実現、施設運営の主体的参加を進めていく。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービスプロセスの提供	1 利用希望者への対応	<p>保護者からの相談にいつでもこたえられるよう受け入れ体制を整えている。苦情については全職員に周知、情報共有を行い、迅速に対応をしている。 運営本部による現場配属前の研修、マニュアル配布、OJT、打ち合わせでの研修内容の共有などを通しての職員育成を行っている。</p>	<p>マニュアルの整備を進め、全職員の業務の標準化を更に進める。また、職員育成計画の作成、OJT、マニュアルの定期的な読み合わせ、職員会議でのディスカッション等を通して一人一人の職員の質の向上を行っていく。 定期的に支援計画の振り返りを行い、軌道修正をしながらその後の運営を行う。 地域とのつながりをさらに意識できるようにしていく。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>学童便り、クラス便りに力を入れ、クラブや児童の様子を全家庭に具体的に伝え、よりクラブの様子を知ってもらえるようにしている。 火おこしなど他施設にはないようなプログラムを実施したり、実行委員制による児童の手によりイベントの企画を行っている。 いいこと発表など児童の自己肯定感や他者への関心が育つような取り組みを行っている。</p>	<p>連絡帳を活用し、お迎えに来られない保護者へ児童の様子をいかに伝えるか検討していく。 職員の経験や特技を生かした様々なプログラムの実施、充実を行う。 配慮が必要な児童への支援方法について、一人一人が専門性を高めるとともに、職員会議にてよりよい支援方法を全員で検討していく。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

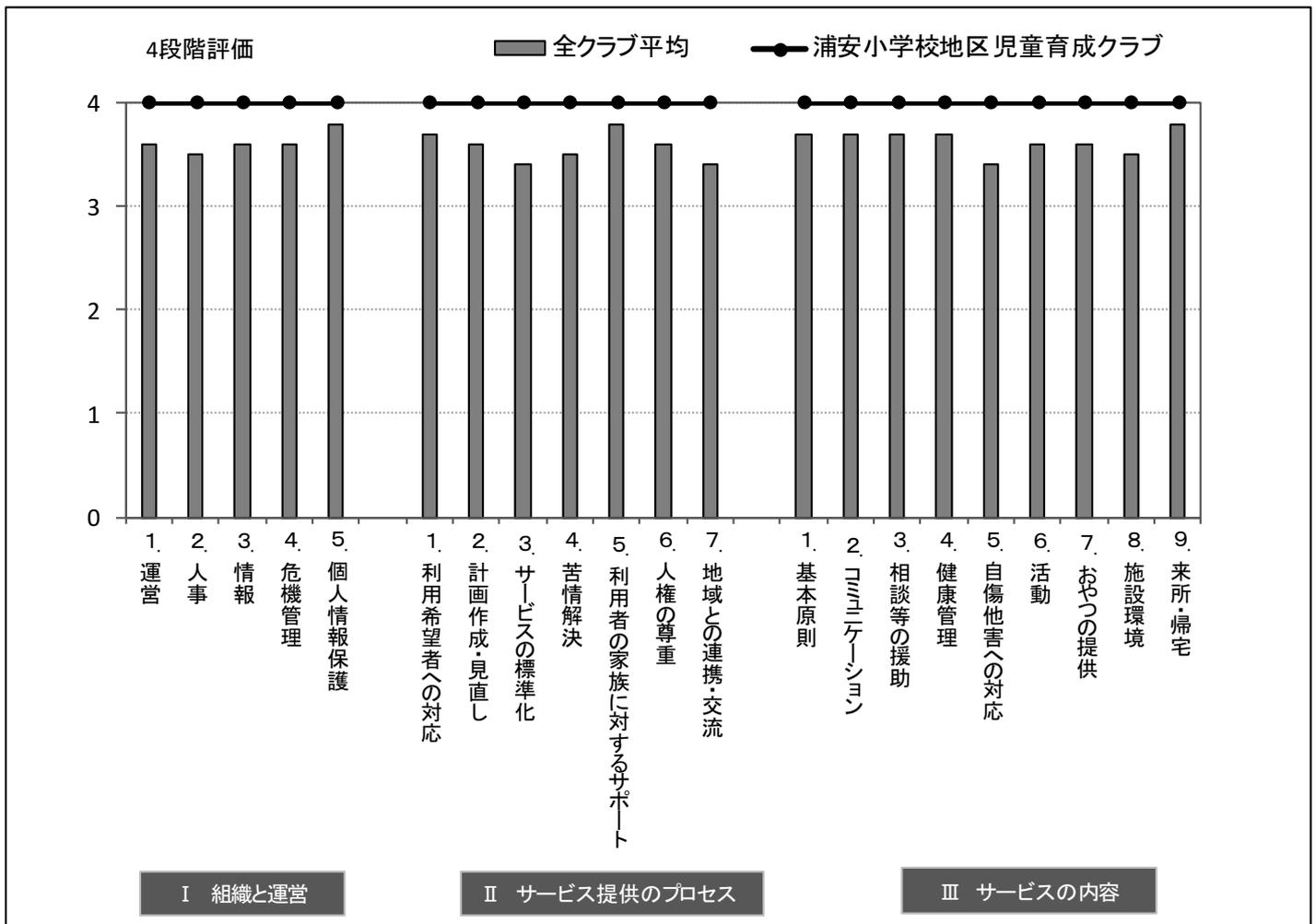
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
I.組織と運営	A
	(A)
II.サービス提供のプロセス	A
	(A)
III.サービスの内容	A
	(A)



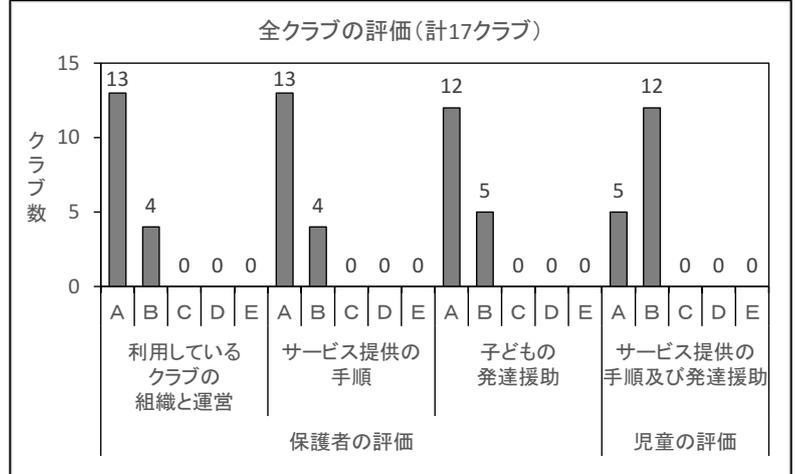
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	88.5%	1.9%	86.1%	0.6%	↑	87.2%	0.0%	1.3%
	② 支援員の専門的知識や技術	67.3%	5.8%	69.1%	2.4%		59.0%	2.6%	8.3%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	88.5%	0.0%	87.2%	1.7%	↑	74.4%	5.1%	14.1%
	④ クラブ内の清掃・整理	92.3%	0.0%	84.5%	0.7%	↑	53.8%	5.1%	38.5%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	71.2%	0.0%	84.7%	0.8%		71.8%	2.6%	▲ 0.6%
	⑥ 学校との連携や情報交換	73.1%	5.8%	75.7%	3.6%		64.1%	2.6%	9.0%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	90.4%	1.9%	89.6%	0.4%	↑	84.6%	0.0%	5.8%
	② 支援員同士の情報共有	67.3%	3.8%	73.4%	2.1%		61.5%	20.5%	5.8%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	73.1%	5.8%	75.8%	4.6%		71.8%	12.8%	1.3%
	④ 支援員への相談のしやすさ	80.8%	3.8%	85.6%	2.3%		71.8%	2.6%	9.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	88.5%	0.0%	86.0%	1.4%		74.4%	2.6%	14.1%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	84.6%	0.0%	83.6%	1.3%	↑	69.2%	5.1%	15.4%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	88.5%	0.0%	83.0%	2.2%	↑	87.2%	2.6%	1.3%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	75.0%	3.8%	75.9%	4.3%		61.5%	5.1%	13.5%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	75.0%	1.9%	76.0%	2.7%		64.1%	0.0%	10.9%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	96.2%	0.0%	96.9%	0.1%		97.4%	0.0%	▲ 1.2%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	86.5%	1.9%	89.5%	1.5%		82.1%	0.0%	4.4%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	76.9%	1.9%	83.4%	2.1%		82.1%	0.0%	▲ 5.2%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	63.5%	0.0%	64.8%	0.8%		66.7%	2.6%	▲ 3.2%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順及び発達援助	① おやつのおいしさ	73.1%	5.8%	79.1%	1.5%	↑	61.5%	10.3%	11.6%
	② へややといれのきもちよさ	78.8%	9.6%	72.8%	4.4%	↑	43.6%	15.4%	35.2%
	③ クラブのたのしさ	78.8%	3.8%	82.2%	2.2%		76.9%	2.6%	1.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	84.6%	5.8%	68.5%	2.2%	↑	71.8%	2.6%	12.8%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	76.9%	5.8%	67.9%	3.2%	↑	69.2%	5.1%	7.7%

評価結果

平成 30年度

南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	株式会社日本デイクアセンター							
クラブの所在地	浦安市堀江五丁目 4 番 1 号							
クラブの連絡先	電 話	047-352-1697	F A X	047-352-1697				
当該クラブの運営開始日	平成 22年 4月 1日							
開設場所	小学校敷地内／その他（分室） *11 月中旬より小学校敷地内のみ							
定員／現在の利用者数 （平成 30年 12月末現在）	定 員	240 人		利 用 者 数	230 人			
職員数 （平成 30年 12月末現在）	常勤	職員数	10人	うち、男性	4人	うち、女性	6人	
		有資格者数		保育士	2人	幼稚園教諭	1人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	14人	うち、男性	2人	うち、女性	12人	
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園教諭	1人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	子どもたちが毎日笑顔で楽しく、安心安全に過ごせるような学童になるように努めています。また、保護者の方々が安心してお仕事ができるように、一緒に子育てをしたいと思えます。
-----------------------	---

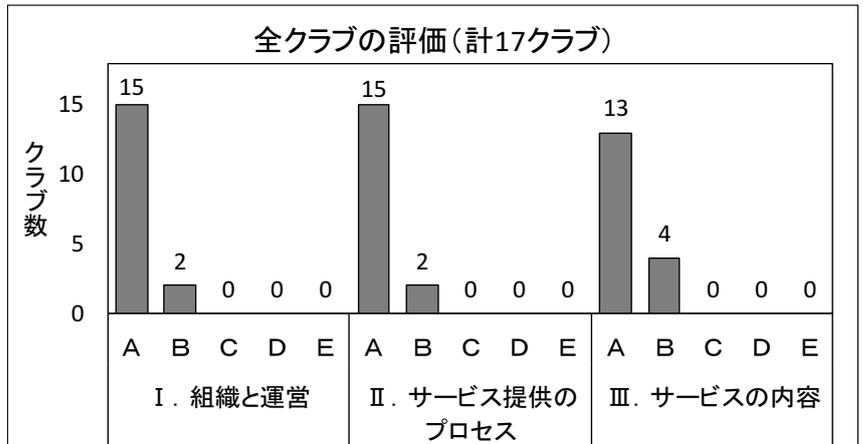
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	月 1 回全体ミーティングを行っている。	新施設での基盤を作っていきます。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	保護者との交流を深め保護者に寄り添える保育を行なうよう努めている。	地域交流や他学童との交流を深めたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	今年度から思い出遠足に行きました。保護者の方からも子どもたちからも満足な声が上がりました。新施設となり、6 部屋を有効活用しています。	もっと体を動かせる場、行事を増やしてあげたい。子どもたちに寄り添う場を提供してあげたい。支援員のスキル向上できるように努めます。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

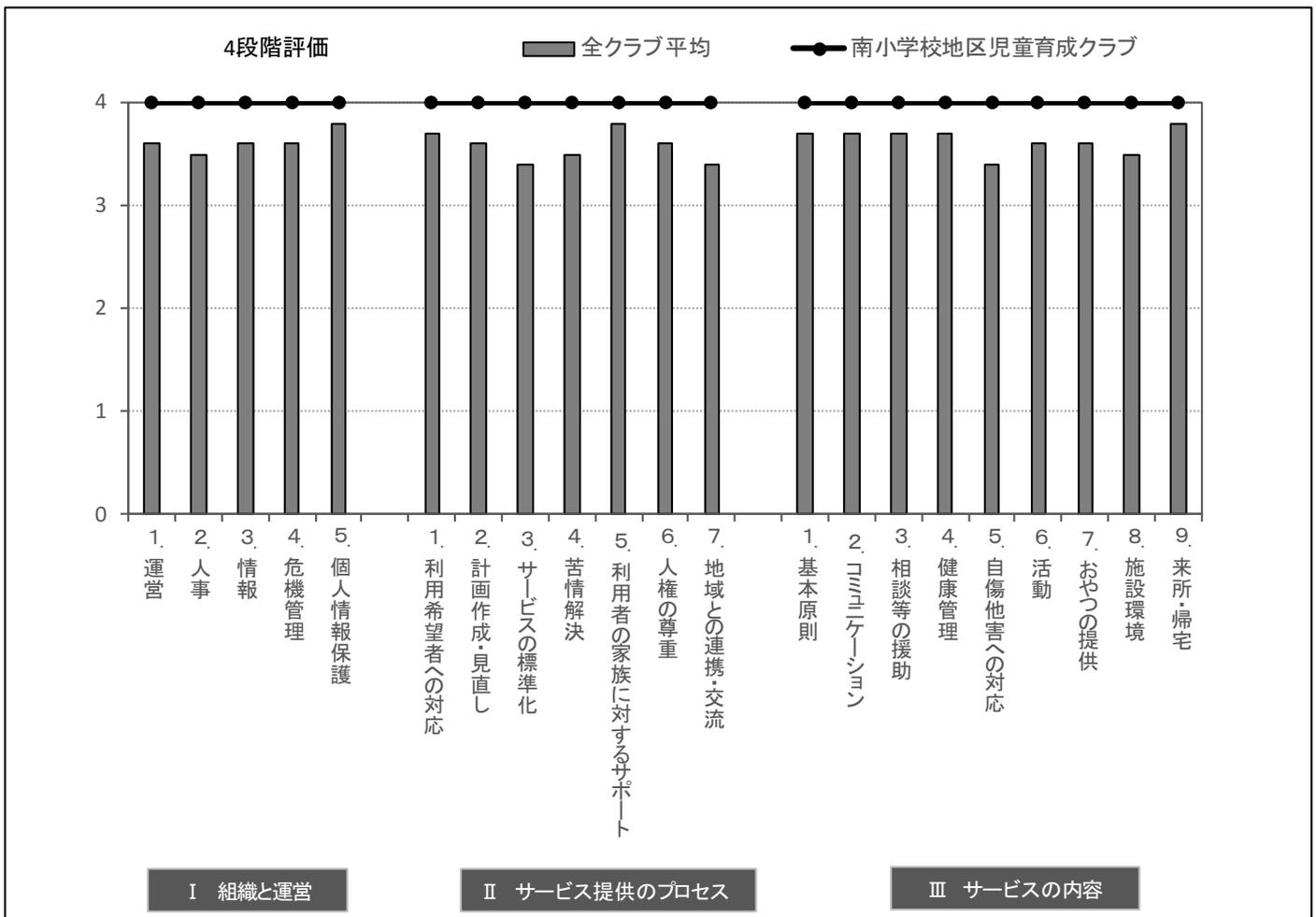
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A＝大変優れている、B＝優れている、C＝普通、D＝やや不十分である、E＝極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
Ⅰ.組織と運営	A
	(A)
Ⅱ.サービス提供の プロセス	A
	(A)
Ⅲ.サービスの内容	A
	(A)



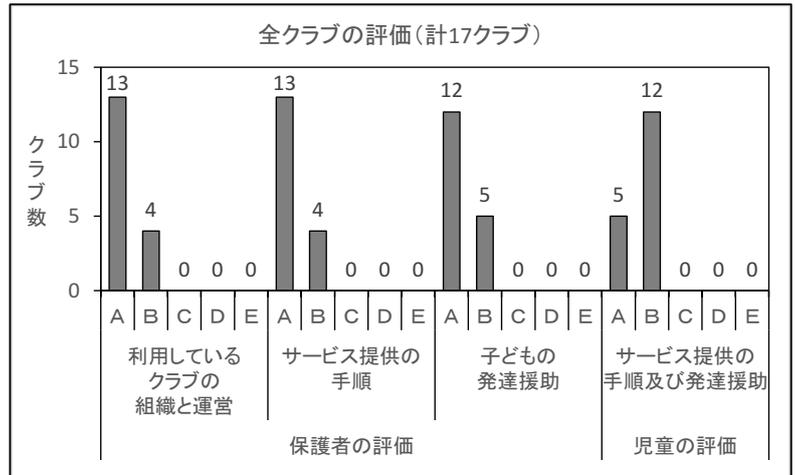
【中項目評価】・評価：A＝大変優れている、B＝優れている、C＝普通、D＝やや不十分である、E＝極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	73.4%	1.8%	86.1%	0.6%		76.8%	2.1%	▲ 3.4%
	② 支援員の専門的知識や技術	53.2%	4.6%	69.1%	2.4%		43.2%	5.3%	10.0%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	78.9%	5.5%	87.2%	1.7%		68.4%	6.3%	10.5%
	④ クラブ内の清掃・整理	82.6%	0.9%	84.5%	0.7%		64.2%	2.1%	18.4%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	79.8%	2.8%	84.7%	0.8%		75.8%	2.1%	4.0%
	⑥ 学校との連携や情報交換	65.1%	6.4%	75.7%	3.6%		60.0%	9.5%	5.1%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	78.9%	0.0%	89.6%	0.4%		83.2%	3.2%	▲ 4.3%
	② 支援員同士の情報共有	65.1%	1.8%	73.4%	2.1%		51.6%	15.8%	13.5%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	61.5%	12.8%	75.8%	4.6%		50.5%	15.8%	11.0%
	④ 支援員への相談のしやすさ	82.6%	1.8%	85.6%	2.3%		77.9%	8.4%	4.7%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	77.1%	1.8%	86.0%	1.4%		72.6%	5.3%	4.5%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	72.5%	2.8%	83.6%	1.3%		65.3%	0.0%	7.2%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	70.6%	4.6%	83.0%	2.2%		60.0%	3.2%	10.6%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	77.1%	5.5%	75.9%	4.3%	↑	60.0%	12.6%	17.1%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	65.1%	8.3%	76.0%	2.7%		55.8%	6.3%	9.3%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	90.8%	0.9%	96.9%	0.1%		91.6%	0.0%	▲ 0.8%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	78.0%	1.8%	89.5%	1.5%		76.8%	5.3%	1.2%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	79.8%	2.8%	83.4%	2.1%		68.4%	1.1%	11.4%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	57.8%	3.7%	64.8%	0.8%		38.9%	1.1%	18.9%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
手助けに及びないサービス提供の	① おやつのおいしさ	74.3%	0.0%	79.1%	1.5%		84.2%	0.0%	▲ 9.9%
	② へややといれのきもちよさ	81.7%	0.9%	72.8%	4.4%	↑	75.8%	4.2%	5.9%
	③ クラブのたのしさ	78.9%	0.9%	82.2%	2.2%		81.1%	4.2%	▲ 2.2%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	66.1%	0.0%	68.5%	2.2%		63.2%	3.2%	2.9%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	61.5%	0.9%	67.9%	3.2%		55.8%	2.1%	5.7%

評価結果

平成 30年度

北部小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		特定非営利活動法人 ワーカーズコープ							
クラブの所在地		浦安市北栄三丁目 20番 3号							
クラブの連絡先		電 話	047-351-1782	F A X	047-351-1782				
当該クラブの運営開始日		平成 22年 4月 1日							
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地外							
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員		200人		利 用 者 数		191人	
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	10人	うち、男性		3人	うち、女性		7人
		有資格者数		保育士	1人	幼稚園 教諭	1人	幼稚園以 外の教諭	3人
	非常勤	職員数	13人	うち、男性		4人	うち、女性		9人
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園 教諭	2人	幼稚園以 外の教諭	2人

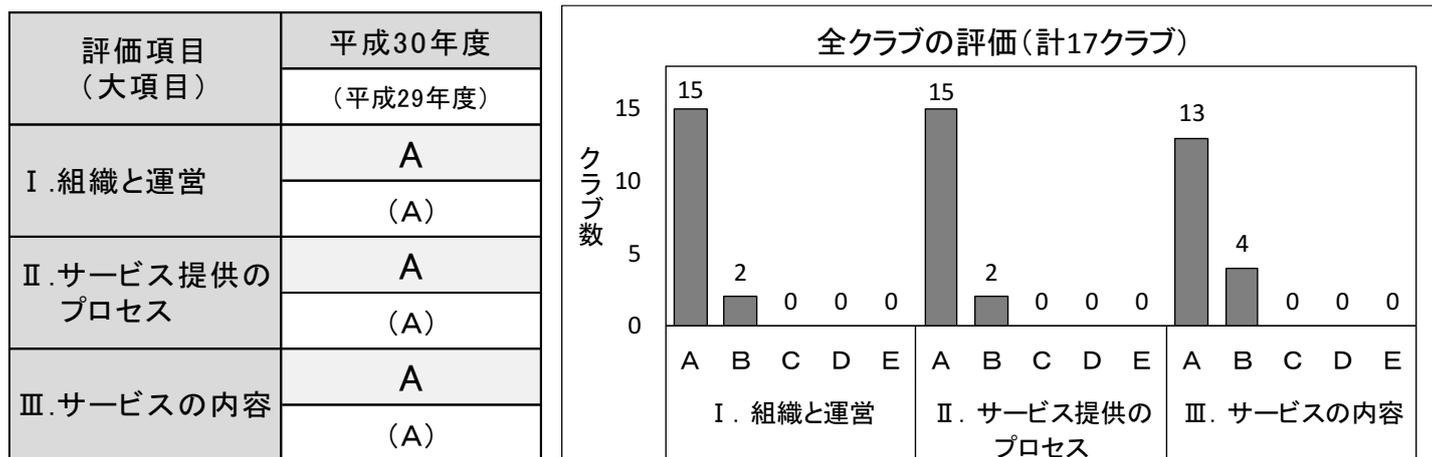
運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>子育てをサービス提供と考えますと、学童の運営指針にある「保護者の相談相手とか協同で子育てをする」関係性がなくなってしまうと考えています。いつも保護者と一緒に考え、悩みながら、子どもたちが自ら育っていく力を信じ、支えていく運営をしていきたいと考えています。</p>
-----------------------	--

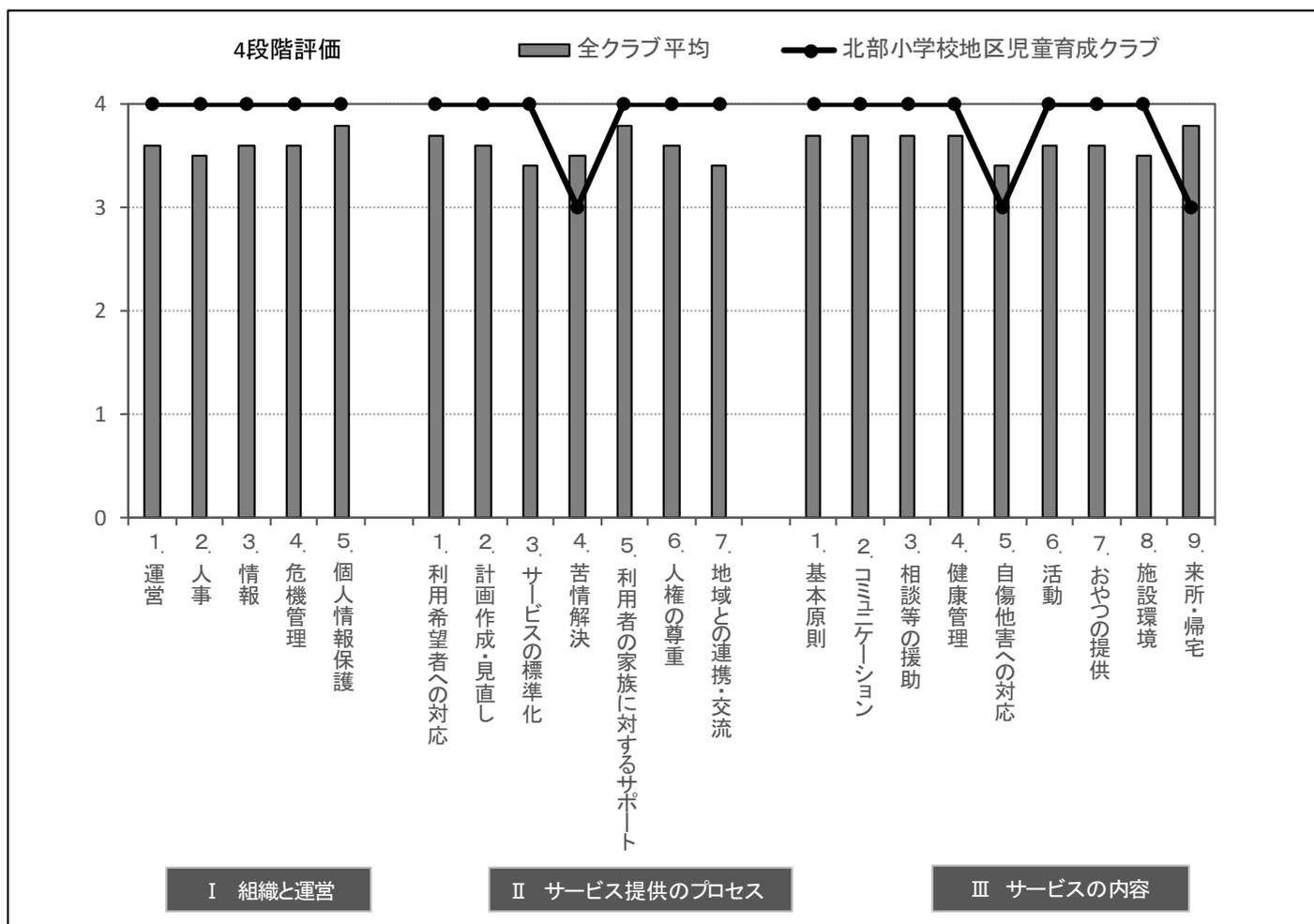
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>学童の運営を通して、保護者や地域住民とのつながりを作り、地域に開かれた学童クラブであり、地域で子どもたちを見守り、育てる環境を作っていくことを目標に学童クラブの運営を行っています。</p>	<p>保護者がお迎えの際に、クラブにちょっと立ち寄って、子育てや教育の悩みや相談を保護者同士で行ったり、地域の人たちと保護者や子どもとのつながりを作るような環境作りを心掛けていきたいと考えています。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>行事やイベントなどを計画する際には、子どもや保護者の意見を十分に聞き上げながら、計画を立てていくようにしています。また、その実行結果アンケートを職員からも取り、次回の運営に生かしていく仕組みができていますので、常に良いものを目指していきます。</p>	<p>子どもの自主性や主体性をより生かすために、子ども会議の充実、保護者役員会と行事等について、より具体的に進めていく打合せや相談をもっと頻繁に行っていきたいと考えています。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子ども本来の力が発揮できるように、子どもを中心にそえて、できる限り子どもの声を聴く姿勢を支援員は心掛けること、そして、子どもや保護者の願いや希望を実現できるようにクラブ運営をしていくことを目指しています。</p>	<p>学童クラブの運営を、単に事業者から利用者へ一方的なサービスの提供といった捉え方ではなく、子育てを保護者・地域とともに、協力協同して行っていくことを、事業者と一緒に進んでいきたいと考えています。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



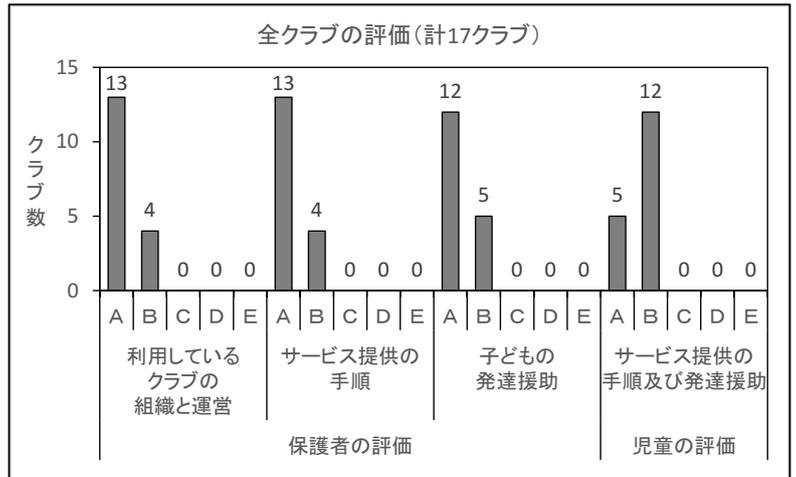
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	86.8%	0.0%	86.1%	0.6%	↑	82.8%	0.0%	4.0%
	② 支援員の専門的知識や技術	63.2%	3.8%	69.1%	2.4%		60.2%	5.4%	3.0%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	79.2%	3.0%	87.2%	1.7%		75.3%	4.3%	3.9%
	④ クラブ内の清掃・整理	78.3%	0.9%	84.5%	0.7%		79.6%	0.0%	▲ 1.3%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	83.0%	1.9%	84.7%	0.8%		81.7%	2.2%	1.3%
	⑥ 学校との連携や情報交換	75.5%	6.6%	75.7%	3.6%		77.4%	5.4%	▲ 1.9%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	91.5%	0.0%	89.6%	0.4%	↑	82.8%	0.0%	8.7%
	② 支援員同士の情報共有	60.4%	2.8%	73.4%	2.1%		69.9%	5.4%	▲ 9.5%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	85.8%	3.8%	75.8%	4.6%	↑	71.0%	5.4%	14.8%
	④ 支援員への相談のしやすさ	82.1%	1.9%	85.6%	2.3%		83.9%	3.2%	▲ 1.8%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	85.8%	1.9%	86.0%	1.4%		78.5%	3.2%	7.3%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	69.8%	1.9%	83.6%	1.3%		65.6%	3.2%	4.2%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	82.1%	2.8%	83.0%	2.2%		65.6%	4.3%	16.5%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	75.5%	5.7%	75.9%	4.3%		67.7%	9.7%	7.8%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	70.8%	2.8%	76.0%	2.7%		61.3%	5.4%	9.5%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	99.1%	0.0%	96.9%	0.1%	↑	96.8%	0.0%	2.3%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	86.8%	2.8%	89.5%	1.5%		82.8%	2.2%	4.0%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	78.3%	1.9%	83.4%	2.1%		76.3%	2.2%	2.0%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	66.0%	0.0%	64.8%	0.8%	↑	63.4%	2.2%	2.6%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
手助け順に及びサービス提供の	① おやつのおいしさ	63.2%	4.7%	79.1%	1.5%		55.9%	6.5%	7.3%
	② へややといれのきもちよさ	64.2%	10.4%	72.8%	4.4%		66.7%	5.4%	▲ 2.5%
	③ クラブのたのしさ	73.6%	3.8%	82.2%	2.2%		73.1%	5.4%	0.5%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	72.6%	3.8%	68.5%	2.2%	↑	67.7%	5.4%	4.9%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	68.9%	5.7%	67.9%	3.2%	↑	60.2%	7.5%	8.7%

評価結果

平成 30年度

見明川小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		社会福祉法人わかみや福祉会							
クラブの所在地		浦安市弁天三丁目 1 番 2 号							
クラブの連絡先		電 話	047-351-1633	F A X	047-351-1633				
当該クラブの運営開始日		平成 24年 4月 1日							
開設場所		小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員		120人		利 用 者 数		129 人	
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	7人	うち、男性		5 人	うち、女性		2 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭	0 人
	非常勤	職員数	4人	うち、男性		0 人	うち、女性		4 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭	0 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	分かりやすい事。はっきりとしている事。どの職員に聞いても同じ答えが返ってくる事。
-----------------------	--

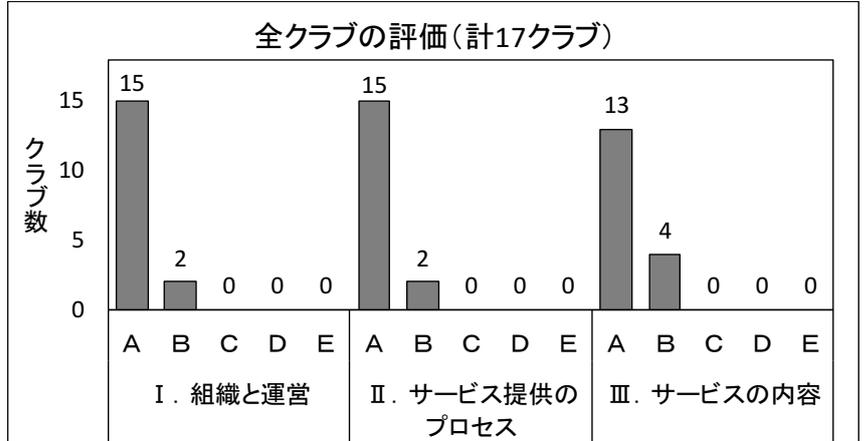
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	放課後異年齢児交流促進事業（本地区ではあいあいくらぶ）とも毎日のミーティングを行い、その日の活動内容の把握や情報の共有を行っている。 また同法人の児童育成クラブとも連携し交流会なども行っている。	正規職員のみならず、非常勤職員の意見も吸い上げて、意見、改善策となる計画に取り組む。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービスプロセスの	1 利用希望者への対応	大きな事業計画は年度前に作成しているが、細かな箇所は利用者の意見を反映させながら作っていくものもある。	利用者、保護者ともに意見が出しやすい、また定期的な保護者会などを通じ、話し合える場の提供を目指す。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	色々な子どもがいる事を念頭に置き、自身の好きな遊びから選べるような選択肢を複数用意している。 また食を通じて日本の伝統を伝える『食育』として実施している。	職員一人ひとりが支援理論・日本の行事などに対する知識を深める。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

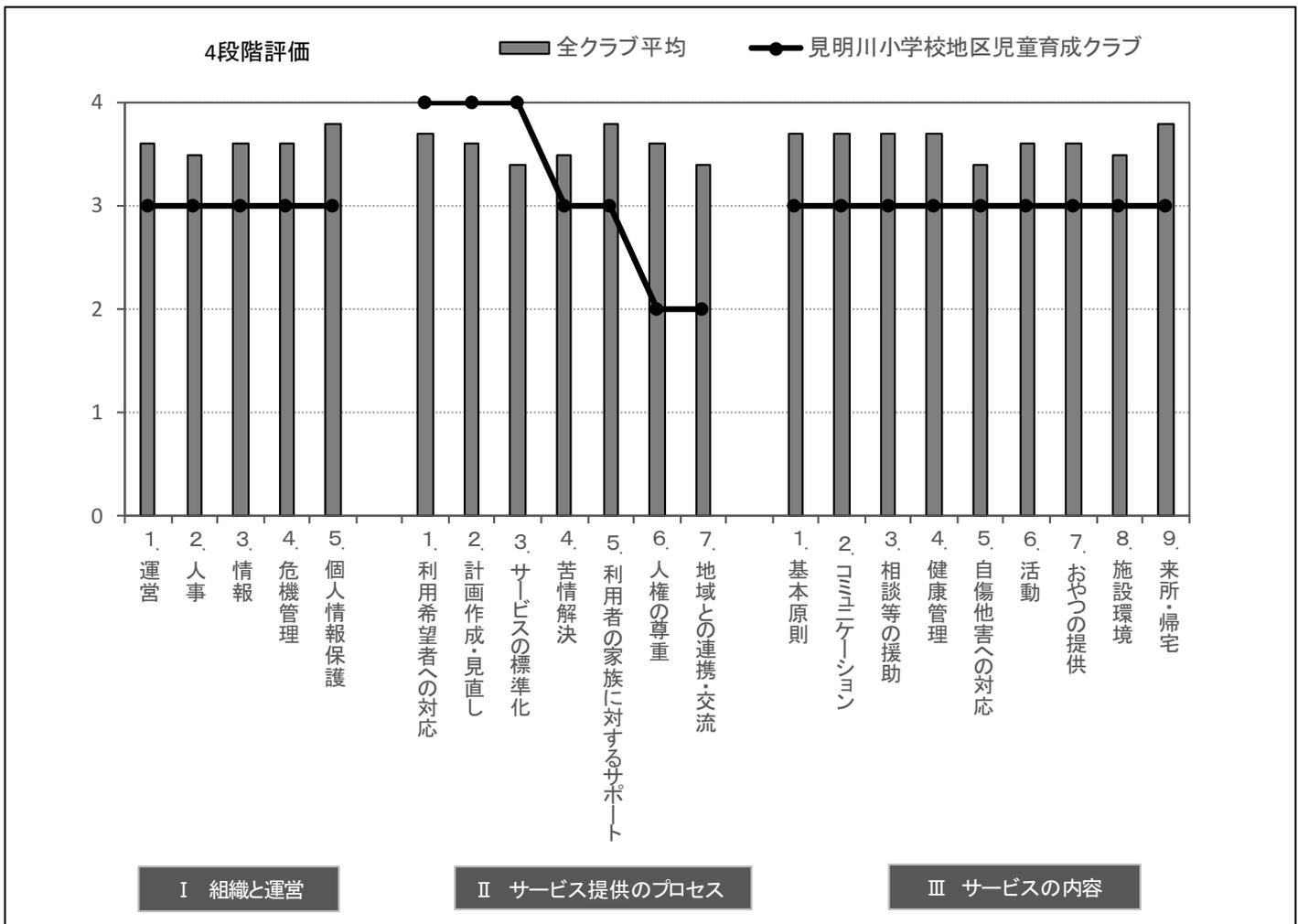
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
Ⅰ.組織と運営	B
	(B)
Ⅱ.サービス提供の プロセス	B
	(A)
Ⅲ.サービスの内容	B
	(A)



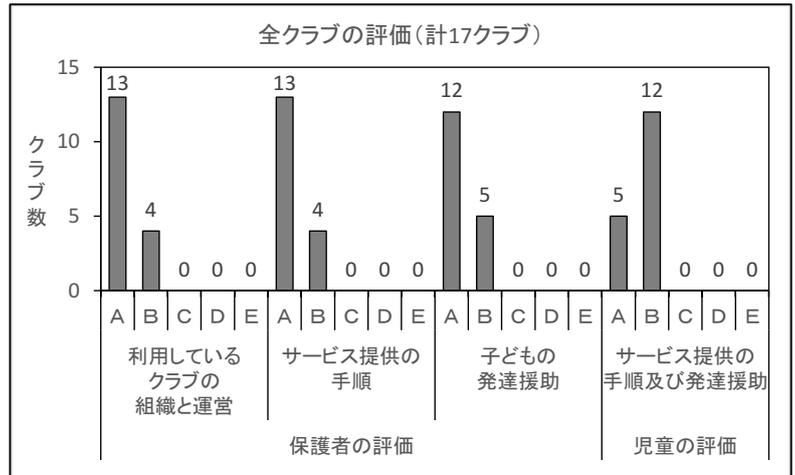
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (A)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
組織として運営しているクラブについて	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	75.8%	0.0%	86.1%	0.6%		90.3%	0.0%	▲ 14.5%
	② 支援員の専門的知識や技術	66.7%	1.5%	69.1%	2.4%		74.2%	0.0%	▲ 7.5%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	78.8%	3.0%	87.2%	1.7%		93.5%	0.0%	▲ 14.7%
	④ クラブ内の清掃・整理	75.8%	0.0%	84.5%	0.7%		83.9%	0.0%	▲ 8.1%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	83.3%	1.5%	84.7%	0.8%		83.9%	1.6%	▲ 0.6%
	⑥ 学校との連携や情報交換	71.2%	4.5%	75.7%	3.6%		85.5%	0.0%	▲ 14.3%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	83.3%	0.0%	89.6%	0.4%		91.9%	0.0%	▲ 8.6%
	② 支援員同士の情報共有	66.7%	1.5%	73.4%	2.1%		80.6%	3.2%	▲ 13.9%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	68.2%	4.5%	75.8%	4.6%		71.0%	3.2%	▲ 2.8%
	④ 支援員への相談のしやすさ	77.3%	3.0%	85.6%	2.3%		77.4%	1.6%	▲ 0.1%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	78.8%	0.0%	86.0%	1.4%		83.9%	0.0%	▲ 5.1%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	84.8%	1.5%	83.6%	1.3%	↑	96.8%	0.0%	▲ 12.0%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	83.3%	1.5%	83.0%	2.2%	↑	79.0%	0.0%	4.3%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	62.1%	9.1%	75.9%	4.3%		59.7%	4.8%	2.4%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	66.7%	3.0%	76.0%	2.7%		75.8%	0.0%	▲ 9.1%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	89.4%	0.0%	96.9%	0.1%		93.5%	0.0%	▲ 4.1%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	74.2%	1.5%	89.5%	1.5%		83.9%	0.0%	▲ 9.7%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	84.8%	0.0%	83.4%	2.1%	↑	85.5%	0.0%	▲ 0.7%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	66.7%	0.0%	64.8%	0.8%	↑	58.1%	0.0%	8.6%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順に及びサービス提供の	① おやつのおいしさ	80.3%	3.0%	79.1%	1.5%	↑	87.1%	1.6%	▲ 6.8%
	② へややといれのきもちよさ	60.6%	13.6%	72.8%	4.4%		72.6%	1.6%	▲ 12.0%
	③ クラブのたのしさ	87.9%	1.5%	82.2%	2.2%	↑	95.2%	1.6%	▲ 7.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	66.7%	4.5%	68.5%	2.2%		66.1%	1.6%	0.6%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	66.7%	1.5%	67.9%	3.2%		58.1%	3.2%	8.6%

評価結果

平成 30年度

富岡小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	社会福祉法人 浦安市社会福祉協議会							
クラブの所在地	浦安市富岡一丁目 1 番 1 号							
クラブの連絡先	電 話	047-352-7400	F A X	047-352-7400				
当該クラブの運営開始日	平成 28年 4月 1日							
開設場所	小学校校舎内							
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)	定 員	80人		利用 者 数	84人			
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	4人	うち、男性	1人	うち、女性	3人	
		有資格者数		保育士	1人	幼稚園教諭	1人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	6人	うち、男性	0人	うち、女性	6人	
		有資格者数		保育士	1人	幼稚園教諭	1人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	児童育成クラブは「一人ひとりが主役となれる場」「異年齢児による遊びを通じ、社会性・自主性を育てる場」「安心して楽しく育てる場」をモットーに子どもとの信頼関係を築けるよう支援に努めている。
-----------------------	---

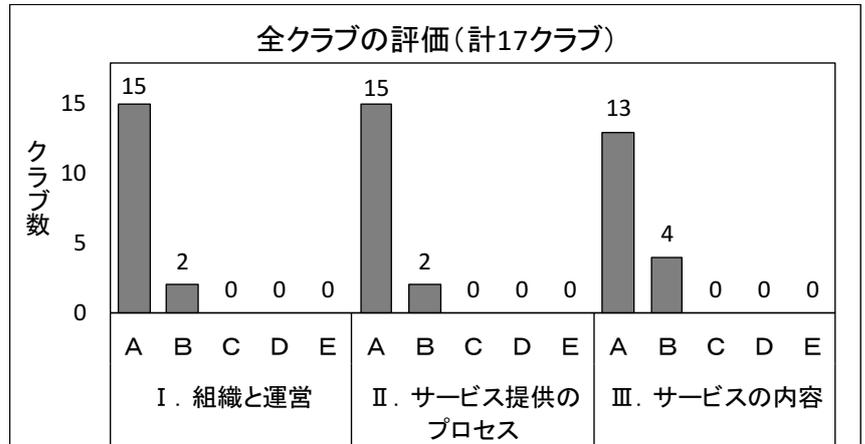
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	東野育成クラブと連携して合同イベントを行ったり、支援員交流ができることを生かしている。互いのいいところは共有し、よりよい育成ができるように実践して支援員の資質の向上に努めている。 ミーティングや支援員会議で、今まで起きた事例を検討し、サービスの向上に努めている。	現状に満足せずに、育成クラブに求められていることを、保護者や子どもの意見を聞きながら、運営指針と照らし合わせ、これからの育成クラブのあり方について毎年見直ししていく必要がある。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	各種マニュアルは作っているが、個々の支援として、家庭や本人の状況を理解し、臨機応変な対応もできるよう、ミーティングなどを多く持っている。 どうしたら皆が過ごしやすい場になるか、子どもたちの意見を取り入れながら、常に工夫をしている。 地域との結びつきが強いため、協力が得やすく、助けられることが多い。	保護者に理解してもらえるような取り組みや子どもたちの安全面を重視したサービスを考えているが、運営指針や認定資格研修で言われている、「子どもの主体性」とは何か、どのように子どもたちから引き出していかを考えて、行事や生活を考えていく必要がある。 地域の方々との結びつきをこれからも大切にしていき、子どもは地域の宝であるという認識をもって、サービスの提供をしていく。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	保護者にとっても、子どもたちにとっても安心して生活できる場になるように日々務めている。 家庭において親子で過ごす時間を大切にしてほしいという思いから、クラブに在る間に宿題等に取り組めるように学習の時間を設けている。 クラブでの様子をいいことだけではなく、気になることについても話すようにしている。保護者に伝える際には、必ず2人に対応するように心がけ、大げさになりすぎたり、否定的になりすぎたりしないように、配慮している。	イベントも大人側からの一方的な提供にならないように、子どもの提案や意見を聞きながら行っているが、子どもに「何もない時間」を保証することにより、子ども自身が自分たちで時間の使い方を考え、生み出していく、主体性を持ったたくましい子どもたちになってほしいと願っている。そのための育成支援を考えていきたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

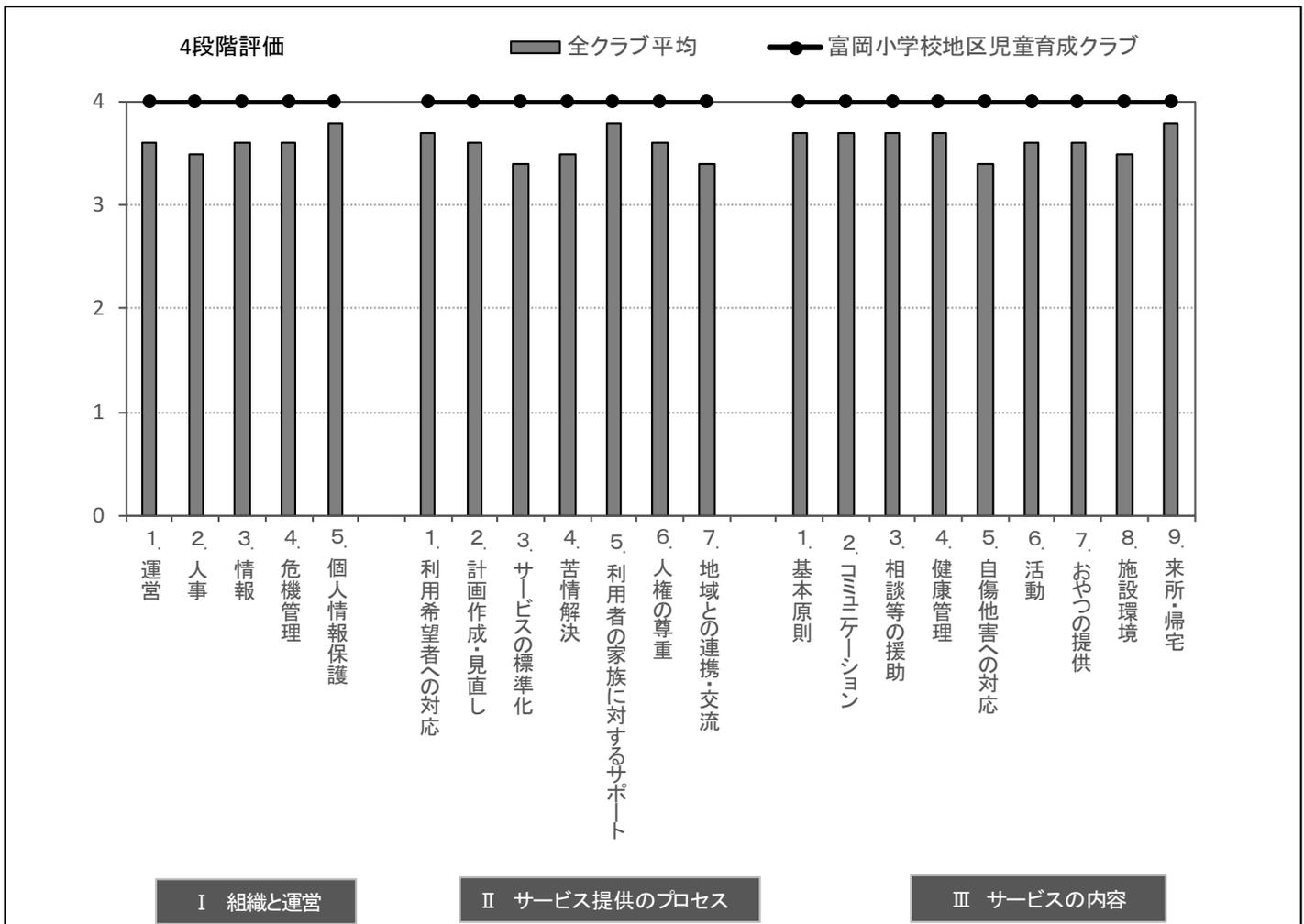
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
Ⅰ.組織と運営	A
	(A)
Ⅱ.サービス提供の プロセス	A
	(A)
Ⅲ.サービスの内容	A
	(A)



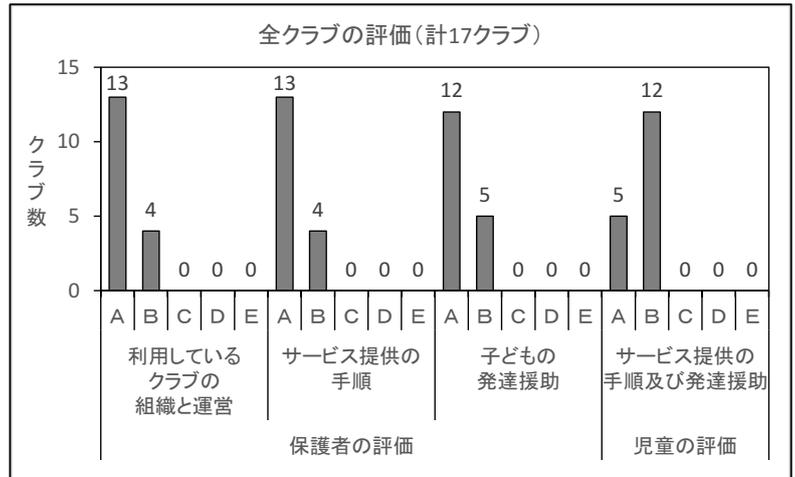
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (A)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	85.4%	0.0%	86.1%	0.6%		92.2%	0.0%	▲ 6.8%
	② 支援員の専門的知識や技術	68.8%	0.0%	69.1%	2.4%		75.0%	1.6%	▲ 6.3%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	83.3%	0.0%	87.2%	1.7%		93.8%	1.6%	▲ 10.5%
	④ クラブ内の清掃・整理	87.5%	0.0%	84.5%	0.7%	↑	95.3%	0.0%	▲ 7.8%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	83.3%	0.0%	84.7%	0.8%		90.6%	0.0%	▲ 7.3%
	⑥ 学校との連携や情報交換	81.3%	0.0%	75.7%	3.6%	↑	85.9%	1.6%	▲ 4.7%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	89.6%	0.0%	89.6%	0.4%		95.3%	0.0%	▲ 5.7%
	② 支援員同士の情報共有	77.1%	0.0%	73.4%	2.1%	↑	90.6%	3.1%	▲ 13.5%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	75.0%	0.0%	75.8%	4.6%		87.5%	3.1%	▲ 12.5%
	④ 支援員への相談のしやすさ	87.5%	0.0%	85.6%	2.3%	↑	90.6%	1.6%	▲ 3.1%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	87.5%	0.0%	86.0%	1.4%	↑	89.1%	1.6%	▲ 1.6%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	91.7%	0.0%	83.6%	1.3%	↑	89.1%	1.6%	2.6%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	87.5%	0.0%	83.0%	2.2%	↑	89.1%	0.0%	▲ 1.6%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	75.0%	2.1%	75.9%	4.3%		71.9%	4.7%	3.1%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	81.3%	0.0%	76.0%	2.7%	↑	81.3%	0.0%	▲ 0.0%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.9%	0.0%	96.9%	0.1%	↑	95.3%	0.0%	2.6%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	91.7%	0.0%	89.5%	1.5%	↑	90.6%	0.0%	1.1%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	85.4%	0.0%	83.4%	2.1%	↑	87.5%	3.1%	▲ 2.1%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	72.9%	0.0%	64.8%	0.8%	↑	67.2%	1.6%	5.7%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
手助けに及びないサービス提供の	① おやつのおいしさ	91.7%	0.0%	79.1%	1.5%	↑	90.6%	0.0%	1.1%
	② へややといれのきもちよさ	81.3%	0.0%	72.8%	4.4%	↑	76.6%	3.1%	4.7%
	③ クラブのたのしさ	89.6%	2.1%	82.2%	2.2%	↑	85.9%	1.6%	3.7%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	75.0%	2.1%	68.5%	2.2%	↑	73.4%	3.1%	1.6%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	70.8%	4.2%	67.9%	3.2%	↑	75.0%	1.6%	▲ 4.2%

評価結果

平成 30年度

美浜南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社セリオ							
クラブの所在地		浦安市美浜三丁目 15 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-350-6624	F A X	047-350-6624				
当該クラブの運営開始日		平成 28年 4月 1日							
開設場所		小学校校舎内							
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員		70人		利 用 者 数		61人	
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	2人	うち、男性		0人	うち、女性		2人
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭	1人
	非常勤	職員数	9人	うち、男性		3人	うち、女性		6人
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭	3人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>児童、保護者共に安心、安全に利用できるように安全管理に務めている。児童が楽しい、また来たいと思えるクラブにするために支援員が一丸となりサービスの向上に努めている。保護者との関係を大切にし、児童だけではなく支援員自身も楽しむことができる職場環境づくりを心掛けている。</p>
-----------------------	---

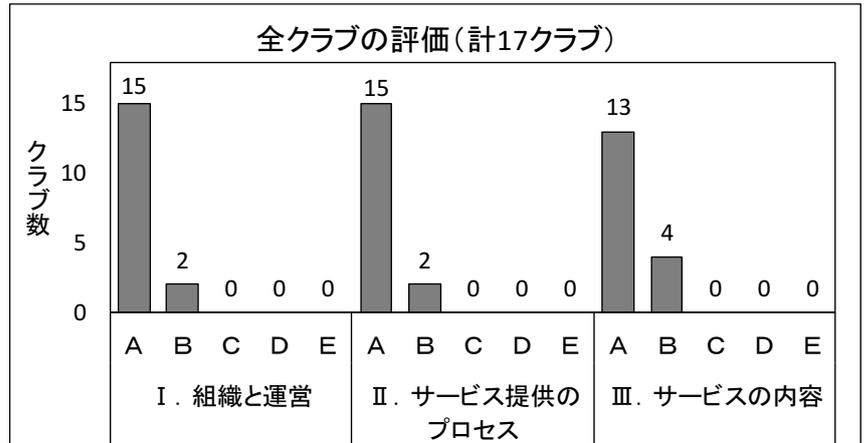
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>市や学校及び運営本部との報告・連絡・相談体制を整え、支援員間も同様に徹底している。事業者として本部との連携を密にし、施設間においても事故防止、質の向上へ定期的に情報連携を行っている。雇用形態に関わらず全職員が施設運営を担っている意識を持ち、全員が担当や役割を持ち、「全員運営」を心がけている。</p>	<p>学校との報告・連絡・相談体制をより一層強化する為に、定期的かつ積極的なコミュニケーションがとれるよう努めていく。 玄関に写真を掲示することで保護者との会話が増えてきた。大きいイベントの時だけでなく、子ども達のクラブでの姿をもっと伝えられるよう、更に工夫していきたい。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供の	1 利用希望者への対応	<p>保護者からの相談にいつでも応えられるよう受け入れ体制を整えている。苦情についてはすべて支援員全員に周知・情報共有し、可能な限り迅速に対応し信用回復に努めている。 入会希望者見学の際、保護者の希望を最優先として対応し、丁寧な説明を心がけている。 新規採用支援員に対しては、施設の概要や一日の流れ・業務内容・児童の様子等細かく説明し、慣れるまでの間は全員でサポートしている。</p>	<p>地域との関わりを広げられるよう、積極的に地域行事に参加したり、ボランティアを受け入れる等していきたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>おたよりを毎月発行し行事カレンダーや保護者へのお願事項等を記載。写真やコメントも掲載し、クラブでの児童の様子を知ってもらえるよう工夫している。各種行事も児童の要望を取り入れ、内容工夫に努めている。 アレルギーについては児童毎に対応表を作り、提供前のダブルチェックを徹底。提供時も必ず2人以上の支援員で確認を行い対応している。おやつメニューも工夫し、季節に応じたメニューやご当地おやつ等を取り入れている。</p>	<p>社会見学や演劇鑑賞等施設外での行事を増やし、集団での移動や縦割り班での行動を通して社会性・協調性を培う機会を設ける。 児童のニーズに応じて、好評のスポーツイベントやめんこ大会、工作等の内容を更に充実させ、人気があるものについては定期的実施していきたい。今後もアンケート等を通して児童の声を育成に更に活かしていく。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

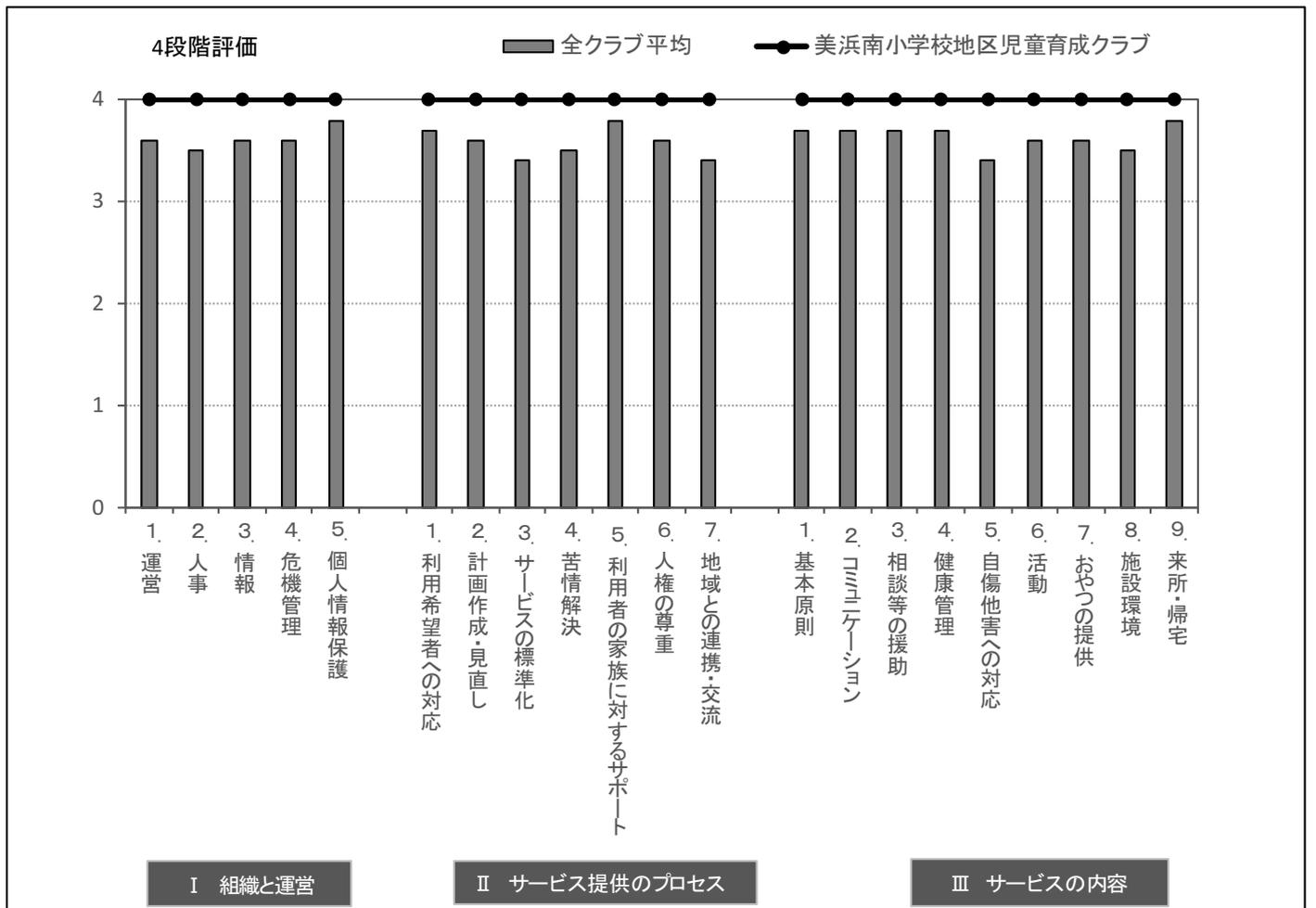
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
Ⅰ.組織と運営	A
	(A)
Ⅱ.サービス提供の プロセス	A
	(A)
Ⅲ.サービスの内容	A
	(A)



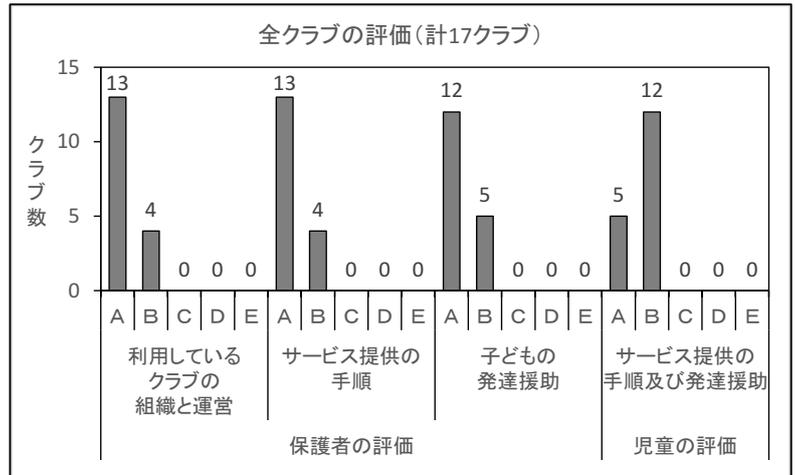
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	88.2%	2.9%	86.1%	0.6%	↑	76.5%	0.0%	11.7%
	② 支援員の専門的知識や技術	100.0%	5.9%	69.1%	2.4%	↑	61.8%	8.8%	38.2%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	88.2%	2.9%	87.2%	1.7%	↑	76.5%	2.9%	11.7%
	④ クラブ内の清掃・整理	85.3%	2.9%	84.5%	0.7%	↑	76.5%	5.9%	8.8%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	88.2%	88.2%	84.7%	0.8%	↑	79.4%	0.0%	8.8%
	⑥ 学校との連携や情報交換	64.7%	8.8%	75.7%	3.6%		44.1%	11.8%	20.6%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	97.1%	0.0%	89.6%	0.4%	↑	88.2%	0.0%	8.9%
	② 支援員同士の情報共有	73.5%	2.9%	73.4%	2.1%	↑	67.6%	2.9%	5.9%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	70.6%	8.8%	75.8%	4.6%		61.8%	5.9%	8.8%
	④ 支援員への相談のしやすさ	82.4%	2.9%	85.6%	2.3%		82.4%	2.9%	▲ 0.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	88.2%	0.0%	86.0%	1.4%	↑	76.5%	2.9%	11.7%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	91.2%	2.9%	83.6%	1.3%	↑	76.5%	0.0%	14.7%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	67.6%	2.9%	83.0%	2.2%		61.8%	0.0%	5.8%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	73.5%	5.9%	75.9%	4.3%		67.6%	5.9%	5.9%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	70.6%	5.9%	76.0%	2.7%		58.8%	2.9%	11.8%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.1%	0.0%	96.9%	0.1%	↑	97.1%	0.0%	▲ 0.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	91.2%	0.0%	89.5%	1.5%	↑	88.2%	2.9%	3.0%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	73.5%	2.9%	83.4%	2.1%		76.5%	0.0%	▲ 3.0%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	50.0%	0.0%	64.8%	0.8%		58.8%	0.0%	▲ 8.8%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順に及び発達援助	① おやつのおいしさ	79.4%	0.0%	79.1%	1.5%	↑	70.6%	5.9%	8.8%
	② へややといれのきもちよさ	67.6%	5.9%	72.8%	4.4%		61.8%	0.0%	5.8%
	③ クラブのたのしさ	73.5%	8.8%	82.2%	2.2%		67.6%	2.9%	5.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	55.9%	0.0%	68.5%	2.2%		64.7%	2.9%	▲ 8.8%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	50.0%	2.9%	67.9%	3.2%		67.6%	2.9%	▲ 17.6%

評価結果

平成 30年度

東小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		東小学校地区児童育成クラブ運営委員会						
クラブの所在地		浦安市猫実一丁目 11 番 1 号						
クラブの連絡先		電 話	047-350-4424	F A X	047-350-4424			
当該クラブの運営開始日		平成 21年 4月 1日						
開設場所		小学校敷地内／その他（分室）						
定員／現在の利用者数 （平成 30年 12月末現在）		定 員	198人	利 用 者 数	153 人			
職員数 （平成 30年 12月末現在）	常勤	職員数	12人	うち、男性	3 人	うち、女性	9 人	
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	19人	うち、男性	0 人	うち、女性	19 人	
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>大きな怪我に注意しながらも、児童が全力で遊びに取り組めるクラブであることを目標としています。異なる学年の児童が同じ時間を過ごすことが出来るのが育成クラブの良さなので、支援員も児童同士の関係を大切にして、サポートするように心がけています。また、本室と分室が離れて設置されていますが、サービスに差が出ないように気を付けています。</p>
-----------------------	---

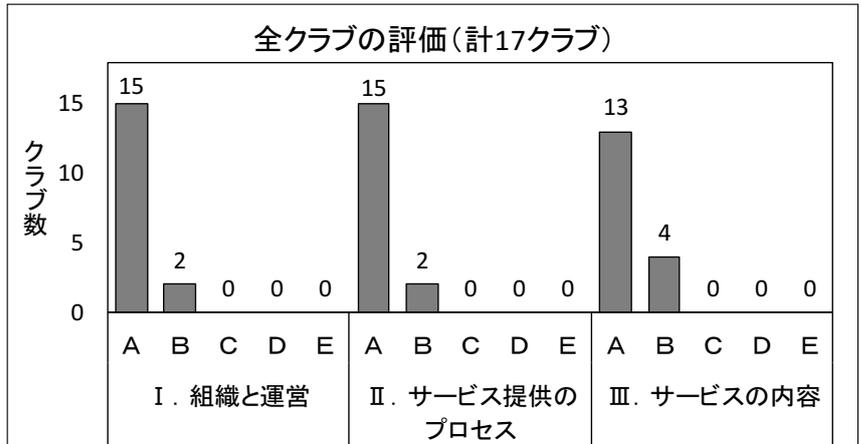
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>東小学校地区児童育成クラブでは、運営委員会を保護者が組織し運営を行っていることから、支援員への連絡や説明、また反対に支援員から運営委員会へ意見や提案がしやすい環境であると考えています。運営委員会が全員、働いている保護者で組織されているので、クラブに来て話をする、会議に出席するなど保護者としては大変な部分もありますが、保護者の意見がそのままクラブに反映される事はとても良い点かと思っています。</p>	<p>仕事が忙しく、運営になかなか参加できないという保護者の方は年々増えています。しかしながら、保護者の意見が直接反映されることは、他にはない良いところだと考えていますので、保護者の負担は最小限に、保護者同士の交流や保護者が企画・参加する行事などは可能な限りしていきたいと思っています。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>見学者は随時受け入れ、保護者への説明等も文書で行っています。新人の支援員には十分な研修をしているとは言い難いですが、毎日の始まりと終わりには反省会をして、日々成長できるようにしています。保護者からの苦情・相談は支援員・運営どちらも受け付けていて、検討がされたあと保護者に通知がいくようにしています。</p>	<p>新人に対する教育・研修については、今後十分な支援員数を確保した後、必要に応じて行っていきたいと考えています。</p> <p>苦情や相談については、受付先の運営委員も保護者の方なので、支援員が受け付けることも多いです。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>児童の主体的な活動を第一と考え、それが可能な環境を作り、支援できるようにしています。遊びを通して児童同士、または支援員と児童で関るので、児童との心の距離は近いと感じています。</p> <p>おやつは季節の行事に関係することが多いので、量や質と同様にその部分も大切にしています。</p>	<p>基本的にはクラブに来ている時間の多くが自由な時間ですが、宿題や自主学習を最も重視する保護者の方もいますので、児童一人一人が余裕を持って学習時間をとれるようにしていきたいと思っています。</p> <p>時間帯によって部屋を用途によって使い分けています。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

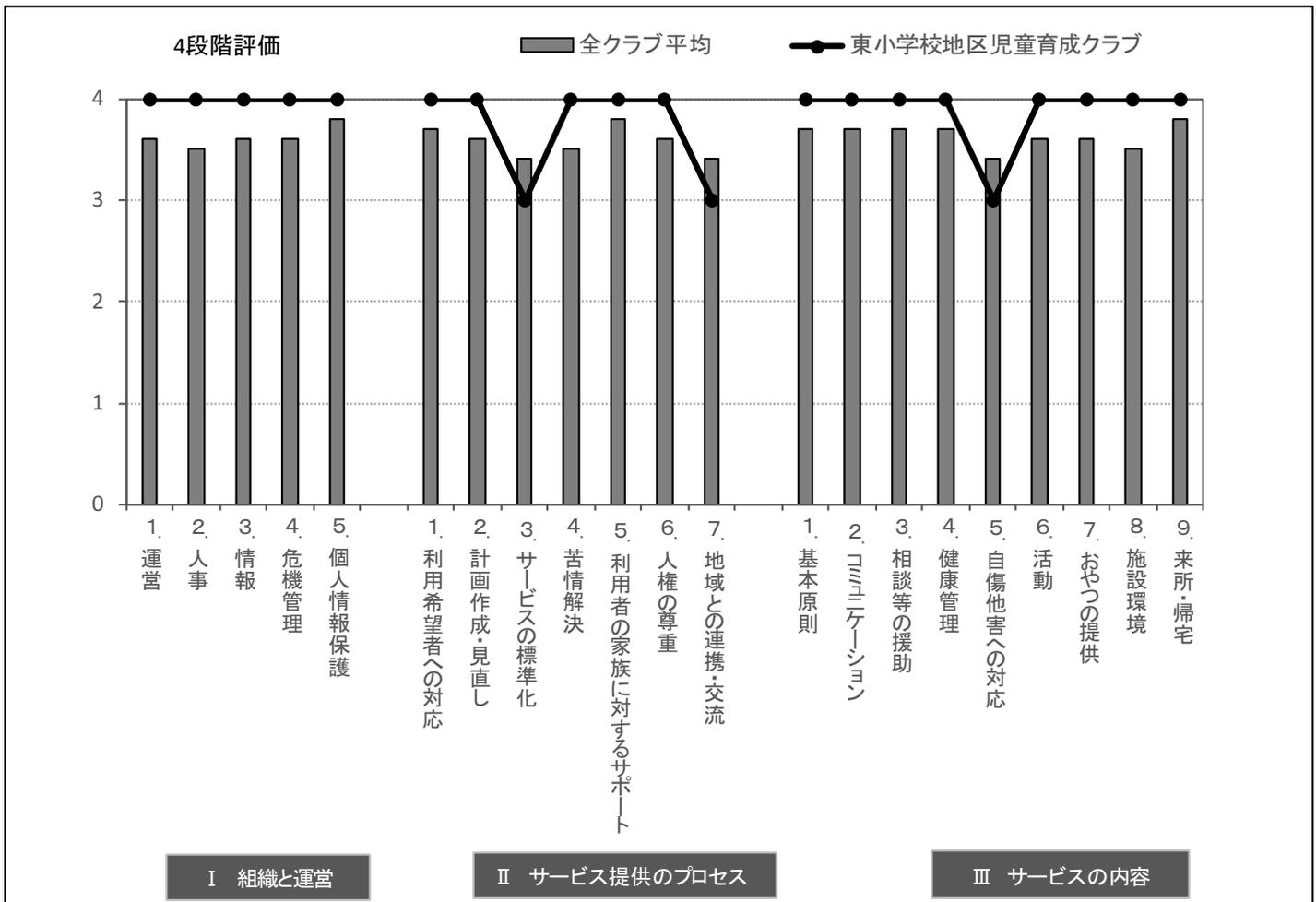
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
Ⅰ.組織と運営	A
	(A)
Ⅱ.サービス提供の プロセス	A
	(A)
Ⅲ.サービスの内容	A
	(A)



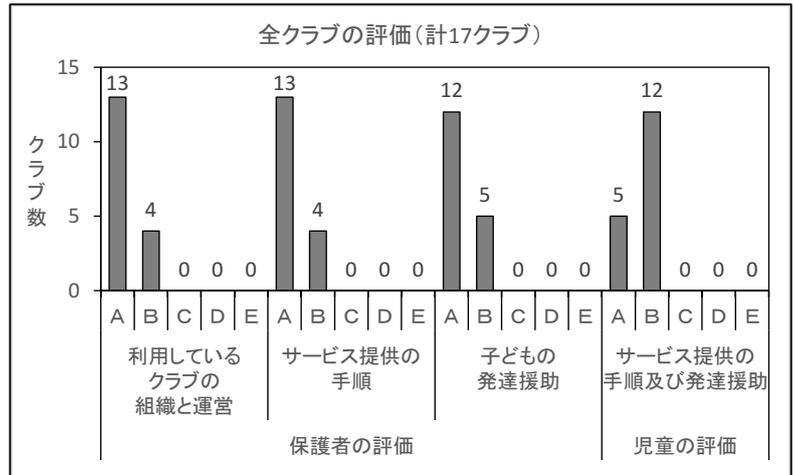
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	81.3%	0.0%	86.1%	0.6%		90.2%	0.0%	▲ 8.9%
	② 支援員の専門的知識や技術	64.6%	4.2%	69.1%	2.4%		61.8%	2.9%	2.8%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	91.7%	0.0%	87.2%	1.7%	↑	92.2%	2.9%	▲ 0.5%
	④ クラブ内の清掃・整理	87.5%	1.0%	84.5%	0.7%	↑	87.3%	2.0%	0.2%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	87.5%	0.0%	84.7%	0.8%	↑	88.2%	0.0%	▲ 0.7%
	⑥ 学校との連携や情報交換	81.3%	2.1%	75.7%	3.6%	↑	74.5%	2.9%	6.8%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	92.7%	1.0%	89.6%	0.4%	↑	93.1%	0.0%	▲ 0.4%
	② 支援員同士の情報共有	71.9%	2.1%	73.4%	2.1%		62.7%	5.9%	9.2%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	69.8%	4.2%	75.8%	4.6%		75.5%	5.9%	▲ 5.7%
	④ 支援員への相談のしやすさ	86.5%	3.1%	85.6%	2.3%	↑	86.3%	2.0%	0.2%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	86.5%	1.0%	86.0%	1.4%	↑	83.3%	1.0%	3.2%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	82.3%	2.1%	83.6%	1.3%		86.3%	0.0%	▲ 4.0%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	83.3%	5.2%	83.0%	2.2%	↑	85.3%	2.0%	▲ 2.0%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	79.2%	2.1%	75.9%	4.3%	↑	72.5%	2.0%	6.7%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	77.1%	2.1%	76.0%	2.7%	↑	74.5%	2.9%	2.6%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	96.9%	0.0%	96.9%	0.1%		99.0%	0.0%	▲ 2.1%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	90.6%	0.0%	89.5%	1.5%	↑	90.2%	0.0%	0.4%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	83.3%	4.2%	83.4%	2.1%		88.2%	2.0%	▲ 4.9%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	58.3%	0.0%	64.8%	0.8%		62.7%	1.0%	▲ 4.4%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順に及びび発達援助の	① おやつのおいしさ	77.1%	1.0%	79.1%	1.5%		74.5%	1.0%	2.6%
	② へややといれのきもちよさ	77.1%	0.0%	72.8%	4.4%		84.3%	1.0%	▲ 7.2%
	③ クラブのたのしさ	81.3%	3.1%	82.2%	2.2%		80.4%	2.0%	0.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	68.8%	3.1%	68.5%	2.2%	↑	63.7%	1.0%	5.1%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	67.7%	4.2%	67.9%	3.2%		62.7%	5.9%	5.0%

評価結果

平成 30年度

舞浜小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社ベネッセスタイルケア						
クラブの所在地		浦安市舞浜二丁目 1 番 1 号						
クラブの連絡先		電 話	047-352-3615	F A X	047-352-3615			
当該クラブの運営開始日		平成 27年 4月 1日						
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員	150人		利 用 者 数	146 人		
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	6 人	うち、男性	1 人	うち、女性	5 人	
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	17人	うち、男性	4 人	うち、女性	13 人	
		有資格者数		保育士	5 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	児童の自主性を大切にし、遊びと学びそれぞれに児童が主体的に関われる環境づくり、支援の在り方を大切にしています。
-----------------------	---

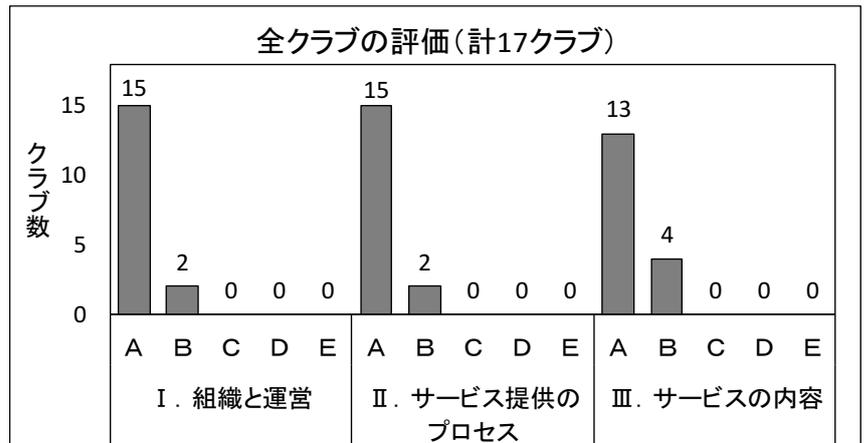
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	日々の運営や様々なイベントにおいて、職員間での活発な意見の交換があり、支援員の育成にもつながっている。その結果退職者も少なく、拠点の安定運営につながっている。	保護者への情報提供の面で評価がまだまだなところがあったため、お便りを見直して児童クラブ内の様子がよく分かるように工夫している。また玄関の掲示も充実させ、児童クラブの様子が保護者様によく伝わるようにしている。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	児童クラブ内のみでなく、学校での様子や家庭の背景なども把握しながら、気になることがあるときには学校、自治体と協力しながら対処してきました。	地域との連携に質と量を充実させていきたい。ボランティアの方は今もきてくださっているが、様々な体験を子供たちに提供できるように、より多くの方に来ていただいたり、地域資源を活用していきたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	日々の活動は児童の自主性を大事にし、子どもたちが発案した遊びを発展させたり、ケンカやトラブルがあっても、子ども同士で解決することを第一に、職員はその手助けにとどめるようにしている。	異年齢と共催のイベントを今年度も開催してきたが、次年度うらっこクラブとしての運営ということで、よりよい連携のあり方を模索していきたい。校庭を共有しているので日常的な交流はできているが、イベントなども、育成・異年齢が一緒にやる前提で組み立てていく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

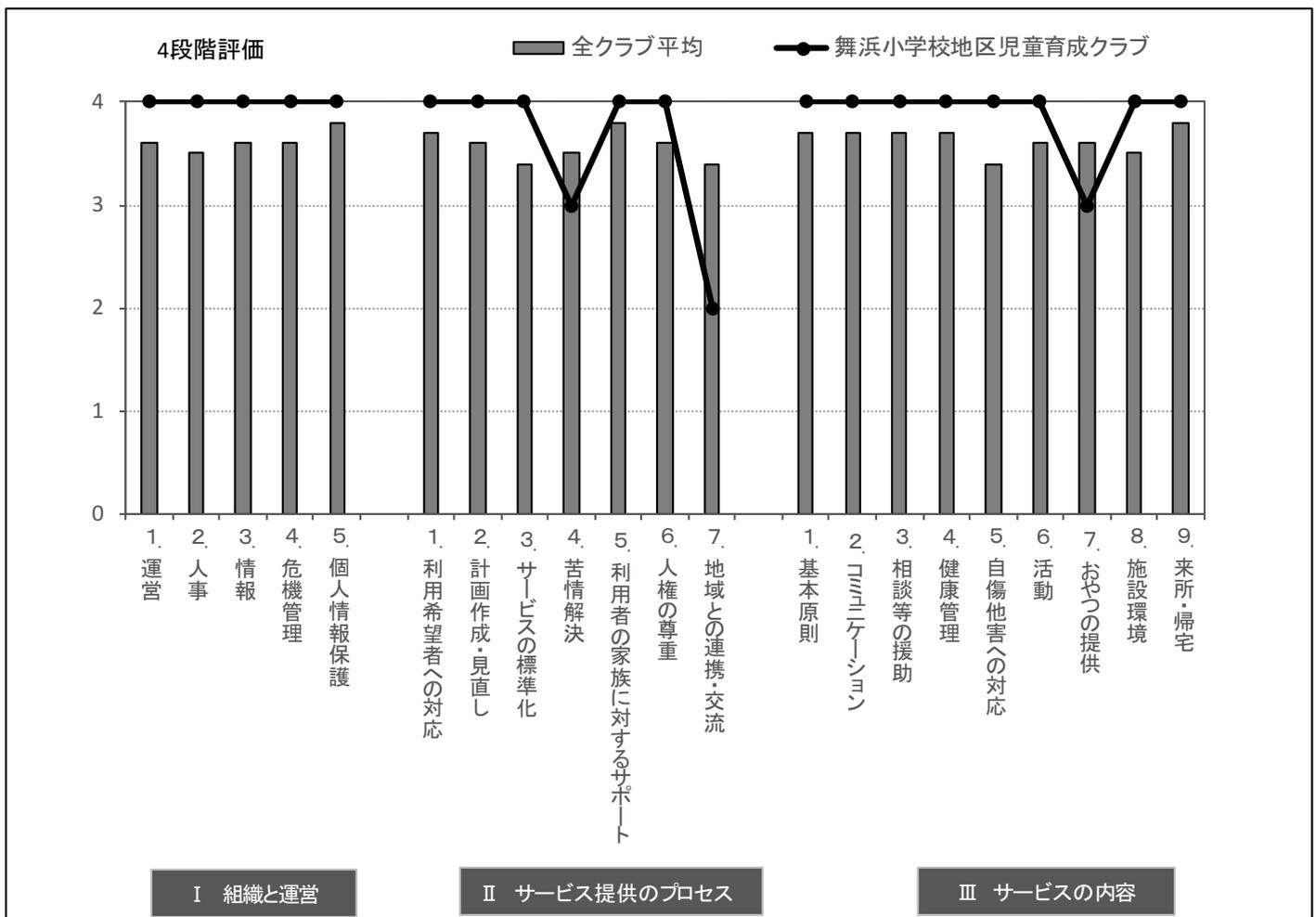
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
I.組織と運営	A
	(B)
II.サービス提供のプロセス	A
	(C)
III.サービスの内容	A
	(C)



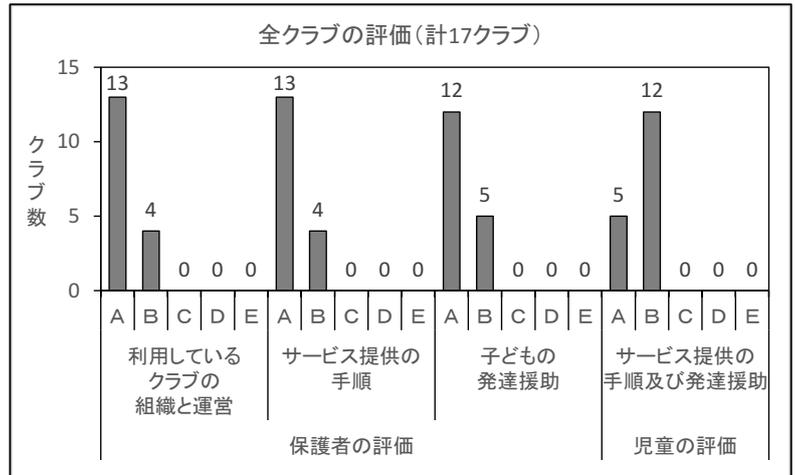
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
組織として運営しているクラブについて	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	88.9%	0.0%	86.1%	0.6%	↑	85.1%	0.0%	3.8%
	② 支援員の専門的知識や技術	67.7%	2.0%	69.1%	2.4%		63.2%	1.1%	4.5%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	80.8%	2.0%	87.2%	1.7%		71.3%	3.4%	9.5%
	④ クラブ内の清掃・整理	81.8%	2.0%	84.5%	0.7%		85.1%	0.0%	▲ 3.3%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	76.8%	3.0%	84.7%	0.8%		89.7%	0.0%	▲ 12.9%
	⑥ 学校との連携や情報交換	60.6%	4.0%	75.7%	3.6%		73.6%	0.0%	▲ 13.0%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	82.8%	1.0%	89.6%	0.4%		88.5%	1.1%	▲ 5.7%
	② 支援員同士の情報共有	69.7%	3.0%	73.4%	2.1%		64.4%	3.4%	5.3%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	78.8%	2.0%	75.8%	4.6%	↑	71.3%	6.9%	7.5%
	④ 支援員への相談のしやすさ	80.8%	3.0%	85.6%	2.3%		79.3%	3.4%	1.5%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	78.8%	3.0%	86.0%	1.4%		82.8%	1.1%	▲ 4.0%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	68.7%	2.0%	83.6%	1.3%		78.2%	1.1%	▲ 9.5%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	76.8%	2.0%	83.0%	2.2%		77.0%	3.4%	▲ 0.2%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	73.7%	5.1%	75.9%	4.3%		62.1%	6.9%	11.6%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	73.7%	1.0%	76.0%	2.7%		65.5%	0.0%	8.2%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	96.0%	0.0%	96.9%	0.1%		96.6%	0.0%	▲ 0.6%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	91.9%	2.0%	89.5%	1.5%	↑	85.1%	1.1%	6.8%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	78.8%	2.0%	83.4%	2.1%		81.6%	1.1%	▲ 2.8%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	52.5%	1.0%	64.8%	0.8%		47.1%	1.1%	5.4%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
手助けに及びない発達援助	① おやつのおいしさ	73.7%	3.0%	79.1%	1.5%		71.3%	3.4%	2.4%
	② へややといれのきもちよさ	66.7%	8.1%	72.8%	4.4%		74.7%	5.7%	▲ 8.0%
	③ クラブのたのしさ	85.9%	2.0%	82.2%	2.2%	↑	82.8%	3.4%	3.1%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	57.6%	3.0%	68.5%	2.2%		57.5%	1.1%	0.1%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	60.6%	4.0%	67.9%	3.2%		62.1%	2.3%	▲ 1.5%

評価結果

平成 30年度

美浜北小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		特定非営利活動法人 ワーカーズコープ							
クラブの所在地		浦安市美浜五丁目 12 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-351-6050	F A X	047-351-6050				
当該クラブの運営開始日		平成 21年 4月 1日							
開設場所		小学校校舎内							
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員		80人		利 用 者 数		45 人	
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	4人	うち、男性		2人	うち、女性		2人
		有資格者数		保育士	1人	幼稚園教諭	2人	幼稚園以外の教諭	1人
	非常勤	職員数	4人	うち、男性		2人	うち、女性		2人
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭	1人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども1人ひとりの自主性、自発性、創造性を育てます。 ・子どもたち同士の話し合いや提案を大切にし、実行できるようにサポートしています。 ・地域の中で子育てをするという視点を大切にし、地域交流を積極的に行ないます。
-----------------------	---

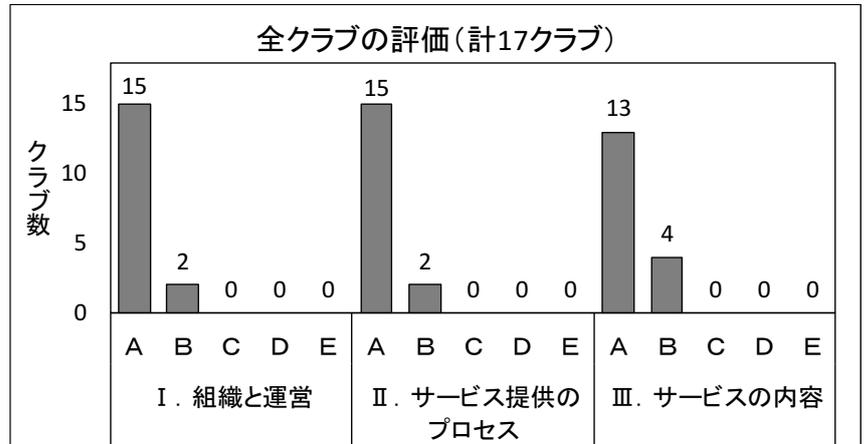
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	学童の運営を通して、保護者や地域住民とのつながりを作り、地域に開かれた学童クラブであり、地域で子どもたちを見守り、育てる環境を作っていくことを目標に学童クラブの運営を行っています。	保護者がお迎えの際に、クラブにちょっと立ち寄って、子育てや教育の悩みや相談を保護者同士で行ったり、地域の人たちと保護者や子どもとのつながりを作るような環境作りを心掛けていきたいと考えています。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	子どもを中心に、子どもが主役になれるような保育を目指している。自分たちで生活や遊びの決まりを考え、行事においては、実行委員を立て企画するところから子どもが参加できるようにしてきた。運営においては、地域との連携で子育てをしてもらうという視点から、近隣の公園、公民館、商業施設などを利用し、スクールカウンセラーとも情報共有し連携している。	お世話になっている自治会、近隣の幼稚園、中学校、ボランティア団体などの地域の方々、より関わりが深くできるようにしていきたい。そのことによって、子ども自身が地域の方々に見守られながら大切に育てられているという実感を持てるようにしたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	クラブは第二の家庭と考え、子ども達にとって安心できる居場所になるようにしている。季節や伝統行事を大切にしながら、子ども達と共に自主性、自発性、創造性を育てるような行事を企画、実行している。 おやつに関しては、特にアレルギー児童に対し全支援員の注意がいくようにミーティング等で意識付けをしている。	遊びや生活の中で、異学年、支援児が自然に関わりを持てるように工夫していきたい。子ども達が安全に過ごせる場の環境づくりをさらに強化していきたい。行事においては、今年度以上に子どもの参加や活躍の場を増やしていきたい。興味・関心に合うレベルや内容を一緒に選び、実践を積み重ねることで、保護者と共に子どもの成長を喜び合えるようになりたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

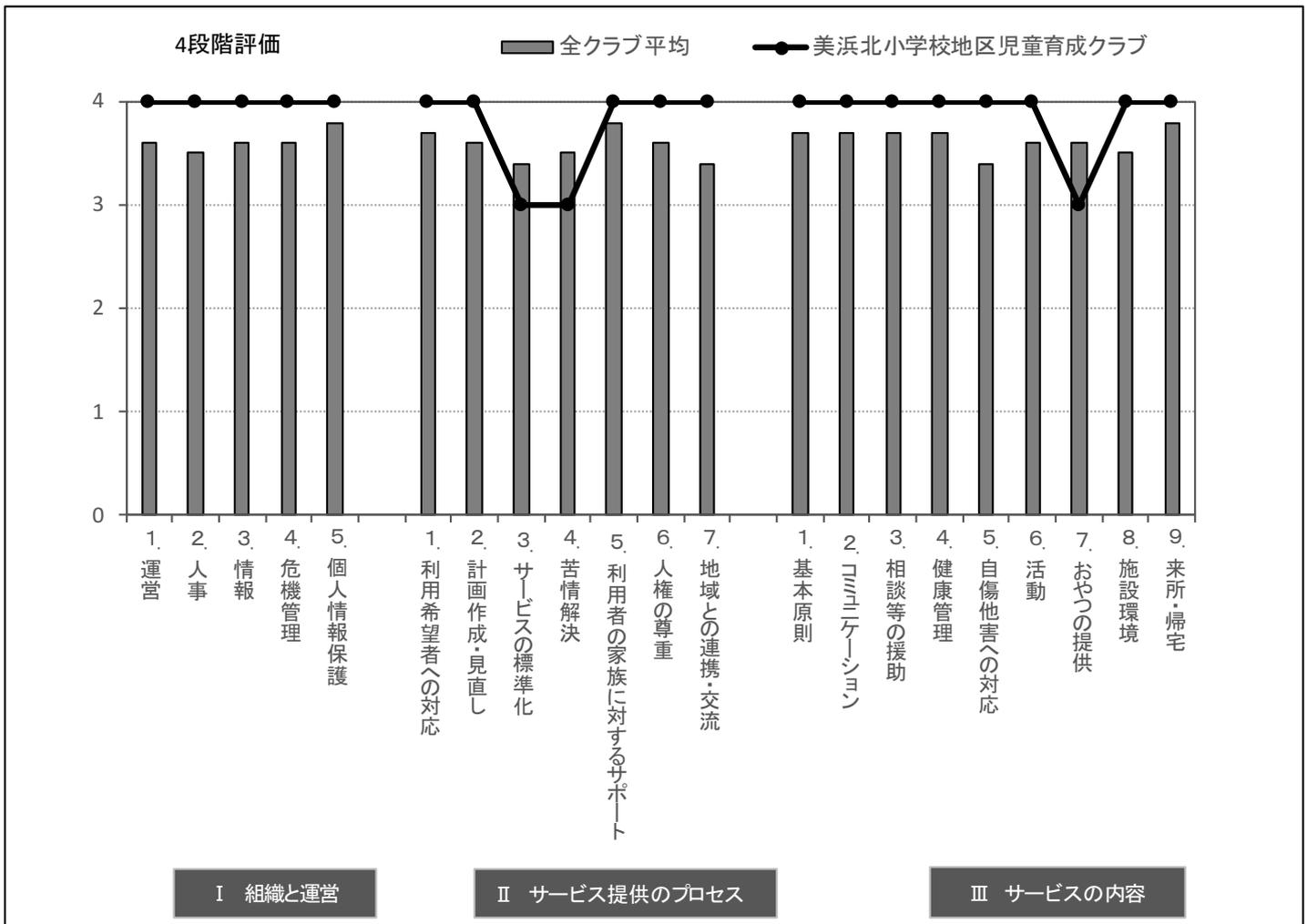
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
Ⅰ.組織と運営	A
	(A)
Ⅱ.サービス提供のプロセス	A
	(A)
Ⅲ.サービスの内容	A
	(A)



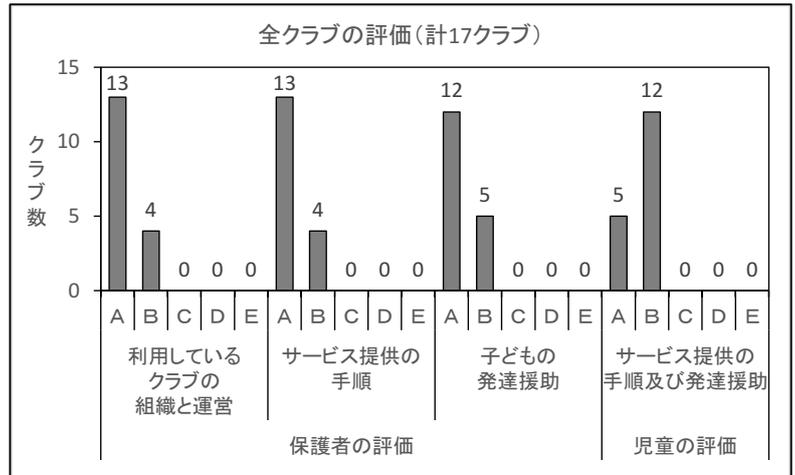
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
組織として運営しているクラブについて	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	50.0%	15.0%	86.1%	0.6%		62.1%	3.4%	▲ 12.1%
	② 支援員の専門的知識や技術	50.0%	10.0%	69.1%	2.4%		44.8%	10.3%	5.2%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	80.0%	0.0%	87.2%	1.7%		82.8%	3.4%	▲ 2.8%
	④ クラブ内の清掃・整理	80.0%	0.0%	84.5%	0.7%		86.2%	0.0%	▲ 6.2%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	70.0%	0.0%	84.7%	0.8%		69.0%	0.0%	1.0%
	⑥ 学校との連携や情報交換	30.0%	25.0%	75.7%	3.6%		62.1%	10.3%	▲ 32.1%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	55.0%	0.0%	89.6%	0.4%		69.0%	3.4%	▲ 14.0%
	② 支援員同士の情報共有	60.0%	10.0%	73.4%	2.1%		58.6%	3.4%	1.4%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	70.0%	0.0%	75.8%	4.6%		69.0%	6.9%	1.0%
	④ 支援員への相談のしやすさ	80.0%	15.0%	85.6%	2.3%		79.3%	13.8%	0.7%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	75.0%	15.0%	86.0%	1.4%		65.5%	3.4%	9.5%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	90.0%	0.0%	83.6%	1.3%	↑	79.3%	0.0%	10.7%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	65.0%	15.0%	83.0%	2.2%		79.3%	6.9%	▲ 14.3%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	60.0%	15.0%	75.9%	4.3%		58.6%	17.2%	1.4%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	55.0%	15.0%	76.0%	2.7%		69.0%	3.4%	▲ 14.0%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	96.9%	0.1%	↑	93.1%	0.0%	6.9%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	90.0%	5.0%	89.5%	1.5%	↑	86.2%	0.0%	3.8%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	75.0%	20.0%	83.4%	2.1%		69.0%	6.9%	6.0%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	30.0%	10.0%	64.8%	0.8%		51.7%	10.3%	▲ 21.7%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順に及び発達援助の	① おやつのおいしさ	75.0%	0.0%	79.1%	1.5%		58.6%	6.9%	16.4%
	② へややといれのきもちよさ	65.0%	10.0%	72.8%	4.4%		58.6%	6.9%	6.4%
	③ クラブのたのしさ	65.0%	5.0%	82.2%	2.2%		75.9%	13.8%	▲ 10.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	40.0%	0.0%	68.5%	2.2%		62.1%	10.3%	▲ 22.1%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	45.0%	10.0%	67.9%	3.2%		55.2%	10.3%	▲ 10.2%

評価結果

平成 30年度

日の出小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		社会福祉法人 わかみや福祉会							
クラブの所在地		浦安市日の出二丁目 11 番 10 号							
クラブの連絡先		電 話	047-380-0666	F A X	047-380-0666				
当該クラブの運営開始日		平成 23年 4月 1日							
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地外							
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員		138 人		利 用 者 数		110 人	
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	4 人	うち、男性		3 人	うち、女性		1 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以外 の教諭	1 人
	非常勤	職員数	13人	うち、男性		人	うち、女性		人
		有資格者数		保育士	2 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以外 の教諭	0 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と一体となって子どもを支援するために、地域との交流を定期的に行う。 ・保護者が安心して働くことが出来るように支援の充実を目指す。 ・子育て機関としての役割を全職員が自覚し、地域に開かれた施設作りを目指す。
-----------------------	---

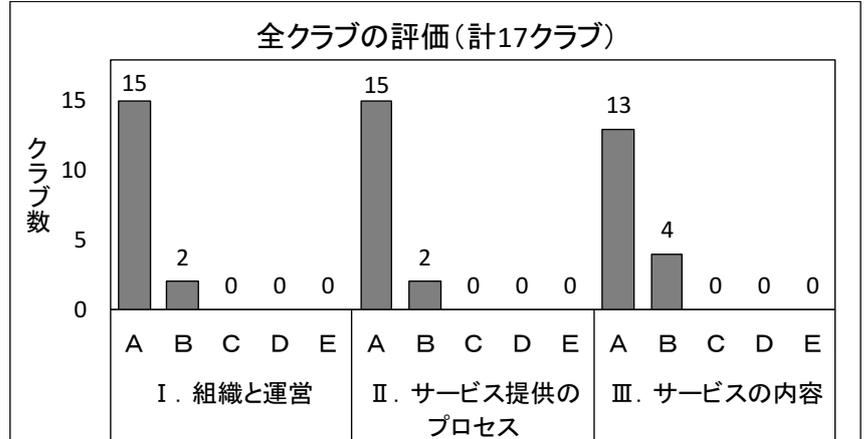
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	重要な決定事項はお便り、安全・安心メール、保護者会を通して発信している。 職員間の定期的な会議を通して情報共有を行い、一体となって改善に取り組んでいる。 必要に応じて、家庭と専門機関を繋ぐ役割を果たしている。	利用者と保護者に確実に伝達事項が伝わるようにお便りや保護者会の改善を図っていく。 災害時、緊急時を再現した環境を設定した避難訓練の実施。近隣の方、施設に協力をして頂き、実践的な訓練を行い、子どもたちの防災意識を高めていく。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービスプロセスの提供	1 利用希望者への対応	利用希望者には随時見学や説明を行っている。 利用者や保護者の不安や悩みを受け止めて支援員全員で受け止めている。 地域の保育園、老人介護施設、大学との交流を積極的に実施し、子どもたちの心を育てている。	作成したマニュアルを定期的に見直し、内容を更新していく。 地域との共育を行っていくために、小学校、保育園との連携を高め、継続した支援の実現、近隣の方との交流を定期的に行い、児童育成クラブについて理解を深めてもらう。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	職員の得意分野を活かし、子どもたちに様々な遊び、行事を提供している。 子どもたちが主体となり、進めていく行事の企画、実施をしている。 気になる児童や支援児は小学校のスクールライフカウンセラーや担任の先生との連携を密にするために、定期的な情報交換を行っている。	手作りおやつや季節の行事、クラス活動を通じて、子どもたちに温かい支援を提供していく。 子ども一人ひとりの思いを大切に、かつ保護者に寄り添い、包括的に支援していく。小学校、専門機関など、様々な立場の大人が関わることで、子ども達にとって最善の支援をしていく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

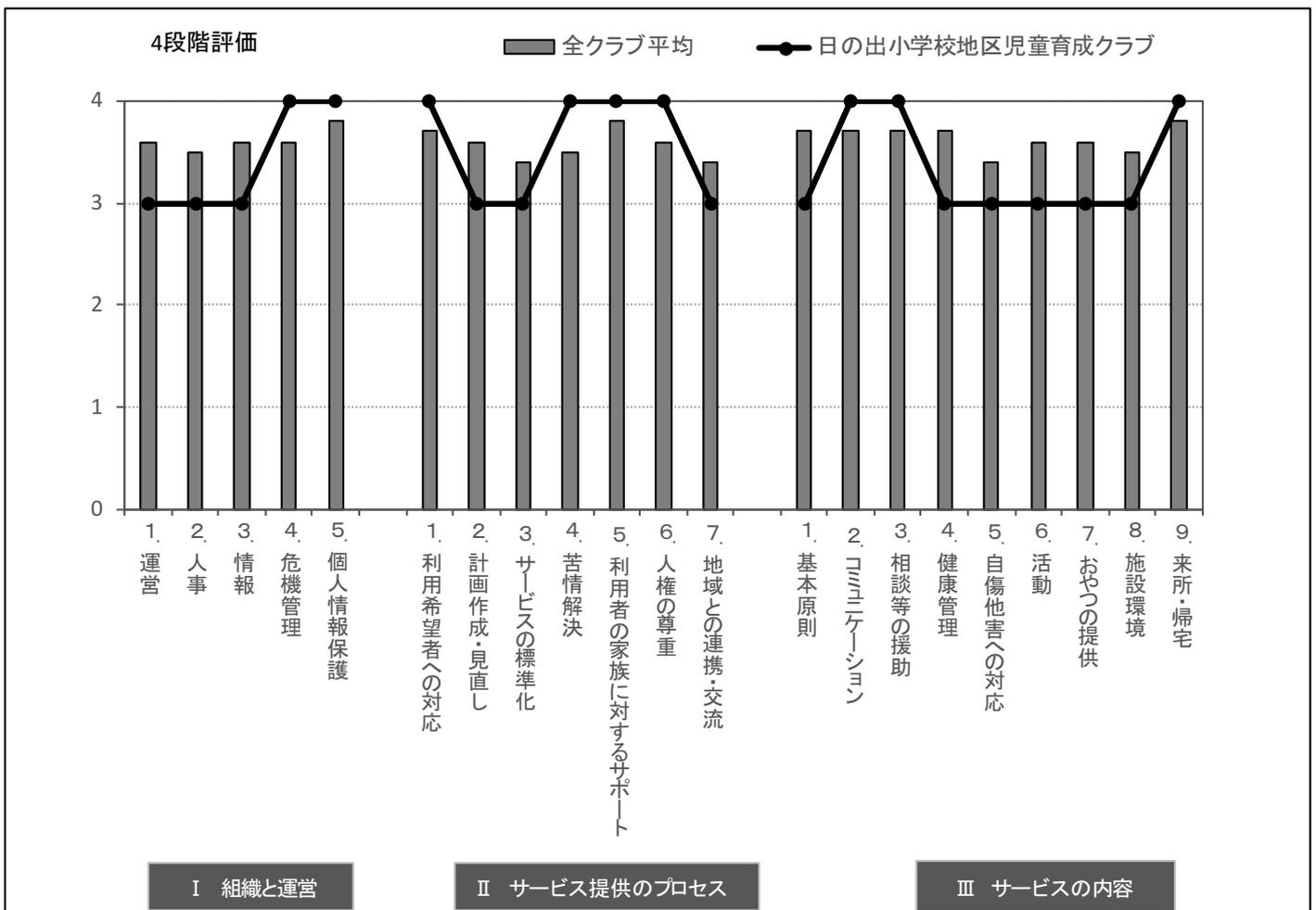
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
Ⅰ.組織と運営	A
	(B)
Ⅱ.サービス提供のプロセス	A
	(B)
Ⅲ.サービスの内容	B
	(B)



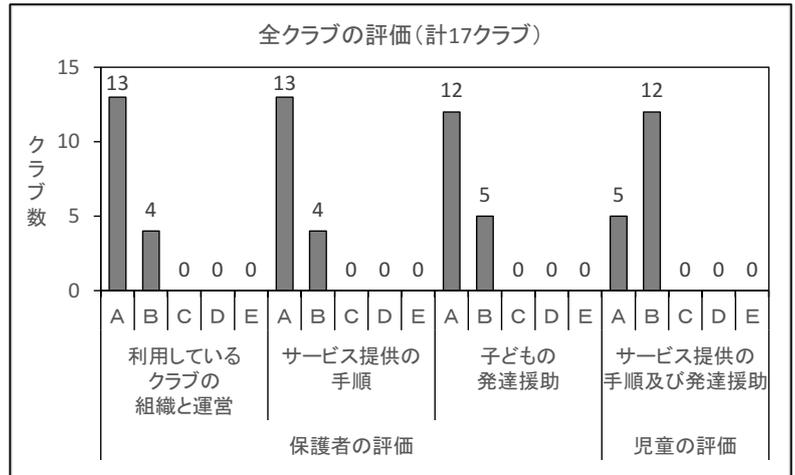
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	90.5%	0.0%	86.1%	0.6%	↑	85.5%	0.0%	5.0%
	② 支援員の専門的知識や技術	70.3%	0.0%	69.1%	2.4%	↑	73.9%	0.0%	▲ 3.6%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	86.5%	2.7%	87.2%	1.7%		66.7%	1.4%	19.8%
	④ クラブ内の清掃・整理	85.1%	0.0%	84.5%	0.7%	↑	85.5%	1.4%	▲ 0.4%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	85.1%	0.0%	84.7%	0.8%	↑	89.9%	0.0%	▲ 4.8%
	⑥ 学校との連携や情報交換	78.4%	0.0%	75.7%	3.6%	↑	79.7%	2.9%	▲ 1.3%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	91.9%	0.0%	89.6%	0.4%	↑	92.8%	0.0%	▲ 0.9%
	② 支援員同士の情報共有	78.4%	4.1%	73.4%	2.1%	↑	62.3%	2.9%	16.1%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	77.0%	4.1%	75.8%	4.6%	↑	56.5%	10.1%	20.5%
	④ 支援員への相談のしやすさ	91.9%	1.4%	85.6%	2.3%	↑	82.6%	2.9%	9.3%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	90.5%	2.7%	86.0%	1.4%	↑	81.2%	0.0%	9.3%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	98.6%	0.0%	83.6%	1.3%	↑	89.9%	0.0%	8.7%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	91.9%	0.0%	83.0%	2.2%	↑	82.6%	1.4%	9.3%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	66.2%	6.8%	75.9%	4.3%		60.9%	4.3%	5.3%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	79.7%	4.1%	76.0%	2.7%	↑	62.3%	0.0%	17.4%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.6%	0.0%	96.9%	0.1%	↑	97.1%	0.0%	1.5%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	93.2%	1.4%	89.5%	1.5%	↑	88.4%	0.0%	4.8%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	89.2%	1.4%	83.4%	2.1%	↑	79.7%	0.0%	9.5%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	60.8%	0.0%	64.8%	0.8%		53.6%	1.4%	7.2%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
手助けに及びない発達提供の	① おやつのおいしさ	85.1%	0.0%	79.1%	1.5%	↑	82.6%	0.0%	2.5%
	② へややといれのきもちよさ	48.6%	8.1%	72.8%	4.4%		65.2%	8.7%	▲ 16.6%
	③ クラブのたのしさ	77.0%	2.7%	82.2%	2.2%		78.3%	0.0%	▲ 1.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	75.7%	1.4%	68.5%	2.2%	↑	62.3%	2.9%	13.4%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	60.8%	2.7%	67.9%	3.2%		58.0%	0.0%	2.8%

評価結果

平成 30年度

明海小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		特定非営利活動法人 ワーカーズコープ						
クラブの所在地		浦安市明海二丁目 13 番 1 号						
クラブの連絡先		電 話	047-305-0220	F A X	047-305-0220			
当該クラブの運営開始日		平成 21年 4月 1日						
開設場所		小学校敷地外/その他						
定員/現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員	120人	利 用 者 数	84人			
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	4人	うち、男性	1人	うち、女性	3人	
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	3人	うち、男性	1人	うち、女性	3人	
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども1人ひとりの自主性、自発性、創造性を育てます。 ・子どもたち同士の話し合いや提案を大切にし、実行できるようにサポートしています。 ・地域の中で子育てをするという視点を大切にし、地域交流を積極的に行います。
-----------------------	--

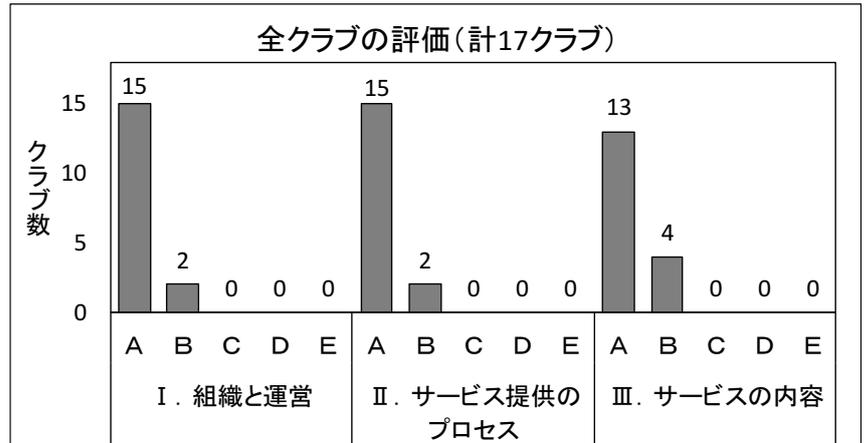
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>支援員一人ひとりが経営者として、運営に責任を持っている。毎日のミーティングや毎月の会議において話し合いや情報の共有を頻繁に行い、支援に活かすようにしている。</p> <p>また、同事業者3クラブが連携してマニュアル作成を行うことで、運営体制を整えている。それと共に、ほぼ毎月合同で研修会を行い、学びを深めるとともに支援員同士で情報交換を行っている。</p>	<p>支援員が保護者、学校、地域の連携を図り一緒に子どもを育てていけるようますます働きかけていく。</p> <p>支援員研修の内容を充実することで、継続して働きやすい環境を整えていきたい。</p> <p>利用者が意見を出したり相談したりしやすくなるようなシステムを作っている。(寄り道カフェ)</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>子どもを中心に、子どもが主役になれるような支援を目指している。自分たちで生活や遊びの決まりを考えたり、行事においては、実行委員を立て企画するところから子どもが参加できるようにしてきた。運営においては、地域で子育てをするという視点を大切にしており、公民館事業に参加したり、行事の際には幼児保育園、あけみ遊び広場、郵便局や小学校にも声かけをし、連携をとりあった。また、小学校とは、緊急時対応や子どもの様子の共有について、日頃から連携をしている。保護者が安心して仕事ができるように応援している。</p>	<p>継続してお世話になっている自治会の方、近隣の幼児保育園、地域の方々と、さらに関わり合いが持てるようにしていきたい。そのことによって、子ども自身が地域の方々に見守られながら大切に育てられているという実感を持てるようにしたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子ども達にとって安心できる居場所になるようにしている。季節や伝統行事を大切にしながら、子ども達と共に自主性、自発性、創造性を育てるような行事を企画、実行している。</p> <p>おやつに関しては、スナック菓子ではなく、手作りで安心して食べられるものを提供している。</p>	<p>遊びや生活の中で、異学年、支援児が自然に関わりが持てるように、工夫していきたい。子ども達が安全に過ごせる環境づくりをしていきたい。行事においては、今年度以上に子どもの参加や活躍の場を増やしていきたい。興味・関心に合うレベルや内容を一緒に選び、実践を積み重ねることで、保護者と共に子どもの成長を喜び合えるようになりたい。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

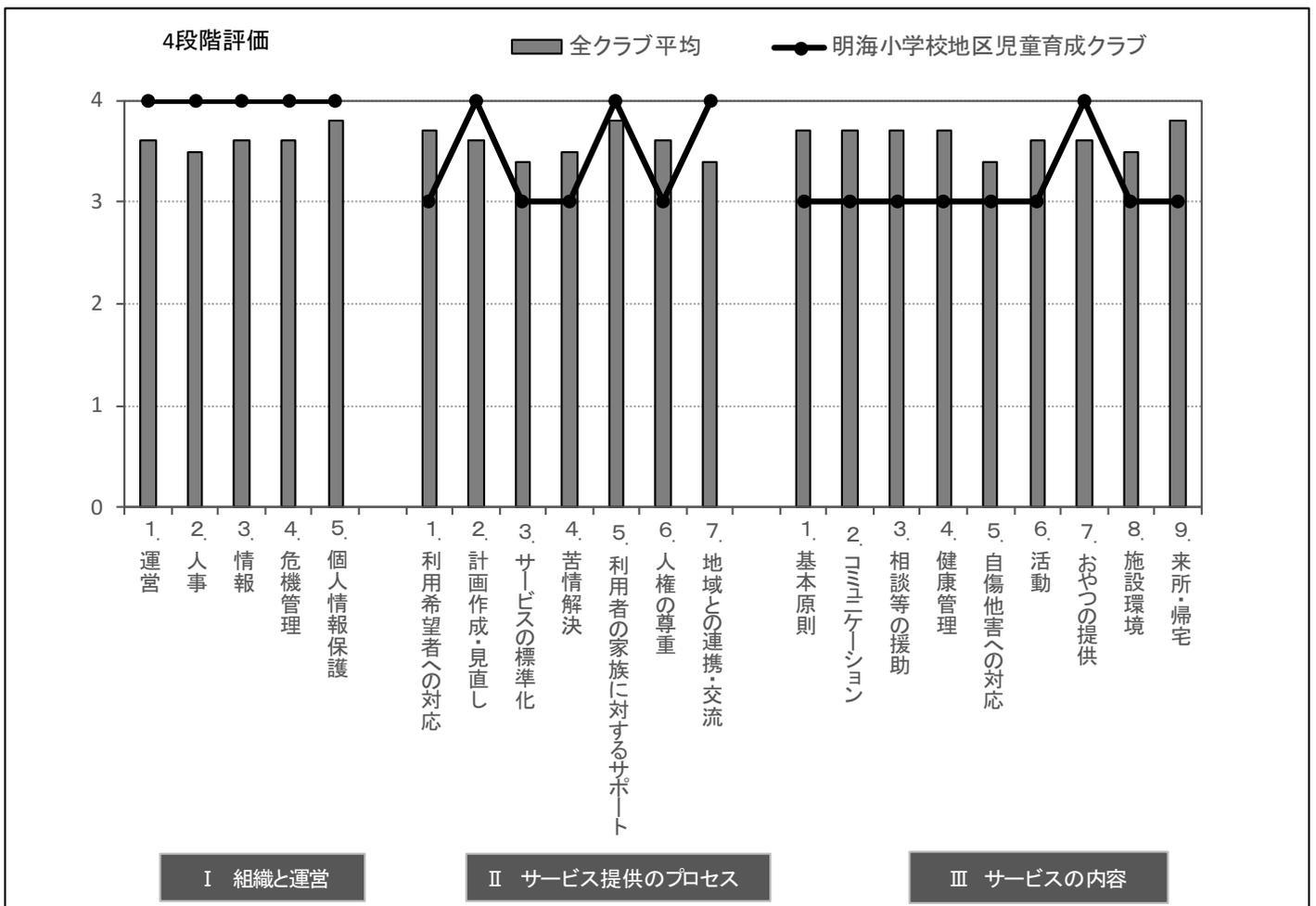
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
Ⅰ.組織と運営	A
	(A)
Ⅱ.サービス提供のプロセス	A
	(A)
Ⅲ.サービスの内容	B
	(B)



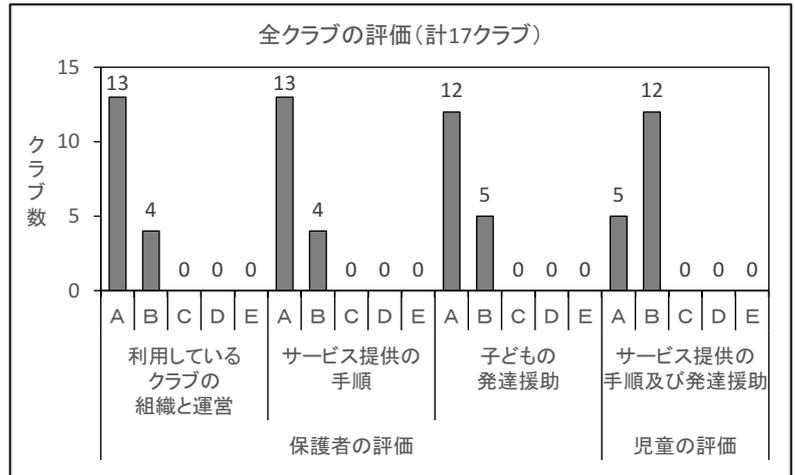
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (A)
	サービス提供の手順について	A (A)
	子どもの発達援助について	A (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A (A)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	97.9%	0.0%	86.1%	0.6%	↑	93.3%	0.0%	4.6%
	② 支援員の専門的知識や技術	91.7%	0.0%	69.1%	2.4%	↑	93.3%	0.0%	▲ 1.6%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	93.8%	0.0%	87.2%	1.7%	↑	91.1%	0.0%	2.6%
	④ クラブ内の清掃・整理	83.3%	0.0%	84.5%	0.7%		82.2%	0.0%	1.1%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	93.8%	0.0%	84.7%	0.8%	↑	91.1%	0.0%	2.6%
	⑥ 学校との連携や情報交換	91.7%	0.0%	75.7%	3.6%	↑	82.2%	0.0%	9.5%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	100.0%	0.0%	89.6%	0.4%	↑	97.8%	0.0%	2.2%
	② 支援員同士の情報共有	93.8%	0.0%	73.4%	2.1%	↑	93.3%	0.0%	0.4%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	93.8%	0.0%	75.8%	4.6%	↑	91.1%	0.0%	2.6%
	④ 支援員への相談のしやすさ	100.0%	0.0%	85.6%	2.3%	↑	100.0%	0.0%	0.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	100.0%	0.0%	86.0%	1.4%	↑	97.8%	0.0%	2.2%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	100.0%	0.0%	83.6%	1.3%	↑	97.8%	0.0%	2.2%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	93.8%	0.0%	83.0%	2.2%	↑	100.0%	0.0%	▲ 6.3%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	93.8%	0.0%	75.9%	4.3%	↑	88.9%	0.0%	4.8%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	89.6%	0.0%	76.0%	2.7%	↑	93.3%	0.0%	▲ 3.7%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	96.9%	0.1%	↑	100.0%	0.0%	0.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	95.8%	0.0%	89.5%	1.5%	↑	100.0%	0.0%	▲ 4.2%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	95.8%	0.0%	83.4%	2.1%	↑	100.0%	0.0%	▲ 4.2%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	83.3%	0.0%	64.8%	0.8%	↑	75.6%	0.0%	7.7%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
手助け順に及びサービス提供の	① おやつのおいしさ	95.8%	0.0%	79.1%	1.5%	↑	91.1%	0.0%	4.7%
	② へややといれのきもちよさ	91.7%	2.1%	72.8%	4.4%	↑	77.8%	2.2%	13.9%
	③ クラブのたのしさ	93.8%	0.0%	82.2%	2.2%	↑	95.6%	0.0%	▲ 1.8%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	85.4%	0.0%	68.5%	2.2%	↑	86.7%	0.0%	▲ 1.3%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	81.3%	2.1%	67.9%	3.2%	↑	97.8%	0.0%	▲ 16.6%

評価結果

平成 30年度

高洲小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社日本デイケアセンター						
クラブの所在地		浦安市高洲四丁目 2 番 8 号						
クラブの連絡先		電 話	047-351-1015	F A X	047-351-1015			
当該クラブの運営開始日		平成 15年 4月 1日						
開設場所		小学校敷地外						
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員	170人		利用 者 数	154 人		
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	9 人	うち、男性	3 人	うち、女性	6 人	
		有資格者数		保育士	2 人	幼稚園教諭	2 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	11人	うち、男性	1 人	うち、女性	10 人	
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方々が安心して仕事ができるように、信頼関係を構築し支援にあたる。 ・児童が安全・安心に学童生活が遅れるよう、安全管理を徹底しながら、多くのイベントなどで充実させたい。
-----------------------	---

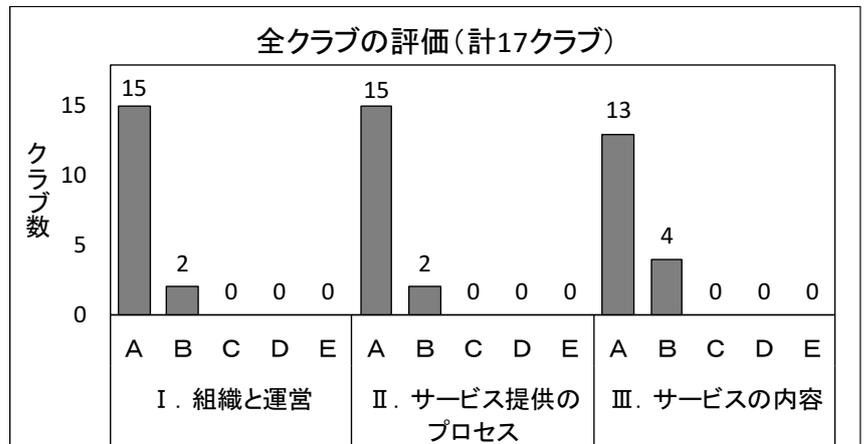
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>どんなことでもミーティングで報告相談し職員間で情報を共有している。市や学校とも情報のやり取りを怠らない。職員同士が話しやすい環境になっている。子どもたちが安心して帰ってこられる場所作りに全員で取り組んでいる。施設独自のマニュアルがあり、全員で活用ができています。</p>	<p>支援員一人ひとりの意識を今よりも高めていきたい。コミュニケーションをもっと意識し、小さなことでも声を掛け合うことを忘れずに大切にしていきたい。 全支援員で定期的なAEDの講習参加を計画していく。以前確認した内容も、定期的に再確認の機会を作っていく。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>保護者とのコミュニケーションを一番大切にしている、何気ない会話から情報を吸収するようにしている。保護者にとっても楽しくお迎えに来られる、そんな場所にと心がけている。保護者からの要望や子どもの変化など報告がきちんと行えている。忙しい中でも、児童の悩みにも寄り添えるようにしている。</p>	<p>苦情や相談などに柔軟に対応はしているが、一人一人が対応の仕方を熟知していないと困る部分がある為、マニュアル化を考えていきたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子ども達の「やりたい！」を大切にしています。子どもと同じ目線で同じ気持ちで寄り添い、一緒に楽しむことも大切にしています。子どもの安全安心を第一に、楽しく過ごせるよう職員全員で取り組んでいる。手を出すのではなくサポート役にまわり、成長を見守るようにしている。</p>	<p>自ら発言することが苦手な児童への対応をもっと考えていきたい。児童の意見を取り入れた遊び・イベントを更に増やしていきたい。子どもの「やりたい！」も尊重するが、人数が多いならの工夫も取り入れていきたい。子どもが自ら片付けようとするような収納の工夫を行いたい。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

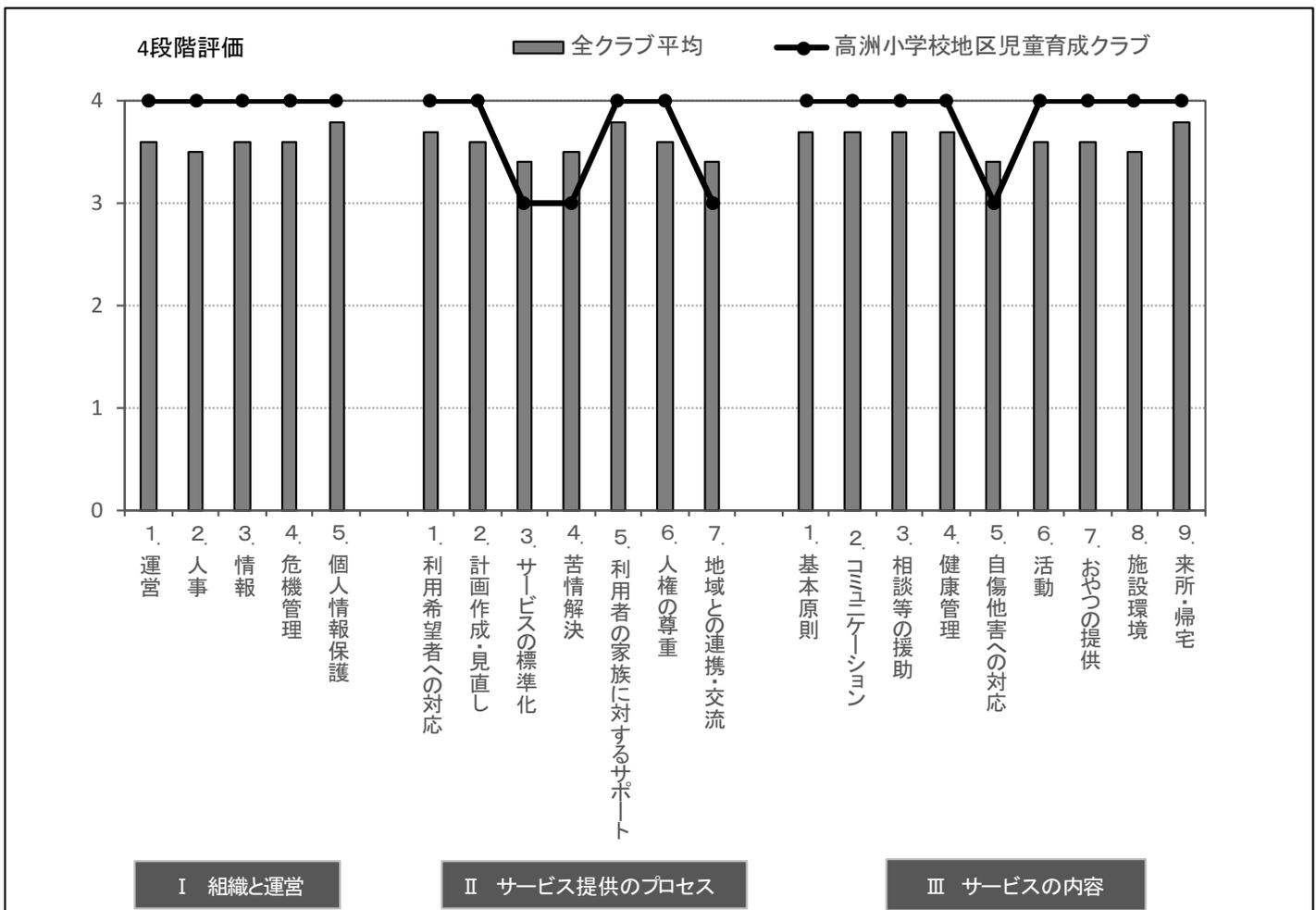
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
Ⅰ.組織と運営	A
	(A)
Ⅱ.サービス提供の プロセス	A
	(A)
Ⅲ.サービスの内容	A
	(A)



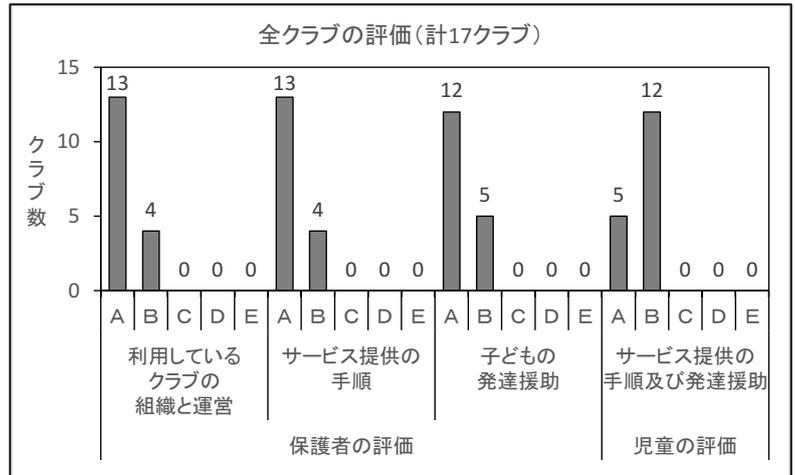
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度	
		(平成29年度)	
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A	(B)
	サービス提供の手順について	A	(B)
	子どもの発達援助について	A	(B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A	(B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	90.8%	0.0%	86.1%	0.6%	↑	83.3%	1.2%	7.5%
	② 支援員の専門的知識や技術	69.7%	1.3%	69.1%	2.4%	↑	67.9%	4.8%	1.8%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	88.2%	1.3%	87.2%	1.7%	↑	90.5%	1.2%	▲ 2.3%
	④ クラブ内の清掃・整理	81.6%	0.0%	84.5%	0.7%		79.8%	3.6%	1.8%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	82.9%	0.0%	84.7%	0.8%		88.1%	1.2%	▲ 5.2%
	⑥ 学校との連携や情報交換	78.9%	2.6%	75.7%	3.6%	↑	83.3%	3.6%	▲ 4.4%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	93.4%	0.0%	89.6%	0.4%	↑	85.7%	1.2%	7.7%
	② 支援員同士の情報共有	80.3%	1.3%	73.4%	2.1%	↑	63.1%	2.4%	17.2%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	77.6%	5.3%	75.8%	4.6%	↑	78.6%	1.2%	▲ 1.0%
	④ 支援員への相談のしやすさ	88.2%	2.6%	85.6%	2.3%	↑	82.1%	3.6%	6.1%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	89.5%	0.0%	86.0%	1.4%	↑	82.1%	1.2%	7.4%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	89.5%	0.0%	83.6%	1.3%	↑	81.0%	0.0%	8.5%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	88.2%	0.0%	83.0%	2.2%	↑	76.2%	2.4%	12.0%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	84.2%	2.6%	75.9%	4.3%	↑	72.6%	3.6%	11.6%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	82.9%	1.3%	76.0%	2.7%	↑	72.6%	2.4%	10.3%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.7%	0.0%	96.9%	0.1%	↑	96.4%	0.0%	2.3%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	96.1%	0.0%	89.5%	1.5%	↑	85.7%	1.2%	10.4%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	90.8%	0.0%	83.4%	2.1%	↑	78.6%	3.6%	12.2%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	80.3%	0.0%	64.8%	0.8%	↑	79.8%	2.4%	0.5%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順に及びび発達援助の	① おやつのおいしさ	85.5%	0.0%	79.1%	1.5%	↑	70.2%	2.4%	15.3%
	② へややといれのきもちよさ	82.9%	2.6%	72.8%	4.4%	↑	73.8%	6.0%	9.1%
	③ クラブのたのしさ	89.5%	1.3%	82.2%	2.2%	↑	78.6%	0.0%	10.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	68.4%	2.6%	68.5%	2.2%		67.9%	6.0%	0.5%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	75.0%	3.9%	67.9%	3.2%	↑	56.0%	7.1%	19.0%

評価結果

平成 30年度

日の出南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		ライクアカデミー株式会社							
クラブの所在地		浦安市日の出五丁目 4 番 3 号							
クラブの連絡先		電 話	047-305-1345	F A X	047-305-1345				
当該クラブの運営開始日		平成 24年 4月 1日							
開設場所		小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員		120人		利 用 者 数		108 人	
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	4 人	うち、男性		2 人	うち、女性		2 人
		有資格者数		保育士	2 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭	2 人
	非常勤	職員数	15人	うち、男性		3 人	うち、女性		13 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	2 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>あたたかな環境の中で、一人ひとりの心に寄り添い、子どもがありのままの姿を何のためらいもなく出せる場所である事。自己肯定感をはぐくむ場所である事を常に大切にしています。保護者の方々に信頼して預けていただけるよう、支援員一人ひとりが自覚と責任を感じ、環境整備を基本とした安全管理を行っています。</p>
-----------------------	--

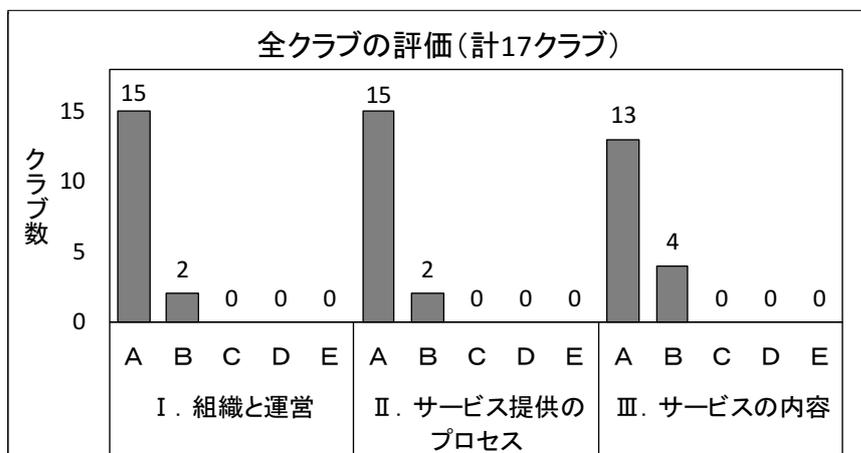
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>放課後児童クラブ運営指針を基に、研修やミーティングを通し専門職としての自覚と心構えを持つことを重視している。支援員の8割が常勤に近い勤務形態のため、情報共有がスムーズに行われている。一人ひとりの意見や個性が活かせる雰囲気がある。</p>	<p>危機管理については最新の情報を取り入れること、緊急時には全支援員がリーダーとなって子どもを守れるよう、実践に即した訓練の実施やマニュアル作りを行う。経験年数に応じた研修もさらに取り入れ、各自の得意分野は伸ばし、その他のスキルアップも目指す。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>今年度、保護者からのアイデアを取り入れ、外部の講師を招き、クラブ活動として、ダンス、マジック、日舞の活動を取り入れた。支援員が講師となり茶道、イラストクラブも行い、子どもの興味関心を広げることが出来た。支援員の得意分野を積極的に活動に取り入れ、活気ある活動が多く行われた。</p>	<p>2学年毎のクラス制を取り入れ、落ち着いた空間作りに成功した。一人ひとりの子どもへの必要な支援にもつながった。来年度も複数担任制を取り入れ、各子どもの成長目標を作り、支援に取り入れていく。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子ども主体の環境作りを行うため、「何でもBOX」という意見箱を置き、子どもの意見を自由に書ける工夫をした。意見には必ず返信をし、実現できるものは極力実現した。金魚を飼う。クッションを置く、おやつメニュー、お化け屋敷の実施。その経験から自分達のクラブという意識が育ってきている。</p>	<p>子どもが主体的にクラブの生活を楽しみ、作り上げることが出来るよう、支援技術の向上を目指す。研修会への参加、勉強会を行う等、支援員の学びを深くし、子どもへの活動へつなげていきたい。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

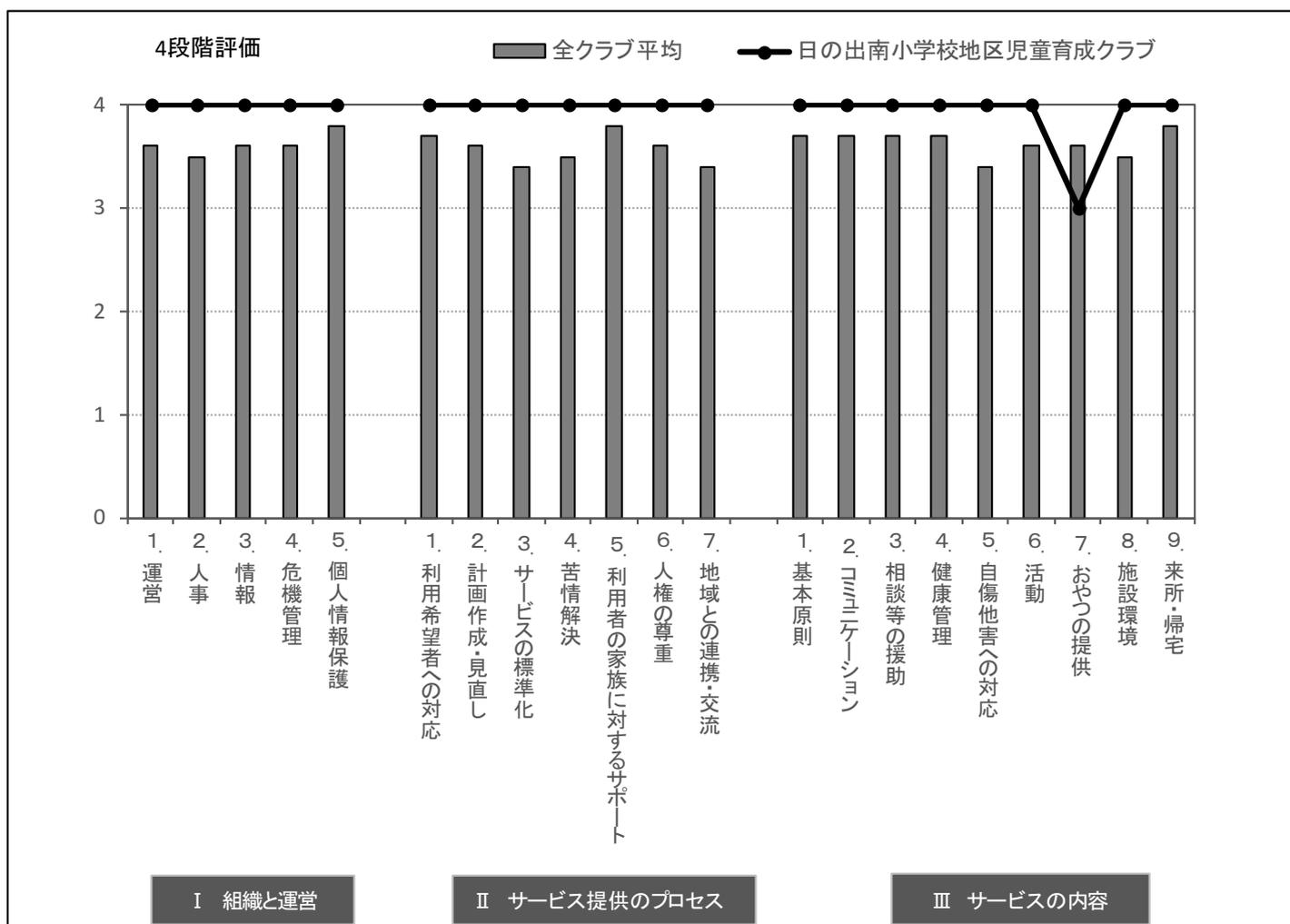
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
I.組織と運営	A
	(A)
II.サービス提供の プロセス	A
	(A)
III.サービスの内容	A
	(A)



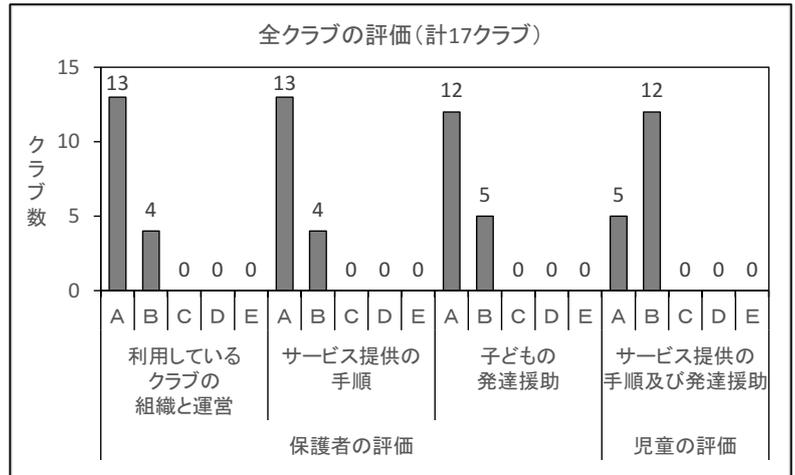
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
組織として運営しているクラブについて	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	100.0%	0.0%	86.1%	0.6%	↑	91.5%	0.0%	8.5%
	② 支援員の専門的知識や技術	69.1%	0.0%	69.1%	2.4%		74.6%	3.4%	▲ 5.5%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	96.4%	0.0%	87.2%	1.7%	↑	93.2%	0.0%	3.2%
	④ クラブ内の清掃・整理	85.5%	0.0%	84.5%	0.7%	↑	83.1%	3.4%	2.4%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	94.5%	0.0%	84.7%	0.8%	↑	91.5%	0.0%	3.0%
	⑥ 学校との連携や情報交換	76.4%	0.0%	75.7%	3.6%	↑	81.4%	0.0%	▲ 5.0%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	100.0%	0.0%	89.6%	0.4%	↑	94.9%	0.0%	5.1%
	② 支援員同士の情報共有	80.0%	0.0%	73.4%	2.1%	↑	83.1%	0.0%	▲ 3.1%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	72.7%	5.5%	75.8%	4.6%		61.0%	1.7%	11.7%
	④ 支援員への相談のしやすさ	89.1%	0.0%	85.6%	2.3%	↑	89.8%	0.0%	▲ 0.7%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	90.9%	0.0%	86.0%	1.4%	↑	89.8%	0.0%	1.1%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	96.4%	0.0%	83.6%	1.3%	↑	88.1%	1.7%	8.3%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	87.3%	0.0%	83.0%	2.2%	↑	86.4%	0.0%	0.9%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	72.7%	3.6%	75.9%	4.3%		78.0%	6.8%	▲ 5.3%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	78.2%	0.0%	76.0%	2.7%	↑	69.5%	1.7%	8.7%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.2%	0.0%	96.9%	0.1%	↑	98.3%	0.0%	▲ 0.1%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	96.4%	1.8%	89.5%	1.5%	↑	89.8%	1.7%	6.6%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	94.5%	0.0%	83.4%	2.1%	↑	86.4%	0.0%	8.1%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	74.5%	1.8%	64.8%	0.8%	↑	72.9%	0.0%	1.6%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順に及び発達援助の	① おやつのおいしさ	58.2%	5.5%	79.1%	1.5%		71.2	5.1%	▲ 13.0%
	② へややといれのきもちよさ	69.1%	1.8%	72.8%	4.4%		67.8	1.7%	1.3%
	③ クラブのたのしさ	78.2%	3.6%	82.2%	2.2%		79.7	1.7%	▲ 1.5%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	69.1%	1.8%	68.5%	2.2%	↑	64.4	1.7%	4.7%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	67.3%	1.8%	67.9%	3.2%		64.4	3.4%	2.9%

評価結果

平成 30年度

明海南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社日本デイクアセンター							
クラブの所在地		浦安市明海五丁目 5 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-382-2901	F A X	047-382-2901				
当該クラブの運営開始日		平成 21年 4月 1日							
開設場所		小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員		80人		利 用 者 数		80人	
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	4人	うち、男性		1人	うち、女性		3人
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園教諭	1人	幼稚園以外の教諭	2人
	非常勤	職員数	6人	うち、男性		2人	うち、女性		4人
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭	1人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとってより安全で居心地のよい環境を提供する為に、日頃より保護者・学校との連携を大切にしている。 ・子ども自身が、学童生活の中にある人との関わりや様々な体験を通じて「相手を思いやる気持ち」「人を大切に作る心」を育てて行けるよう、支援員が同じ方向を向き保育に取り組んでいる。
-----------------------	--

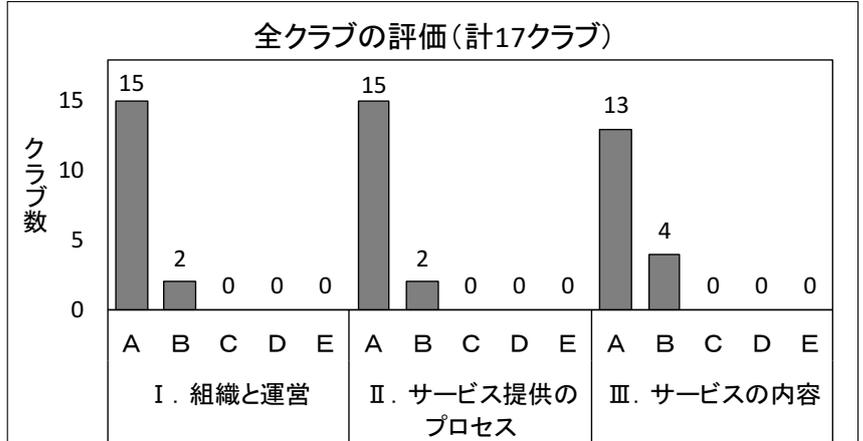
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	毎日のミーティングにより、あらゆる角度から話し合い協議し合うことで、全支援員が同じ方向性を持つことで意欲的に保育に取り組んでいる。 また、保護者、学校との連携を密に取ることで子どもにとってよりよい環境づくりに努めている。	マネージャーとの連携を密にし、市との情報共有を今後もより一層努めていく。 年二回マネージャーによる面談を行っており今後はさらに回数を増やし長期的な具体対策実現に努めていく。
	2 人事	昨年度から、学校で起こった怪我・病気を书面化した手段を通じて学校とクラブ、そして保護者が繋がり合っって子どもを見守れる良い体制が取れている。この取り組みを設けてから、より保護者が安心して学童に預けられるようになってきている。	また、各自支援員としての自覚、目標を持ち、互いに認め合い、高め合いながら目標達成にむけて仕事に取り組んでいく。
	3 情報	災害や緊急事態に備え、様々な状況を想定した予告無しの避難訓練を年に数回実施している。その際子どもには学童滞り時の避難方法を教えると共に、自宅での一人留守番においても速やかに対処できるよう自分の身を自分で守る事の必要さを伝えている。	浦安市内で、日本デイクアセンターが運営する施設に支援員が出向き、資質向上の為に研修を行っている。
	4 危機管理	外部講師をお呼びし、実際に帰宅時に不審者から声を掛けられるシチュエーションを子ども自身が体験し安全ブザーの大切さなど知ることが出来た。	各施設で子どもの特性も異なるので各支援員が目標を持ち保育をすることにより、各自目標や課題など見つける力が身に着くよう取り組んでいる。
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	年二回遠方のボランティアの方や日頃接する機会がない方をお招きし、子どもが日常では経験できないような体験をし、貴重な時間を過ごせるよう「体験教室」を行っている。 今後も外部ボランティアの方だけではなく、地域ボランティアの方との交流を増やして行けるよう、情報収集に努めていく。	子どもの意思尊重、子どもの状況に合った支援方法、支援が必要な子どもを子どもたち自身が認め合えるような環境づくりをしていくために、毎日のミーティングで協議すると共に現状に満足しないよう、支援員自身の日々資質向上に努めていく。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	子どもが安心して過ごせるよう、より良い環境づくりに配慮し、学童生活の中にある人と人の関わりや様々な体験を通じて「相手を思いやる心」「人を大切に作る心」を育てていけるよう取り組んでいる。 子どもの状態、状況を確実に把握するとともに、子どもが話しやすい、相談しやすい環境であるよう学年担任制で保育を行っている。 誘拐、動物虐待等、残忍卑劣な事件が多発する昨今、子どもの命が確実に守られるよう、万が一の時に子ども自身が正しい対処が出来るよう、子ども自身にも認識を持ってもらえるための防犯訓練を行っている。	アレルギー疾患のある子どもに対する食品への配慮やアナフィラキシーショック発症時の対処法、熱性けいれんの対処について、全支援員が情報を共有し適切に対応しているが、今後どのようなアレルギー症状を持つ児童にでも対応できるよう、また突然のアレルギー症状等にも迅速な対応が出来るよう、さらなる知識向上の為に、積極的に研修への参加をする等努めていく。 またこれからは定期的に確認するとともに、他事業者他クラブの事例をふまえた情報共有を今後も続けて行い、いかなる状況でも対処できるよう備えていく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

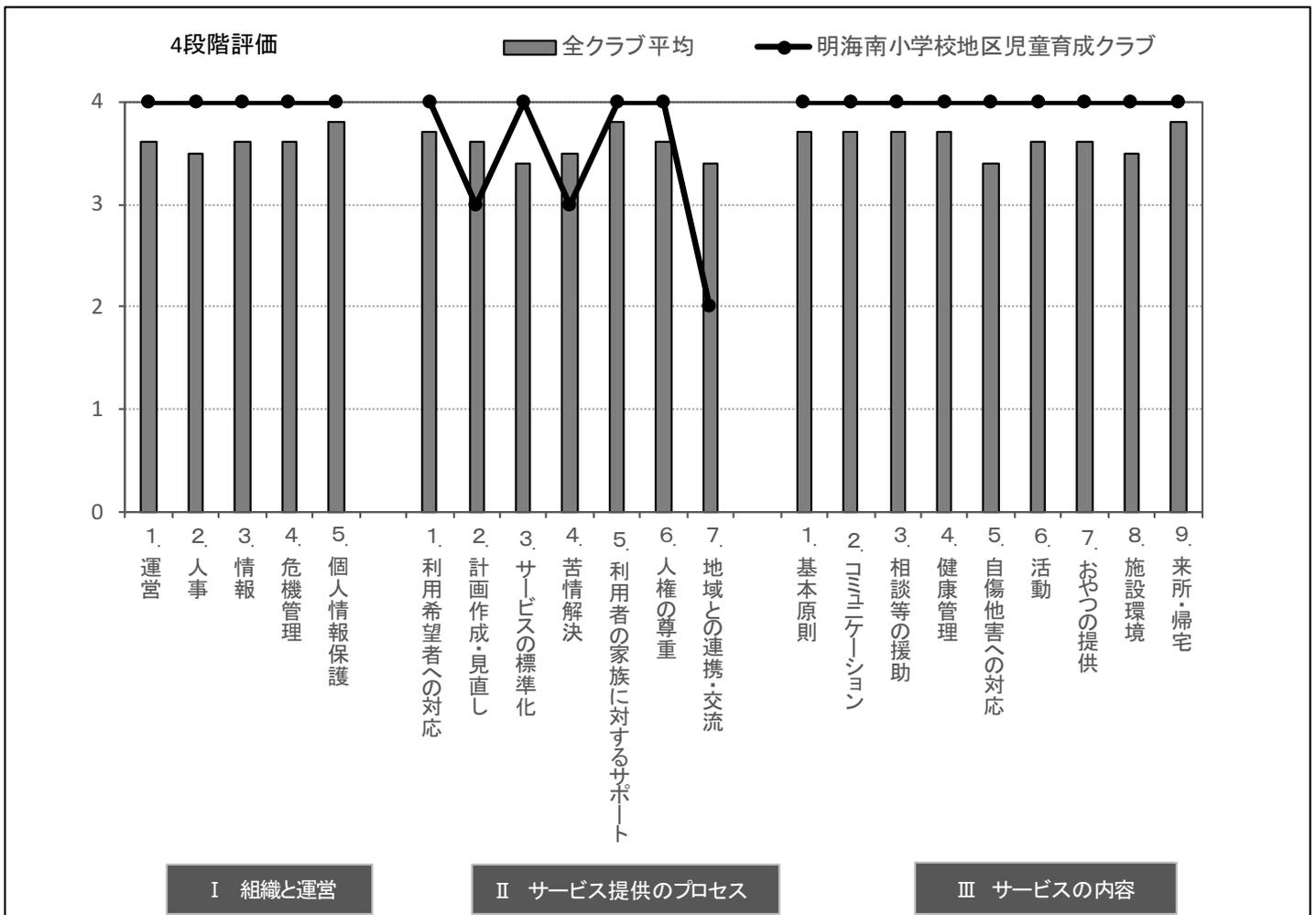
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
I.組織と運営	A
	(A)
II.サービス提供のプロセス	A
	(A)
III.サービスの内容	A
	(A)



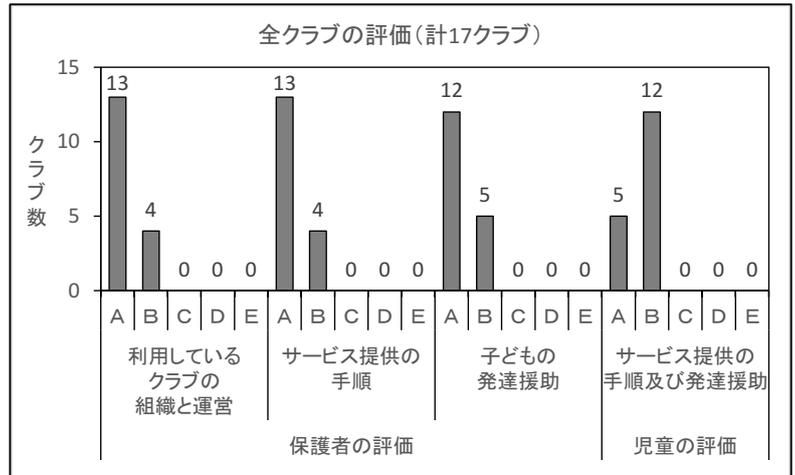
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (A)
	サービス提供の手順について	A (A)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	98.0%	0.0%	86.1%	0.6%	↑	94.3%	0.0%	3.7%
	② 支援員の専門的知識や技術	91.8%	0.0%	69.1%	2.4%	↑	83.0%	0.0%	8.8%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	95.9%	0.0%	87.2%	1.7%	↑	98.1%	0.0%	▲ 2.2%
	④ クラブ内の清掃・整理	93.9%	2.0%	84.5%	0.7%	↑	94.3%	0.0%	▲ 0.4%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	100.0%	0.0%	84.7%	0.8%	↑	94.3%	1.9%	5.7%
	⑥ 学校との連携や情報交換	95.9%	0.0%	75.7%	3.6%	↑	92.5%	0.0%	3.4%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	95.9%	0.0%	89.6%	0.4%	↑	98.1%	0.0%	▲ 2.2%
	② 支援員同士の情報共有	98.0%	0.0%	73.4%	2.1%	↑	92.5%	0.0%	5.5%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	95.9%	0.0%	75.8%	4.6%	↑	84.9%	1.9%	11.0%
	④ 支援員への相談のしやすさ	93.9%	0.0%	85.6%	2.3%	↑	90.6%	0.0%	3.3%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	95.9%	2.0%	86.0%	1.4%	↑	96.2%	0.0%	▲ 0.3%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	91.8%	0.0%	83.6%	1.3%	↑	90.6%	3.8%	1.2%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	93.9%	0.0%	83.0%	2.2%	↑	98.1%	0.0%	▲ 4.2%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	85.7%	0.0%	75.9%	4.3%	↑	92.5%	0.0%	▲ 6.8%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	85.7%	0.0%	76.0%	2.7%	↑	81.1%	0.0%	4.6%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	96.9%	0.1%	↑	100.0%	0.0%	0.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	98.0%	0.0%	89.5%	1.5%	↑	96.2%	0.0%	1.8%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	95.9%	0.0%	83.4%	2.1%	↑	94.3%	0.0%	1.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	85.7%	0.0%	64.8%	0.8%	↑	67.9%	0.0%	17.8%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
手助けに及びないサービス提供の	① おやつのおいしさ	91.8%	0.0%	79.1%	1.5%	↑	79.2%	1.9%	12.6%
	② へややといれのきもちよさ	77.6%	0.0%	72.8%	4.4%	↑	81.1%	1.9%	▲ 3.5%
	③ クラブのたのしさ	89.8%	2.0%	82.2%	2.2%	↑	86.8%	0.0%	3.0%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	75.5%	4.1%	68.5%	2.2%	↑	77.4%	0.0%	▲ 1.9%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	85.7%	0.0%	67.9%	3.2%	↑	69.8%	1.9%	15.9%

評価結果

平成 30年度

高洲北小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		ライクアカデミー株式会社							
クラブの所在地		浦安市高洲二丁目 2 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-381-5201	F A X	047-381-5201				
当該クラブの運営開始日		平成 18年 4月 1日							
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員		128人		利 用 者 数		123 人	
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	5 人	うち、男性		0 人	うち、女性		5 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭	4 人
	非常勤	職員数	16人	うち、男性		5 人	うち、女性		11 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭	3 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>1. あたかな環境の中で、一人ひとりの心に寄り添い、子どもにとって、ありのままの姿を何のためらいもなく出せる場所であること。</p> <p>2. 自己肯定感を育む場所であること。</p> <p>上記2点を常に大切にしています。</p> <p>保護者の方々には信頼してお子さんを預けていただけるように支援員一人ひとりが自覚と責任を持って、施設運営に努めております。環境整備を基本とした安全管理を保護者の安心につなげます。</p>
-----------------------	--

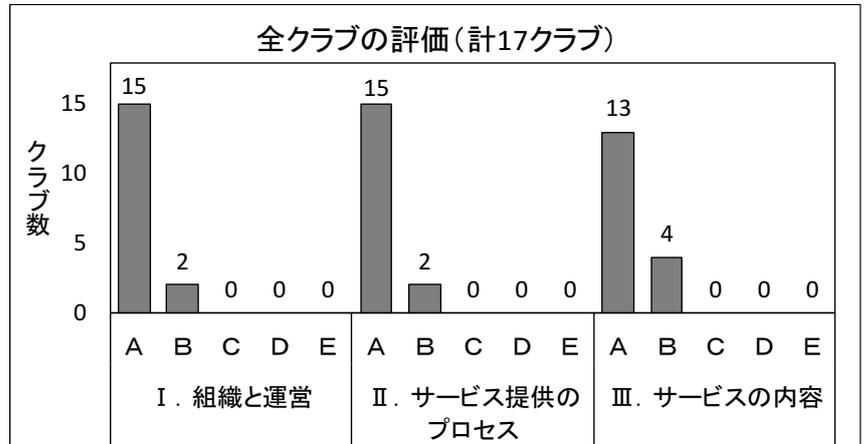
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	保護者、児童一人ひとりと丁寧に向き合い、貴重な意見やニーズ、思いに耳を傾け、検討を繰り返しながら、最善のサービスを提供すること、児童が安全安心の中で主体的に活動できる運営ができました。	全職員が同じスキルを身に付け、同じ認識で運営するには、まだ個人差があり、利用者に対して、十分なサービスを提供できたとは言いがたいため、職員の底上げを図ると共に、職員の対応によって差が生じないように、改善していきたいです。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	事前に丁寧な説明を行うように心がけました。利用者の不安感や心配事を察することができるように、配慮しながら寄り添った対応ができました。行事に関しては、大幅に変えることなく、毎年の反省、改善を通じて、今年度ベストな企画ができたと思います。	顔を合わせる事が少ない利用者に対して、特定の職員が対応することが多く、全体で共有し、把握できていなかった事例があったため、支援員全体で改善、努力をしていきたいと思います。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	利用者への周知にメール配信を活用させたことにより、より多くの利用者に迅速に周知することができました。常に児童の安全、保護者の安心を第一に心掛け、施設運営を行いました。	今までの良かったことや改善点などの蓄積を大切にしながら、職員の資質、スキルアップを目指していきます。また一年一年さらなる進化と発展を目指し、運営や行事計画などを進めていき、利用者の満足度が上がるように工夫をしていきたいと思います。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

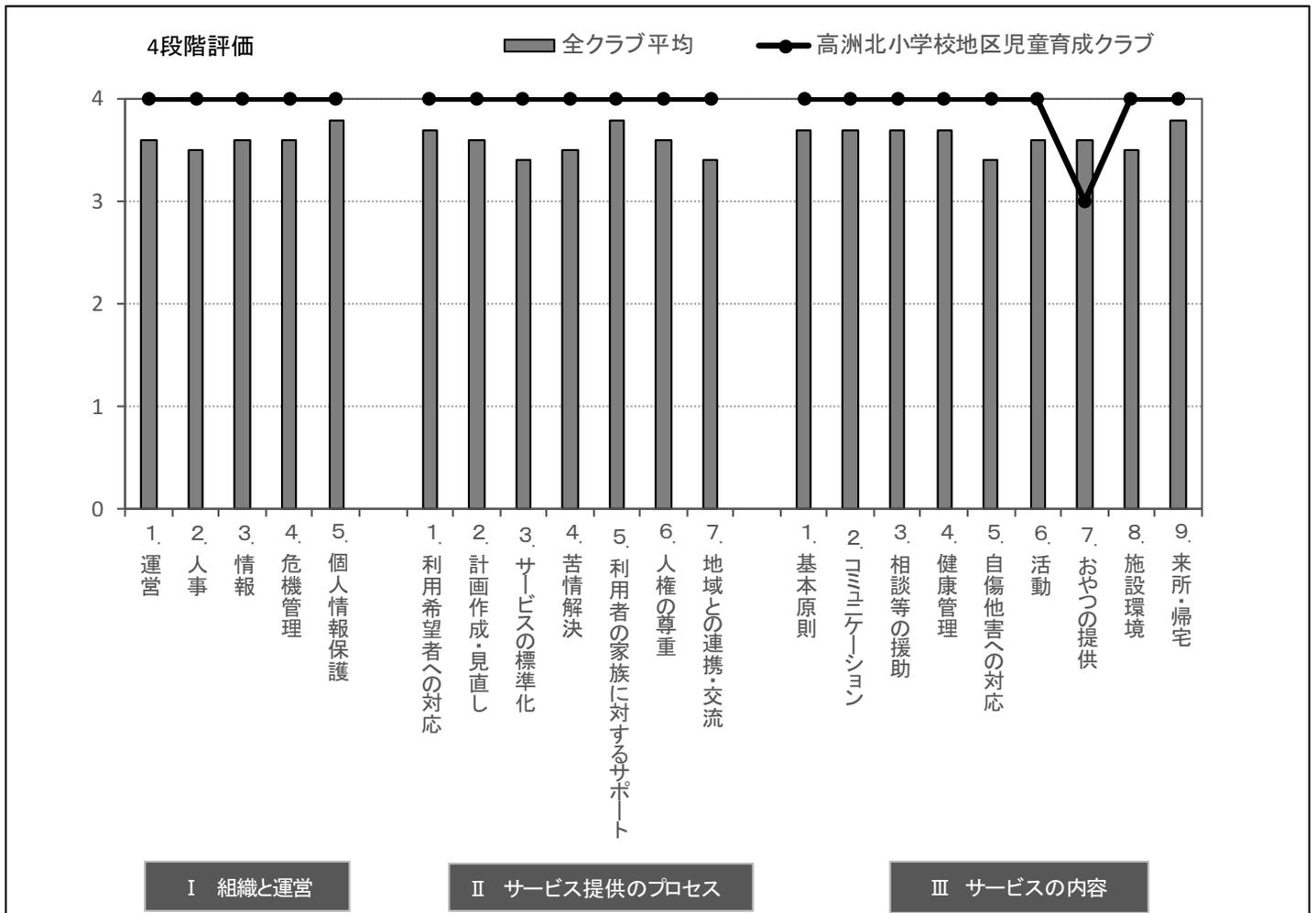
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
I.組織と運営	A
	(A)
II.サービス提供のプロセス	A
	(A)
III.サービスの内容	A
	(A)



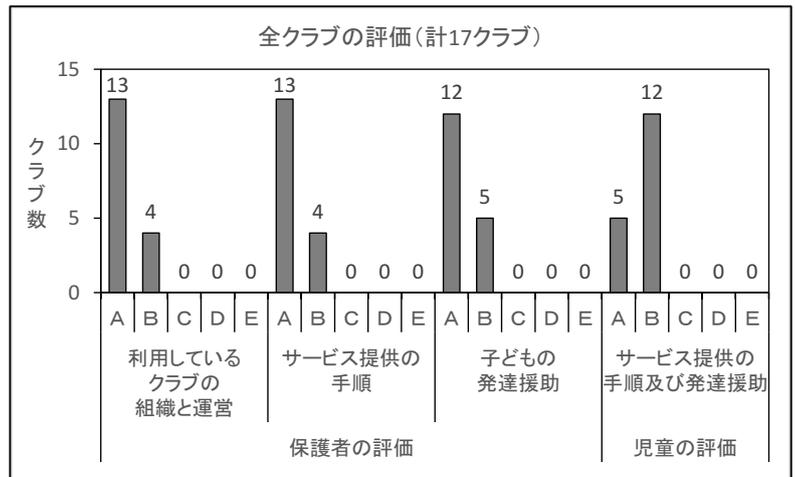
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	79.2%	0.0%	86.1%	0.6%		87.3%	2.8%	▲ 8.1%
	② 支援員の専門的知識や技術	65.3%	2.8%	69.1%	2.4%		50.7%	2.8%	▲ 14.6%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	95.8%	0.0%	87.2%	1.7%	↑	94.4%	0.0%	▲ 1.4%
	④ クラブ内の清掃・整理	79.2%	1.4%	84.5%	0.7%		81.7%	0.0%	▲ 2.5%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	81.9%	0.0%	84.7%	0.8%		87.3%	0.0%	▲ 5.4%
	⑥ 学校との連携や情報交換	83.3%	1.4%	75.7%	3.6%	↑	74.6%	0.0%	▲ 8.7%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	86.1%	0.0%	89.6%	0.4%		93.0%	1.4%	▲ 6.9%
	② 支援員同士の情報共有	69.4%	1.4%	73.4%	2.1%		73.2%	1.4%	▲ 3.8%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	72.2%	4.2%	75.8%	4.6%		73.2%	2.8%	▲ 1.0%
	④ 支援員への相談のしやすさ	83.3%	1.4%	85.6%	2.3%		83.1%	2.8%	▲ 0.2%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	87.5%	1.4%	86.0%	1.4%	↑	85.9%	1.4%	▲ 1.6%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	77.8%	4.2%	83.6%	1.3%		73.2%	1.4%	▲ 4.6%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	79.2%	5.6%	83.0%	2.2%		78.9%	1.4%	▲ 0.3%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	75.0%	2.8%	75.9%	4.3%		66.2%	4.2%	▲ 8.8%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	70.8%	1.4%	76.0%	2.7%		78.9%	1.4%	▲ 8.1%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.2%	0.0%	96.9%	0.1%	↑	97.2%	0.0%	▲ 0.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	91.7%	2.8%	89.5%	1.5%	↑	95.8%	0.0%	▲ 4.1%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	72.2%	2.8%	83.4%	2.1%		78.9%	1.4%	▲ 6.7%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	51.4%	1.4%	64.8%	0.8%		50.7%	0.0%	▲ 0.7%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
手助けに及びない発達援助	① おやつのおいしさ	81.9%	0.0%	79.1%	1.5%	↑	74.6%	1.4%	▲ 7.3%
	② へややといれのきもちよさ	75.0%	1.4%	72.8%	4.4%	↑	77.5%	0.0%	▲ 2.5%
	③ クラブのたのしさ	77.8%	1.4%	82.2%	2.2%		81.7%	1.4%	▲ 3.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	68.1%	2.8%	68.5%	2.2%		57.7%	0.0%	▲ 10.4%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	65.3%	2.8%	67.9%	3.2%		56.3%	2.8%	▲ 9.0%

評価結果

平成 30年度

東野小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		社会福祉法人 浦安市社会福祉協議会						
クラブの所在地		浦安市東野一丁目 7 番 3 号						
クラブの連絡先		電 話	047-304-1880	F A X	047-304-1880			
当該クラブの運営開始日		平成 22年 4月 1日						
開設場所		小学校校舎内						
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)		定 員	198人	利 用 者 数	160 人			
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	14人	うち、男性	2 人	うち、女性	12 人	
		有資格者数		保育士	3 人	幼稚園教諭	2 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	8人	うち、男性	0 人	うち、女性	8 人	
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	児童育成クラブは、「一人ひとりが主役となれる場」「異年齢児による遊びを通じ、社会性・自主性を育てる場」「安心して楽しく育てる場」をモットーに子どもとの信頼関係を築けるよう保育に努めている。
-----------------------	--

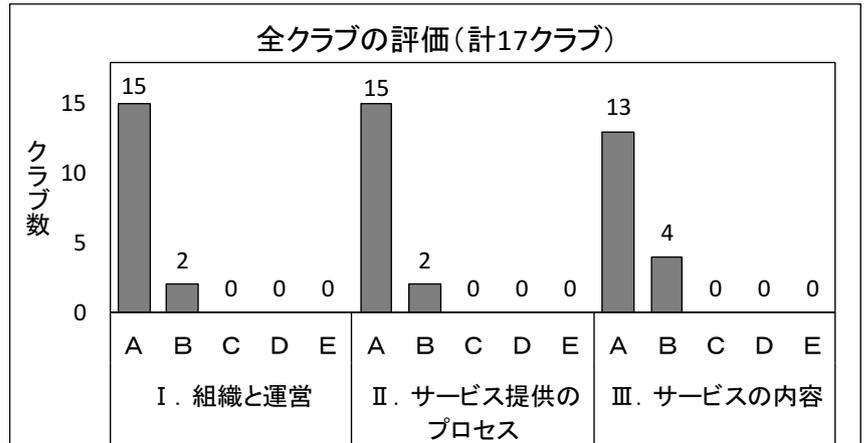
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	富岡育成クラブと連携し合同イベントを行ったり、支援員の交流ができることを生かし、支援員の資質の向上に努めている。 ミーティング等で、今まで起きた事例を検討し、支援員会議などで話し合い、サービス向上に努めている。	育成クラブに求められていることが変わってきており、運営指針の理解とこれからの育成クラブのあり方について検討し、内容を共通理解する必要がある。 学校との連携を取れているが、学校・育成クラブでの様子の違いなど、気になる児童の情報について担任との面談が定期的に取りれる仕組みを作っていきたい。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	個々の支援として、家庭や本人の状況を理解し、臨機応変な対応もできるようミーティングを多く行っている。 全体だけでなくクラスミーティングを行い、細かな体調の変化なども共有するよう心掛けている。 子どもたちの主体性を考え、イベントの内容や自分たちの過ごし方について、子ども自身が考えられるようにしている。	保護者の理解、子どもたちの安全面を重視したサービスに加え、「子どもの主体性」とは何かを考え育成しているが、家庭・児童によって、反応が様々あり、試行錯誤を繰り返している。 学校の下校時間や、クラブ活動、習いごとをする児童が増え、継続的な支援の在り方の検討が必要となっている。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	保護者にとっても、子どもたちにとっても安心して生活できる場になるように日々務めている。 家庭において親子で過ごす時間を大切にしたいという思いから、宿題等に取り組めるよう学習の時間を設けている。 クラブでの様子を保護者に伝える際には、保護者支援となるように心がけ、相談や、トラブルがあった際は、2人で対応するようにしている。	子どもたちが楽しめるよう、玩具や、時間を考え、長期休みには、様々な経験ができるようイベントを考えている。今後も大人側からの一方的な提供にならないよう、子どもにも意見を聞き、皆で生活を作り上げるよう支援をしていきたい。 家庭によってさまざまな対応をしているが、保護者支援の場としての育成クラブの在り方を検討していきたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

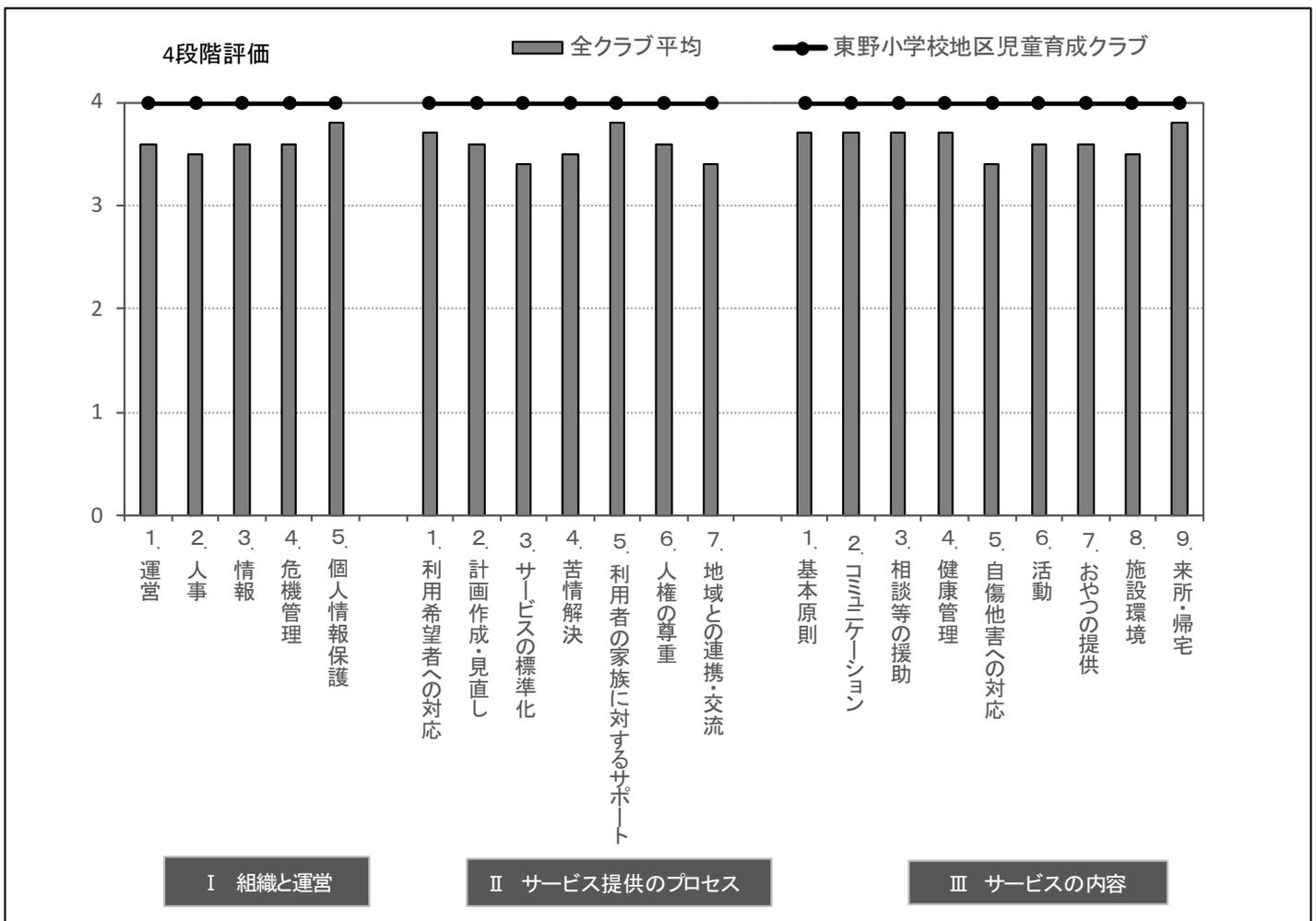
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A＝大変優れている、B＝優れている、C＝普通、D＝やや不十分である、E＝極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
Ⅰ.組織と運営	A
	(A)
Ⅱ.サービス提供の プロセス	A
	(A)
Ⅲ.サービスの内容	A
	(A)



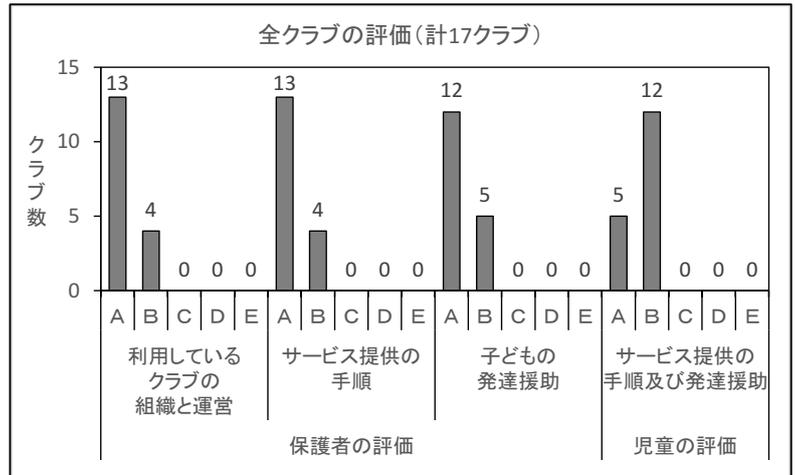
【中項目評価】・評価：A＝大変優れている、B＝優れている、C＝普通、D＝やや不十分である、E＝極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	86.8%	0.0%	86.1%	0.6%	↑	87.5%	0.0%	▲ 0.7%
	② 支援員の専門的知識や技術	79.1%	2.2%	69.1%	2.4%	↑	71.2%	1.0%	7.9%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	95.6%	1.1%	87.2%	1.7%	↑	95.2%	0.0%	0.4%
	④ クラブ内の清掃・整理	90.1%	0.0%	84.5%	0.7%	↑	89.4%	0.0%	0.7%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	90.1%	0.0%	84.7%	0.8%	↑	90.4%	0.0%	▲ 0.3%
	⑥ 学校との連携や情報交換	78.0%	4.4%	75.7%	3.6%	↑	77.9%	0.0%	0.1%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	91.2%	2.2%	89.6%	0.4%	↑	92.3%	1.0%	▲ 1.1%
	② 支援員同士の情報共有	75.8%	2.2%	73.4%	2.1%	↑	76.9%	1.0%	▲ 1.1%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	80.2%	4.4%	75.8%	4.6%	↑	71.2%	7.7%	9.0%
	④ 支援員への相談のしやすさ	87.9%	3.3%	85.6%	2.3%	↑	84.6%	1.0%	3.3%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	82.4%	1.1%	86.0%	1.4%		81.7%	1.0%	0.7%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	83.5%	1.1%	83.6%	1.3%		73.1%	1.9%	10.4%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	85.7%	1.1%	83.0%	2.2%	↑	88.5%	0.0%	▲ 2.8%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	81.3%	3.3%	75.9%	4.3%	↑	63.5%	2.9%	17.8%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	86.8%	3.3%	76.0%	2.7%	↑	72.1%	1.0%	14.7%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.8%	0.0%	96.9%	0.1%	↑	98.1%	0.0%	▲ 0.3%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	92.3%	92.3%	89.5%	1.5%	↑	92.3%	0.0%	0.0%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	81.3%	3.3%	83.4%	2.1%		88.5%	1.0%	▲ 7.2%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	72.5%	0.0%	64.8%	0.8%	↑	75.0%	1.0%	▲ 2.5%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順に及び発達援助	① おやつのおいしさ	84.6%	0.0%	79.1%	1.5%	↑	88.5%	1.0%	▲ 3.9%
	② へややといれのきもちよさ	71.4%	2.2%	72.8%	4.4%		84.6%	0.0%	▲ 13.2%
	③ クラブのたのしさ	82.4%	0.0%	82.2%	2.2%	↑	80.8%	1.0%	1.6%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	59.3%	1.1%	68.5%	2.2%		59.6%	1.9%	▲ 0.3%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	70.3%	1.1%	67.9%	3.2%	↑	63.5%	3.8%	6.8%

評価結果

平成 30年度

入船小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	社会福祉法人 わかみや福祉会						
クラブの所在地	浦安市入船三丁目 66 番 1 号						
クラブの連絡先	電 話	047-352-1415	F A X	047-352-1415			
当該クラブの運営開始日	平成 23年 4月 1日						
開設場所	小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (平成 30年 12月末現在)	定 員	118人		利 用 者 数	109 人		
職員数 (平成 30年 12月末現在)	常勤	職員数	3 人	うち、男性	1 人	うち、女性	3 人
		有資格者数	保育士	1 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	8 人	うち、男性	1 人	うち、女性	7 人
		有資格者数	保育士	0 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>地域との一体型支援</p> <p>子どもの自主性を育てる</p> <p>仲間との共通認識を持って連携していく</p>
-----------------------	---

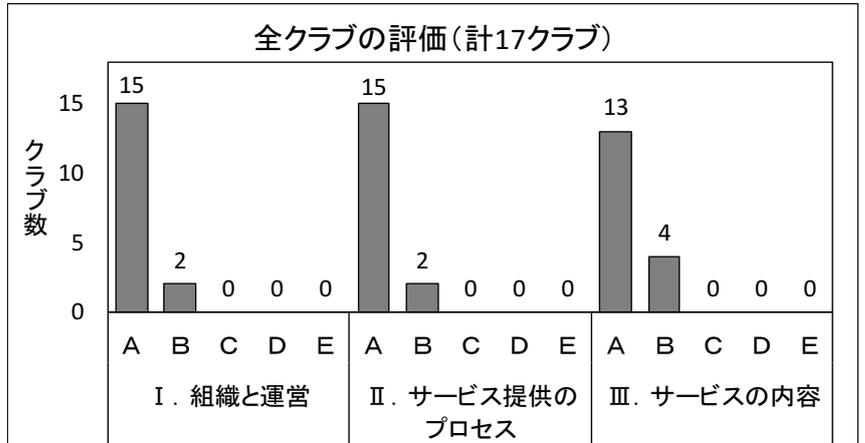
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組み 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>保育園運営実績も踏まえながら社会福祉法人としての組織作りをしっかりと行っている。職員間の連絡・連携及び、情報交換も日々細やかかつ丁寧に行っている。どんな場合も利用者の意見や思いに寄り添った対応を心がけている。また、個人情報保護を尊重し、法人として必要に応じて情報の公開を行っている。</p>	<p>新体制「放課後うらっこクラブ」として「放課後の楽しく遊べる場」と「放課後の安心して過ごせる場」である第二の家庭として、異年齢児交流と共に「子育て支援」を推進し、子ども達と保護者への総合的な放課後対策の機関として、学校・地域との温かい繋がりで、保護者へ切れ目のない子育て支援に努めていく。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>利用希望者の方には、随時見学や相談の対応・説明を行っている。出来るだけ利用者のニーズに応えられるよう同法人の保育園や児童育成クラブ、あいあいクラブと情報を共有しながら、支援の質を高められるよう努力している。また、子どもの人権を尊重し、一人ひとりの思いを受け止め、愛情を持った関わりを行っている。</p> <p>支援が必要な子どもや家庭環境が複雑で日々の生活に影響している子どもには、小学校と市役所青少年課と連携をとり、虐待等の早期発見や問題解決、心のケアに努めている。</p>	<p>時代のニーズと利用者のニーズを十分に理解した上で、年間事業計画と年間カリキュラムの内容を柔軟に改訂してより良い支援を実施していく。利用者の意見や苦情は真摯に受け止めて常に改善をしていく。利用者及び利用者の家族に寄り添い、一緒になって考えて解決していく。</p> <p>小・中学校をはじめ、地域の老人ホームや近隣の保育園と連携・交流を積極的に行い地域に開けた施設づくりをしていく。法人内にアクティビティ・おやつ・工作の委員会を設置し、うらっこクラブとしての支援の質の向上を目指す。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子ども一人ひとりの自主性を尊重しながら、計画や見直しを持って遊びや行事、活動に取り組んでいる。気になる児童や支援児には、学校との連携を密にし、その子に添った対応をしている。行事等、子ども達が自主的に参加し取り組めるよう配慮している。</p>	<p>おやつや行事は現状で満足することなく、より子ども達が楽しめるようなものを提供していく。また、自主的・主体的に活動できる環境作りや、安全面に気をつけ、一人ひとりが快適に過ごせるようにしていく。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

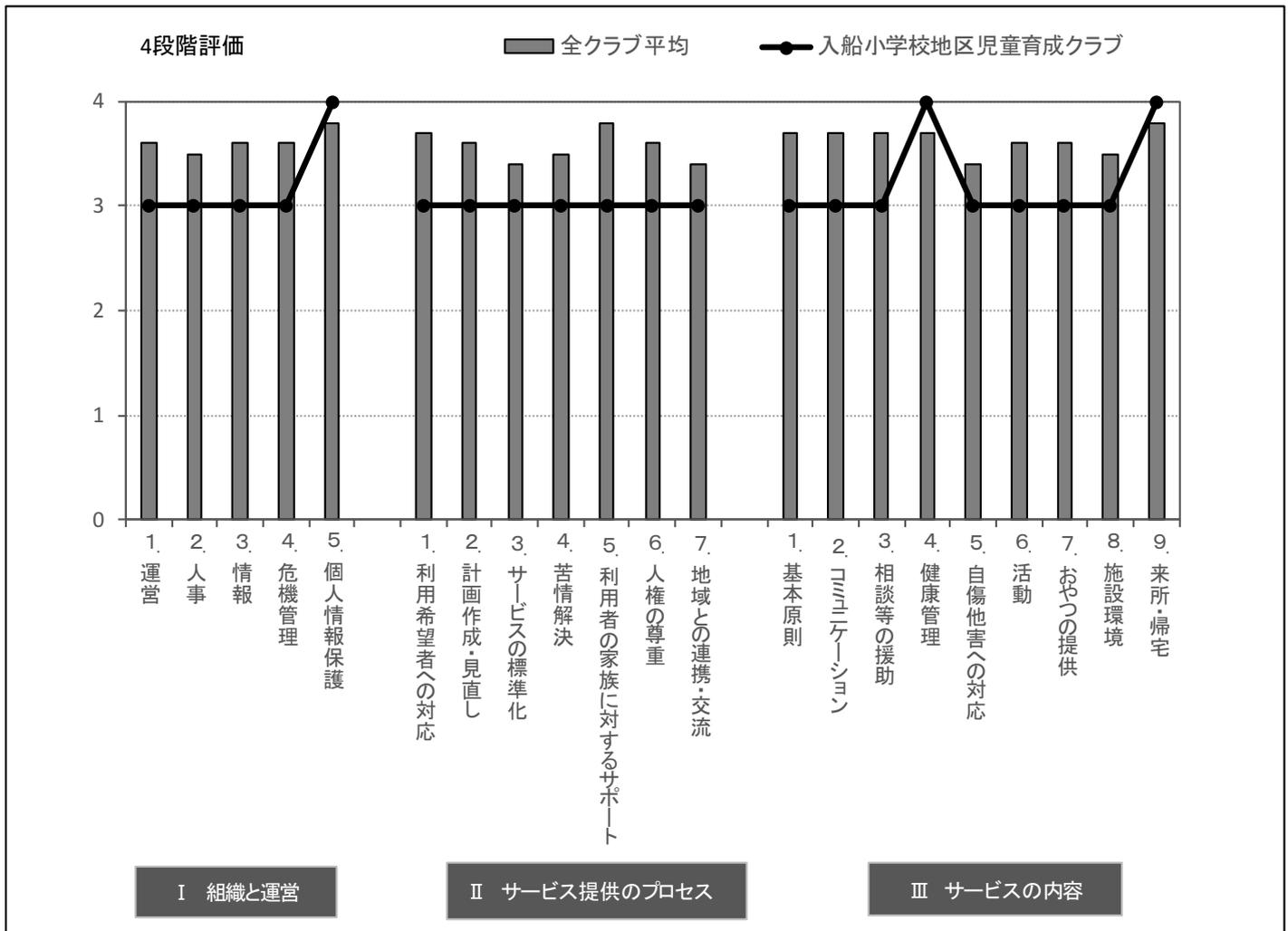
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成30年度
	(平成29年度)
Ⅰ.組織と運営	B
	(B)
Ⅱ.サービス提供の プロセス	B
	(B)
Ⅲ.サービスの内容	B
	(B)



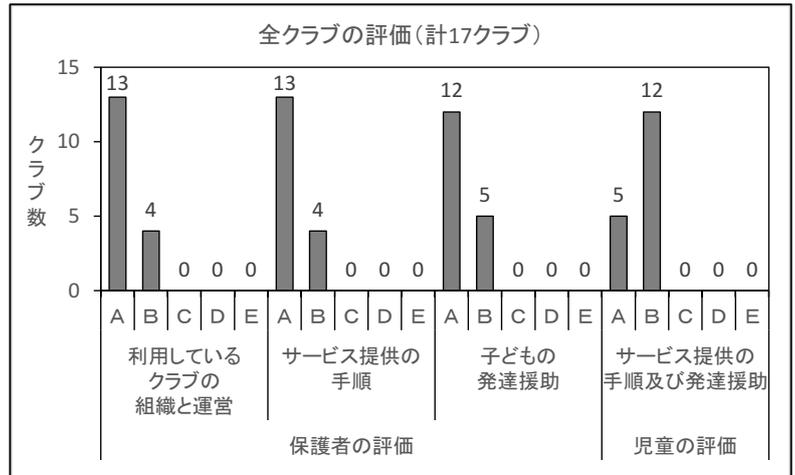
【中項目評価】・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成30年度
		(平成29年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (A)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
組織として運営しているクラブ	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	95.4%	0.0%	86.1%	0.6%	↑	90.0%	0.0%	5.4%
	② 支援員の専門的知識や技術	80.0%	0.0%	69.1%	2.4%	↑	78.3%	0.0%	1.7%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	89.2%	1.5%	87.2%	1.7%	↑	90.0%	1.7%	▲ 0.8%
	④ クラブ内の清掃・整理	92.3%	0.0%	84.5%	0.7%	↑	91.7%	0.0%	0.6%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	89.2%	0.0%	84.7%	0.8%	↑	86.7%	1.7%	2.5%
	⑥ 学校との連携や情報交換	84.6%	1.5%	75.7%	3.6%	↑	83.3%	1.7%	1.3%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	95.4%	0.0%	89.6%	0.4%	↑	88.3%	0.0%	7.1%
	② 支援員同士の情報共有	78.5%	1.5%	73.4%	2.1%	↑	80.0%	0.0%	▲ 1.5%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	70.8%	4.6%	75.8%	4.6%		71.7%	6.7%	▲ 0.9%
	④ 支援員への相談のしやすさ	86.2%	3.1%	85.6%	2.3%	↑	83.3%	1.7%	2.9%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	90.8%	0.0%	86.0%	1.4%	↑	88.3%	1.7%	2.5%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	89.2%	0.0%	83.6%	1.3%	↑	91.7%	0.0%	▲ 2.5%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	84.6%	0.0%	83.0%	2.2%	↑	90.0%	0.0%	▲ 5.4%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	70.8%	4.6%	75.9%	4.3%		78.3%	3.3%	▲ 7.5%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	80.0%	0.0%	76.0%	2.7%	↑	73.3%	0.0%	6.7%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	96.9%	0.1%	↑	95.0%	0.0%	5.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	87.7%	1.5%	89.5%	1.5%		88.3%	1.7%	▲ 0.6%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	87.7%	1.5%	83.4%	2.1%	↑	88.3%	1.7%	▲ 0.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	67.7%	0.0%	64.8%	0.8%	↑	66.7%	3.3%	1.0%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成29年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順に及び発達援助	① おやつのおいしさ	89.2%	0.0%	79.1%	1.5%	↑	90.0%	0.0%	▲ 0.8%
	② へややといれのきもちよさ	83.1%	0.0%	72.8%	4.4%	↑	73.3%	5.0%	9.8%
	③ クラブのたのしさ	89.2%	0.0%	82.2%	2.2%	↑	91.7%	1.7%	▲ 2.5%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	69.2%	0.0%	68.5%	2.2%	↑	66.7%	0.0%	2.5%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	73.8%	4.6%	67.9%	3.2%	↑	65.0%	1.7%	8.8%

資料

資料

1. 平成 30 年度 事業者自己評価シート

I. 組織と運営

■それぞれの「評価の視点」において、「自己評価」の欄に以下の4段階での記入をお願いします。

自己評価の定義

- 4 : 優れた取組ができている
2 : あまりできていない

- 3 : おおむねできている
1 : まったくできていない

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 運営	① 放課後児童クラブ運営指針が職員に周知され、すべての職員がそれを理解し、実現に向けて取り組んでいる。		
	② 重要な決定事項について、関係する職員や利用者等に説明する場があり、十分に伝えている。		
	③ 職員が意見を言ったり、提案を出しやすい雰囲気をつくるための工夫がある。		
	④ 利用者から出された意見については必ず検討し、その対応について利用者や保護者への説明や報告がなされている。		
	⑤ 利用者満足度調査等を実施し、結果をもとに改善策をつくり、事業計画に活かしている。		
	⑥ 全職員でサービス改善について取り組んでいる。		
	⑦ 市に対する活動報告を適切に行い、市との情報共有に努めている。		
	⑧ 学校との連携に積極的であり、適切な情報交換を行っている。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
2 人事	① 子どもの発達の特徴や子どもとの関わり方、支援員の役割など、職員研修を行い、学んだ内容を職員間で共有している。		
	② 運営責任者等による職員との定期面接、職員からの申告書提出などにより、業務上の悩みやストレスを軽減・解消するための具体的な方策を把握する仕組みがある。また、日ごろの談話等により、職員の提案、要望、不満、目標等を把握する仕組みがある。		
	③ 職員の雇用は、書類審査・面接等により適正に行い、運営事業者の理念等を理解したうえで採用している。		
3 情報	① 職員会議や日常的な引継ぎなど、指示・連絡・報告・相談の体制が確立しており、機能している。		
	② 「おたより」の発行や連絡帳などを通じて、利用者の様子を保護者に定期的・具体的に伝えている。		
	③ サービス提供やクラブ運営の情報を、求めに応じて公開する仕組みがある。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
4 危機管理	① 災害や緊急時の対応についてマニュアルを整備し、職員に周知するとともに、定期的な避難訓練を実施している。		
	② 事故防止のため、施設や設備の安全性について点検を実施し、危険箇所に対し速やかに対処している。		
	③ クラブにおいて発生したケガや急病に対処するために、救護やAED操作に関する職員研修を行っている。		
	④ 子どもに対する手洗いの徹底や、嘔吐物の処理方法のルール化など、感染症の拡大防止に努めている。		
	⑤ 食品や調理器具の取り扱いに注意し、食中毒の防止に努めている。		
	⑥ ケガや事故の情報を記録し、再発防止のための対策を行っている。		
5 個人情報保護	① 職員への研修は、利用者および保護者の個人情報の取り扱い、守秘義務に関する内容を含めて行っている。		
	② 利用者の個人情報(名簿等)が流出しないよう、具体的な取り組みを行っている。		
	③ 個人情報の利用目的を、利用者や保護者に明示している。		
	④ 面談は個室で行うなど、プライバシーの保護に配慮している。		

II. サービス提供のプロセス

■それぞれの「評価の視点」において、「自己評価」の欄に以下の4段階での記入をお願いします。

自己評価の定義	
4：優れた取組ができている	3：おおむねできている
2：あまりできていない	1：まったくできていない

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 利用希望者への対応	① 入会説明会や見学は、なるべく意向に沿って受け入れ、見学者に対して、サービスの内容や規則について、正確に、わかりやすく説明するよう努めている。		
	② 重要事項に関して子どもやその保護者等に事前に説明し、書面による同意を得ている。		
	③ 重要事項説明書や入会のしおりは読みやすく、わかりやすいものを作成している。		
2 計画作成・見直し	① 年間の支援計画は、子どもや保護者の要望、関係者の意見を取り入れて作成している。		
	② 年間の支援計画は、子ども・保護者への説明を行い、同意を得ている。		
	③ 定期的に、支援計画の見直しについて検討している。		
3 サービスの標準化	① 個々のサービスについて、標準的な実施方法を定め、マニュアルなどを作成している。		
	② 新人職員に対し、業務内容を学ぶ研修を実施している。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
4 苦情解決	① 苦情を受け付ける仕組みや書式が整備されており、職員や子ども・保護者に周知され、サービスの改善に活用されている。		
	② 苦情解決にあたっては、直ちに会議等で対応を検討し、迅速な解決を心掛けている。		
	③ 苦情の申し出から解決まで、一連の流れが記録され、情報として蓄積・共有化できる仕組みができており、機能している。		
5 家族利用者のサポート	① 自宅での生活を含め、子育ての不安や悩みなど、保護者からの相談や面談に応じる体制を整えている。		
6 人権の尊重	① 職員から子どもへの体罰防止マニュアルの作成や研修実施など、虐待防止のための具体的な仕組みがあり、機能している。		
	② 家庭等での虐待の兆候を感じ取るなど、子どもに対する虐待の早期発見やその後の見守りに努めている。		
7 地域との連携・交流	① 地域行事への参加など、子どもの施設外における活動の範囲を広げるための取り組みを行っている。		
	② ボランティア・実習生の受け入れにあたり、担当者を配置するとともに、ボランティア・実習生に対して必要な事前説明をしている。		
	③ それぞれの関係諸機関・団体とのかかわり方を明確にし、それぞれに応じた連携を図るための定期的・具体的な取り組みを行っている。		

Ⅲ. サービスの内容

■それぞれの「評価の視点」において、「自己評価」の欄に以下の4段階での記入をお願いします。

自己評価の定義	
4：優れた取組ができている	3：おおむねできている
2：あまりできていない	1：まったくできていない

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 基本原則	① 子どもの人格や意思を尊重し、主体的に活動できるよう援助している。		
	② 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、心身の状態に応じた支援方法を検討し、支援している。		
	③ 業務の実施状況に関する日誌(出欠記録や業務日誌等)等、サービスの記録を行っている。		
2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定や意見の表明を促し、それを受け止めるように心がけている。		
	② 子どもの人格、価値観等を尊重したマナー、言葉づかいを心がけている。		
3 相談等の援助	① 子どもが相談したい時にはその方法や相手を選択して相談することができるなど、対応する方法が定められている。		
	② 日頃から子どもの行動特性や生活リズム、興味・嗜好、対人関係、服薬の状況などを観察・記録し、その結果を職員が共有し、支援に生かしている。		
4 健康管理	① 保護者との連携のもと、服薬管理が適切に行われている。		
	② 子どものケガや急病が発生した場合は速やかに対処し、保護者にも報告している。		
	③ アレルギー疾患のある子どもに対する食品への配慮や、アナフィラキシーショック発症時の対処法について、全職員が情報を共有し適切に対応している。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などの危険な行為に対して、子どもの心身を傷つけずに対応するための具体的な方法が定められている。		
	② 必要に応じて専門家の協力を得て、支援方法について工夫を行っている。		
6 活動	① 自然との触れ合いや社会体験など、多様な活動が用意されており、子どもが選んで参加することができるようになっている。		
	② 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。		
	③ 宿題や自習などの学習活動を自主的に行える環境を整えている。		
	④ 遊びや生活を通して、豊かな人間関係が育つような配慮を行っている。		
	⑤ 子どもが性差や国籍、障がいの有無、考え方の違いなどにとらわれず、互いに認め合い、尊重し合えるよう支援している。		
	⑥ 障がいのある子どもが遊びや活動に参加しやすいように支援している。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
7 おやつ の提供	① 味、温度、盛り付け等の配慮、季節感を取り入れた献立など、質の高いおやつを提供している。		
	② 子どもの嗜好や成長に基づき、栄養面や活力面から必要とされるおやつを出している。		
	③ 行事や季節を織り込み、子どもがおやつの時間を楽しく過ごせるように工夫している。		
8 施設環境	① 子どもが落ち着いて快適に過ごせるように、音や光、室温、換気、くつろげる場所の整備等に配慮している。		
	② 部屋やトイレ、手洗い場などについて、清掃・整理された状態を維持している。		
	③ 子どもが安全に活動できるように、設備・備品に配慮している。		
9 来所・ 帰宅	① 子どもひとりでの来所や帰宅にあたって、安全面での指導を行っている。		

総合評価と事業プロフィール

必ずご記入ください。空欄の場合には、再提出をお願いすることがあります。

評価項目(大項目)	事業者の強み、 アピールしたい取り組み (事業者のサービスとして「良いと思うこと」、「これ からも続けていきたいこと」など、具体的な取り組み の事実をあげながら記入してください。)	サービス改善に向けた取り組み、 今後の展望 (サービスを提供するにあたって「改善が必要だ」 と思うことを記入してください。また、改善に向け た具体的な取り組みがあれば書き添えてくださ い。)
I 組織と運営 P2～P4 の設問を参考にして 回答してください。		
II サービス提供のプロセス P5～P6 の設問を参考にして 回答してください。		
III サービスの内容 P7～P9 の設問を参考にして 回答してください。		

評価シート作成日	平成 年 月 日
評価シートの作成方法 (いずれか1つ○印をつけて ください。「3. その他」に○ 印をつけた事業者は具体的 な方法もご記入ください。)	1. 幹部職員および一般職員による評価チームをつくり、自己評価を行った 2. 通常の職員会議等の場を活用し、自己評価を行った 3. その他(具体的に:)

児童育成クラブの名称					
事業者の名称					
事業者の所在地					
事業者の連絡先		電話	FAX		
		E-mail			
貴法人が当該クラブの運営を開始した日		昭和／平成 年 月 日			
開設場所(○印を付けてください)		小学校校舎内・小学校敷地内・小学校敷地外・その他()			
定員／現在の利用者数 (平成30年12月末現在)		定員 人、利用者数 人			
職員数 (平成30年12月末現在) ※常勤: 週5日勤務、 かつ、30時間以上 ※非常勤: 常勤職員以外	常勤	職員数 人 (うち、男性 人、女性 人)			
		有資格者数	うち	放課後児童支援員……()人	
				保育士……()人	幼稚園教諭……()人
				幼稚園以外の教諭……()人	その他() ……………()人
		放課後児童支援員以外……()人			
	非常勤	有資格者数	うち	放課後児童支援員……()人	
				保育士……()人	幼稚園教諭……()人
				幼稚園以外の教諭……()人	その他() ……………()人
		放課後児童支援員以外……()人			
	うち	保育士……()人	幼稚園教諭……()人		
		幼稚園以外の教諭……()人	その他() ……………()人		

利用者調査票の配付数	
------------	--

○利用者調査票は、原則として全員に配付してください。

事業者調査票の記入者	氏名:
------------	-----

○記入内容等について、お問合せをさせていただくことがあります。

2. 平成 30 年度 利用者調査

No. 小学校地区児童育成クラブ

浦安市児童育成クラブ利用者調査 ご協力をお願い

日頃より、浦安市の児童健全育成に対するご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

浦安市では、児童育成クラブの質の向上を目的に、利用者の皆様への調査を行い、その結果を運営事業者と共有し、今後のサービスの向上を図っています。

つきましては、児童育成クラブをご利用のお子さまと保護者の方を対象に、アンケート調査を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。お答えいただいた内容は統計的に処理し、お名前が表に出たり、ご迷惑をおかけすることは決してございません。また、今回の調査結果は、市役所等の公共施設や市のホームページ上でも公開いたします。何卒趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成 31 年 2 月

浦安市健康こども部 青少年課 児童育成係

連絡先：047-712-6453（直通）

＜ご記入にあたってのお願い＞

- ①回答は、選択肢に○印をつけるものや、自由に記述するものがあります。質問に沿ってご回答ください。
- ②黒色または青色の鉛筆、ボールペンなどでご記入ください。
- ③Q1～Q23は保護者の方がご回答ください。
Q24～Q28はお子様にご回答いただくものです。保護者の方には必要に応じてその手助けをお願いします。
- ④記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

平成 31 年 2 月 28 日（木）までに投函してください。切手は不要です。

お子さんが利用しているサービスについておたずねします。
 次の質問について、あなたの気持ちに近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

<利用しているクラブの組織と運営について>

質 問		はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 1	クラブの理念や方針について、保護者に十分な説明や情報提供がありましたか。	⇒ 1	2	3
Q 2	支援員は、育成支援に関する専門的知識や技術を有していると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 3	出席確認や不審者対応など、来所時や帰宅時の安全確保に向けた取組みがなされていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 4	クラブ内の部屋について清掃・整頓が行き届いていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 5	支援員は、お子さんや保護者の個人情報の保護・取扱いに注意を払っていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 6	学校との連携や情報交換が適切に行われていると思いますか。	⇒ 1	2	3

<サービス提供の手順について>

質 問		はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 7	支援員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。	⇒ 1	2	3
Q 8	あなたは、支援員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 9	連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。	⇒ 1	2	3
Q 10	お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを支援員に相談しやすいですか。	⇒ 1	2	3
Q 11	クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。	⇒ 1	2	3

<子どもの発達援助について>

質 問			はい	どちらとも いいない	いいえ
Q 12	支援員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 13	支援員は、遊びや生活を通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 14	支援員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 15	支援員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 16	季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 17	クラブにおいての発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 18	支援員は、子どもの人権を尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 19	特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。	⇒	1	2	3

<児童育成クラブの利用状況について>

質 問			1	2	3	4
Q 20	児童育成クラブの利用日数はどれくらいですか。	⇒	月数回	週1～2日	週3～4日	週5日以上
Q 21	児童育成クラブを土曜日に利用していますか。	⇒	毎週 利用している	月数回 利用している	利用 していない	

<児童育成クラブの小学校5・6年生の受け入れについて>

現在、児童育成クラブは、小学校1年生から4年生までの児童と、療育手帳等の交付を受けている特別な支援を必要とする小学校6年生までの児童を受け入れています。

質 問		1	2	3	4
Q 22	小学校6年生までの受け入れが可能となった場合、利用を希望しますか。	⇒ 小学校5年生まで希望する	小学校6年生まで希望する	希望しない	
Q 23	「Q22」で「1. 小学校5年生まで希望する」または「2. 小学校6年生まで希望する」と回答した方に伺います。利用予定日数はどれくらいですか。	⇒ 月数回	週1～2日	週3～4日	週5日以上

「児童育成クラブ」についてご意見があればご自由にお書きください。

--

ここからは、お子さんにご回答をお願いします。あてはまるものに○をつけてください。

し つ も ん		1	2	3
Q 24	じどういくせいクラブのおやつはおいしいですか。	⇒ おいしい	どちらとも いえない	おいしく ない
Q 25	じどういくせいクラブのへややトイレはきもちよくつかうことができますか。	⇒ きもちよく つかえる	どちらとも いえない	きもちよく つかえない
Q 26	じどういくせいクラブはたのしいですか。	⇒ たのしい	どちらとも いえない	たのしく ない
Q 27	じどういくせいクラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらよいか、いっしょにかんがえてくれましたか。	⇒ かんがえて くれた	どちらとも いえない	かんがえて くれなかった
Q 28	じどういくせいクラブの先生は、あなたのきもちをよくわかってくれますか。	⇒ わかって くれる	どちらとも いえない	わかって くれない

じどういくせいクラブについてかんじていることを、なんでもかいてください。

--

ご協力ありがとうございました。

平成 30 年度 浦安市児童育成クラブに係る評価事業 報告書

平成 31 年 3 月

浦安市こども部青少年課

〒279-8501 千葉県浦安市猫実一丁目 1 番 1 号

電話 047-712-6453 (直通)